OKI

オキカラーページプリンタ
MICROLINE 9055cV
MICROLINE 3050cV
MICROLINE 3020cV

ユーザーズマニュアル
（セットアップ編）

◯このマニュアルには、プリンタを安全に使用していただくための注意事項が書かれています。プリンタをご使用になる前に、必ず本マニュアルをお読みください。
◯本マニュアルをプリンタのそばに置いて、ご使用ください。

安全にお使いいただくために

本製品を安全に使用していただくために、ご使用前に必ずユーザーズマニュアル（本書）をお読みください。

安全上の注意表示

⚠警告　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があることを示しています。

⚠注意　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があることを示しています。

一般的な注意

⚠警告	
	プリンタ内部の安全スイッチに触れないでください。 高電圧が発生し感電のおそれがあります。また、ギヤが回転するのでケガのおそれがあります。
	プリンタの近くで強燃性スプレーを使用しないでください。 プリンタ内部には高温になる部分があるので火災のおそれがあります。
	カバーが異常に熱くなったり、煙が出たり、変なにおいがしたり、異常な音がする場合は、電源プラグをコンセントから抜いてOAコールセンタへ連絡してください。 火災のおそれがあります。
	水などの液体がプリンタ内部に入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いてOAコールセンタへ連絡してください。 火災のおそれがあります。
	クリップなどの異物をプリンタ内部に落とした場合は、電源プラグをコンセントから抜いて異物を取り出してください。 感電、火災、ケガのおそれがあります。
	ユーザーズマニュアルに指示している以外の操作や分解は行わないでください。 感電、火災、ケガのおそれがあります。
	プリンタを落下させたり、カバーを傷つけた場合は、電源プラグをコンセントから抜いてOAコールセンタへ連絡してください。 感電、火災、ケガのおそれがあります。
	電源コード、プリンタケーブル、アース線は、ユーザーズマニュアルで指示されている以外の接続は行わないでください。 火災のおそれがあります。

⚠警告

	通気口に物を差し込まないでください。 感電、火災、ケガのおそれがあります。
	水の入ったコップなどをプリンタの上にのせないでください。 感電、火災のおそれがあります。
	プリンタのカバーを開けたときは、定着器ユニットに触れないでください。 やけどのおそれがあります。
	トナーカートリッジ、イメージドラムカートリッジを火の中に投じないでください。粉じん爆発によりやけどのおそれがあります。

⚠注意

	電源投入時および印刷中は、用紙の排出部に近づかないでください。 ケガをするおそれがあります。

本書の見方

表　記

本書では、次のように表記している場合があります。

- MICROLINE 9055cV → ML9055cV
- MICROLINE 3050cV → ML3050cV
- MICROLINE 3020cV → ML3020cV
- Microsoft® Windows® XP operating system 日本語版 → WindowsXP
- Microsoft® Windows® Millennium Edition 日本語版 → WindowsMe
- Microsoft® Windows® 98 operating system 日本語版 → Windows98
- Microsoft® Windows® 95 operating system 日本語版 → Windows95
- Microsoft® Windows® 2000 operating system 日本語版 → Windows2000
- Microsoft® Windows NT® operating system Version4.0 日本語版 → WindowsNT4.0
- WindowsXP、WindowsMe、Windows98、Windows95、Windows2000、WindowsNT4.0 の総称→ Windows

マーク

プリンタを正しく動作させるための注意や制限です。
誤った操作をしないため、必ずお読みください。

プリンタを使用するときに知っておくと便利なことや参考になることです。
お読みになることをお勧めします。

諸注意

紙幣、有価証券などの印刷について

紙幣、有価証券などをプリンタで印刷すると、その印刷物の使用如何に拘わらず、法律に違反し、罰せられます。

関連法律　　刑法　第 148 条、第 149 条、第 162 条
通貨及証券模造取締法　第 1 条、第 2 条　等

電波障害防止について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

高調波規制について

この装置は、「高調波ガイドライン適合品」です。

エネルギースターについて

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。

本製品を日本国外へ持ち出す場合の注意

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様のため、修理・保守サービスおよび技術サポートなどの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。
また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないことがあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられることがありますが、当社といたしましては一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

商標について

MICROLINE は株式会社沖データの商標です。
Microsoft、Windows、Windows NT は、米国 Microsoft Corporation の米国及び、その他の国における登録商標または商標です。
Apple、Macintosh、MacOS、EtherTalk、TrueType および ColorSync は、米国 Apple Computer Inc. の米国及び、その他の国における登録商標または商標、商品名です。
Adobe、Adobe ロゴ、Adobe Illustrator、AdobePS、Adobe Type Manager、ATM、PageMaker、Photoshop、PostScript および PostScript3 は Adobe System Incorporated（アドビシステムズ社）の登録商標です。
平成明朝体、平成角ゴシック体は、(財)日本規格協会 文字フォント開発・普及センターと使用契約を締結して使用しているものです。フォントとして無断複製することは禁止されています。
リュウミンライト -KL、中ゴシック BBB、太ミン A101、太ゴ B101、じゅん 101 は、株式会社モリサワの商標です。
その他各社名、製品名は各社の登録商標または商品名です。

本書について

１.本書の内容の一部または全部を無断で転載することは固くお断りします。
２.本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。
３.本書の内容については万全を期して作成致しましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなど、お気付きの点がありましたらお買い求めの販売店にご連絡ください。
４.本書の内容に関して、運用上の影響につきましては３項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

マニュアルの版権について

使用許諾契約

本ソフトウェアをお使いになる前に、以下の項目をお読みください。

Adobeソフトウェア

本プリンタには、米国の Adobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)(以下「アドビ」)及び沖データのサプライヤー(アドビを含む。以下「サプライヤー」といいます)が提供する以下のものが添付されています。

- PostScript®ソフトウェア及びその他のアドビのソフトウェアを含むプリンティングシステムの一部であるソフトウェア(以下「プリンティングソフトウェア」)
- 専用フォーマットでディジタルコード化及び暗号化された機械読み取り可能なアウトラインデータ(以下「フォントプログラム」)
- プリンティングソフトウェアと連動してコンピュータシステム上で実行されるその他のソフトウェア(以下「ホストソフトウェア」)
- 上記全てに関連する説明文書 (以下「ドキュメンテーション」).

「本ソフトウェア」という言葉は、プリンティングソフトウェア、フォントプログラム、ホストソフトウェアのいずれかまたは全て、及びそれらのアップグレード版、修正版、追加、複製物を示します。

1. プリンティングソフトウェア
   お客様は、プリンティングソフトウェア(オブジェクトコード形式のみ)及び付随するフォントプログラムが組み込まれたコントローラーを搭載した単一の出力装置において、そのプリンティングソフトウェア及びフォントプログラムを使用することができます。
2. ローマンフォントプログラム
   上記、1条(プリンティングソフトウェア)で規定されるフォントプログラムの使用許諾に加えて、お客様は、文字、数字、字体、シンボルのウェイト、スタイル、バージョン(以下「タイプフェース」)を複製する為に、最大5台までのコンピュータ上で、プリンティングソフトウェアと共に使用する目的で、ローマンフォントプログラム及びAdobe Type Manager™ を使用することができます。お客様は、印刷業者その他のサービスビューローに個々のファイルで使用したローマンフォントプログラムの複製物の印刷を依頼する事ができます。またそのサービスビューローは、ファイルを処理するためにローマンフォントプログラムを使うことができます。但しそのサービスビューローが、お客様に対して、その個々のローマンフォントプログラムの使用権を購入したか、あるいは許諾が与えられているということを表明している場合に限ります。
3. ホストソフトウェア
   お客様は、ホストソフトウェアを一つのコンピュータ、あるいは、必要に応じた複数のコンピュータのハードディスク又はその他の記憶装置上にインストールすることができます。また、ホストソフトウェアがネットワーク上での使用やインストールを想定されたものである場合は、次のうちいずれか(両方は不可)を目的として、単一のローカル・エリア・ネットワーク用の単一のファイルサーバー上でインストール・使用されるものとします。
   (I) 必要とされる複数のコンピュータのハードディスクまたはその他の記憶装置に恒久的なインストールをするため。
   (II) そのようなネットワーク上において、ホストソフトウェアを使用するため。ただし、ホストソフトウェアが使用されるコンピュータは、必要に応じた台数に限ります。
   お客様は、ホストソフトウェアのバックアップコピーを一部作成することができます。但し、そのバックアップコピーはいかなるコンピュータ上においても使用し、又はインストールすることはできません。ホストソフトウェアをインストールしている又は使用しているコンピュータの主ユーザは本ホストソフトウェアを一台のホーム・コンピュータあるいはポータブル・コンピュータにもインストールすることができます。しかしながら、1つのコンピュータ上でホストソフトウェアが使われている際、時を同じくして別のコンピュータ上で別の人物がホストソフトウェアを使用することをみとめるものではありません。上記制約に関わらず、お客様は、プリンティングソフトウェアが実行できる一つ以上のプリンタで使用する為に、プリンタドライバソフトウェアを必要に応じてコンピュータにインストールすることができます。
4. お客様は、この契約において付与されている、本ソフトウェア及びドキュメンテーションに関するお客様の権利の全てを、譲受人に譲渡することができます。但し、お客様は、本ソフトウェアとドキュメンテーション全てを譲受人に譲渡し、また譲受人は本契約の全ての条項に同意しなければなりません。
5. 本ソフトウェア及びドキュメンテーションは沖データ及びそのサプライヤーの所有物であり、その構造、編成及びコードは、沖データ及びサプライヤーの価値ある企業秘密です。本ソフトウェアとドキュメンテーションは、米国及び日本国の著作権法ならびに国際条約の条項によっても保護されています。お客様は、その他著作権で保護されている文献(例えば本など)と同様に本ソフトウェア及びドキュメンテーションを取り扱わなければなりません。お客様は、本契約で規定されている場合以外に本ソフトウェアやドキュメンテーションを複製しないことに同意します。この契約にもとづいてお客様に認められている本ソフトウェアの複製には、本ソフトウェア上、または本ソフトウェアの中に記載されているものと同じ商標権及びその他の知的財産権の表示が含まれていなければなりません。お客様は、本ソフトウェアやドキュメンテーションを改変、翻案、翻訳しないことに合意します。

6. お客様は、本ソフトウェアを修正、ディスアセンブル、解読、リバースエンジニアあるいはデコンパイルしようと試みないことに合意します。但し、本ソフトウェアを他のソフトウェアと相互使用するために必要な情報を得る目的で、本ソフトウェアをデコンパイルする権利が法により認められる場合がありますが、その場合、お客様は、まず沖データから書面で事前に承認をもらう必要があります。沖データ及び本ソフトウェアのサプライヤーは、そのような使用において本ソフトウェアに含まれる所有者の知的財産権が保護されていることを確実にするための妥当な費用を含む(但しこれに限定されない)適切な条件を課すことができます。
7. 本ソフトウェア、ドキュメンテーション及びその複製物の権原及び所有権は、沖データ及びそのサプライヤーに帰属するものとします。
8. 商標は、商標権者の表示など、容認されている慣行に従って使用するものとします。商標は、本ソフトウェアによって作成された印刷物であると表示するという特定目的の為にのみ使用することができます。このような商標の使用によって、お客様にその商標権が帰属するものではありません。商標は、沖データによって標記されている商標権所有者の財産です。
9. 上記に記述してある事を除いて、この契約書は、お客様に対して、本ソフトウェアのその他のいかなる知的財産権の使用を認めるものではありません。
10. もし、このパッケージが、ホストソフトウェアの２つ以上の使用環境を含む場合(例：Macintosh® と Windows®)、同じホストソフトウェアで２言語以上の翻訳版を含む場合、同じホストソフトウェアが２つ以上の媒体に含まれている場合(例：ディスクと CD-ROM)、また、もしくはお客様がホストソフトウェアのコピーを２つ以上受取られた場合、お客様がそのようなバージョンを使用する事によって、本契約で認められている許可されているホストソフトウェアの単一バージョンの使用において本契約で認められている使用数を上回る事はないものとします。尚、お客様が当パッケージを受け取るにあたり、ホストソフトウェアを受け取られる場合にも同条件が当てはまるものとします。
11. 上記に記述されているような本ソフトウェアやドキュメンテーションを全て恒久的に譲渡する場合を除いて、お客様は、使用しないソフトウェアや未使用の媒体に含まれる本ソフトウェアの、バージョンまたはコピーを、賃貸、リース、サブライセンス、貸与、譲渡しないことに合意します。
12. 沖データ及びその代理人は、沖データのサプライヤーに代わって、お客様あるいは第三者に、商品性や、特定の目的に対する適合性、権利侵害しない旨の黙示的な保証も含め、いかなる保証や表明も行わず、付与しないものとします。
13. 本ソフトウェアは現状のままでの状態で提供されています。沖データ及びそのサプライヤーは、本ソフトウェアの動作が、中断されない、エラーが起こらない、またはお客様のニーズに合っていることについて如何なる保証も致しません。沖データとサプライヤーは、明示または黙示を問わず、制定法やその他で定められているか否かを問わず、第三者の権利侵害の不存在や、商品性、または特定の目的に対する適合性について何らの保証も致しません。本ソフトウェアまたは本ソフトウェア関連して生じた、得べかりし利益の喪失、現存利益の喪失及びデータの喪失を含むがこれに限定されない損害(直接損害、間接損害、偶発損害、特別損害、懲罰的損害、結果損害その他一切)に関し、沖データがたとえそのような損害の発生の可能性について知らされていたとしても、また、それらの損害についての請求が不法行為(過失を含むがこれに限定されない)に基づくものであれ、その他の如何なる法律上の根拠に基づくものであれ、沖データ及びそのサプライヤーはお客様に対して一切責任を負担しません。また、本ソフトウェアまたは本ソフトウェアに関連して生じた、第三者からなされるいかなる請求についても、沖データ及びそのサプライヤーはお客様に対して一切責任を負担しません。ただし、偶発損害、結果損害、特別損害の排除または制限が、法律により認められていない場合は、本項による制限は適用されません。
14. 本契約は、カリフォルニア州法を準拠法とします。但し、同州法の抵触法に関する規則の適用は除外するものとします。本契約は国際物品売買契約に関する国連条約には準拠しないものとし、その適用は明示的に排除されます。もし、本契約の一部が無効で法的拘束力がないとされた場合には、本契約の他の部分の有効性には影響を与えず、他の部分は有効かつ法的拘束力をもつものとします。お客様は、本ソフトウェアを米国および日本の輸出管理法、その他の関連法令、規則で禁止されている国へ輸出せず、また、関連法令、規則で禁止されている様態で使用しないものとします。お客様は、適切な米国 及び日本政府の輸出許可を得ずに本ソフトウェアや本ソフトウェアから作られた商品を輸出、再輸出しないことに同意します。もし、お客様がこの条項に違反された場合、自動的にこの契約は解除されるものとします。
15. お客様は、本契約に本ソフトウェア、フォントプログラム、タイプフェースおよび商標の使用に関連した条文が含まれている限り、米国デラウェア州法に準拠して設立され、345 Park Avenue, San Jose, CA 95110-2704 に所在するアドビシステムズ社が本契約に対する第三受益者であるということをここに通知されたものとします。この規定は、アドビの利益の為に、明確に規定されるもので、沖データに加えアドビも権利行使できるものとします。

NOTICE TO GOVERNMENT END USERS: The Software is a “commercial item,” as that term is defined at 48 C.F.R. 2.101, consisting of “commercial computer software” and “commercial computer software documentation,” as such terms are used in 48 C.F.R. 12.212. Consistent with 48 C.F.R. 12.212 and 48 C.F.R. 227.7202-1 through 227.7202-4, all U.S. Government End Users acquire the Software with only those rights set forth herein.

This product contains an implementation of LZW licensed under U.S.Patent 4,558,302.

沖データソフトウェア

PSハーフトーン調整ユーティリティ、OKI ストレージデバイスマネージャ、ICCプロファイル、MicrolinePS Utility、 プリンタ記述ファイルおよび関連するドキュメンテーションは、株式会社沖データが提供するものです。本ソフトウェアを使用することにより、お客様は、株式会社沖データ（以下、沖データという）との間で契約が成立し、本契約条項の拘束を受けることに同意したものと見なされます。

1. お客様は、ユーザーズマニュアルで規定された本ソフトウェアに対応する沖データプリンタを所有している場合のみ、ソフトウェアを使用することが出来ます。

2. 本ソフトウェアおよびドキュメンテーション、そしてそれらのコピーの著作権、版権、所有権は、沖データまたは沖データに使用許諾を与えたライセンサーにあります。本ソフトウェアあるいはドキュメンテーションの一部または全部を複製したり、他人に複製を作らせたり、複製を許可したり、商行為をすることはできません。お客様は本ソフトウェアを、修正、改変、翻訳、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルしないことに同意します。また、本契約で認められた項目を除き、本ソフトウェアとドキュメンテーションに関するいかなる知的所有権の権利も付与しません。

3. お客様は以下の条件すべてを満足することにより本ソフトウェアを第三者に譲渡できます。
   （1） 本ソフトウェアに対応する沖データプリンタと一緒に譲渡する。
   （2） 本ソフトウェアおよびドキュメンテーションのコピー全てを当該第三者に譲渡し、または譲渡しなかったコピーを全て破棄する。
   （3） 当該第三者が事前に本契約の拘束に同意する。

   また、本ソフトウェアを賃貸、貸与、リース、配布、転載、移転することはできません。
   お客様は、本ソフトウェアを日本国外に出荷、移転、輸出、再輸出できないこと、違法な方法で使用しないことに同意します。

4. お客様が本契約の条件に違反した場合には、沖データは、お客様の本ソフトウェアおよびドキュメンテーションの使用中止およびライセンス契約の解除を行うことがあります。この様な解除が行われた場合には、お客様は本ソフトウェアおよびドキュメンテーションのオリジナルおよび全てのコピーを破棄し、商標の使用を中止するものとします。

5. 沖データ及び沖データのライセンサーは、本ソフトウェアまたはドキュメンテーションに関して、以下のことを含む一切の保証をしません。
   （1） 本ソフトウェアを使用する事によってお客様の要望する性能または結果が得られること。
   （2） 本ソフトウェアあるいはドキュメンテーションに瑕疵がないこと。
   （3） 第三者の権利を侵害していないこと。
   （4） 特定の目的に適合していること。

   またソフトウェアまたはドキュメンテーションは、予告なく改良、変更することがあります。

6. 沖データ及び沖データのライセンサーは、本ソフトウェアまたはドキュメンテーションによって生じる、いかなる直接的、間接的、派生的な損害、損失に対しても、一切責任を負わないものとします。

目　次

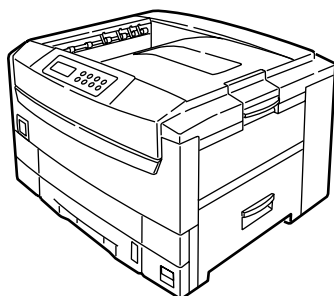
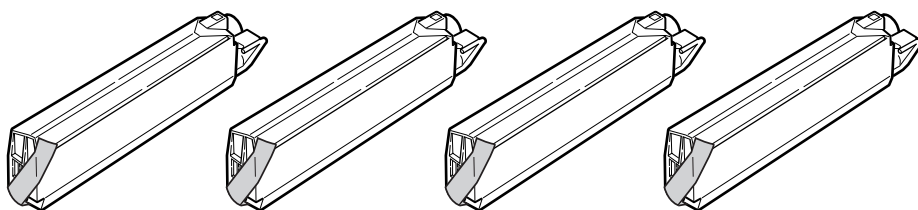
1 プリンタを設置します

製品の確認

製品が揃っていることを確認してください。

⚠注意	ケガをするおそれがあります。	

このプリンタは重量が約 72Kg ありますので、3 人以上で持ち上げてください。

☐ プリンタ（本体）

☐ トナーカートリッジ（4 個）

☐ プリンタソフトウェア CD-ROM
☐ LED レンズクリーナ
☐ 黒いビニール袋（4 枚）
☐ 電源コード
☐ 保証書・ご愛用者登録カード
☐ ユーザーズマニュアル(セットアップ編)(本書)
☐ ユーザーズマニュアル CD-ROM
　（ユーザーズマニュアル（セットアップ編 / リファレンス編））
☐ ペーパーサイズプレート

☐ MLETB09A イーサネットボードユーザーズマニュアル *
☐ ネットワークソフトウェア CD-ROM *
　　*: ML3020cV には添付されていません。

- **プリンタケーブルは添付されていません。お使いのコンピュータに合わせて別途用意してください。**
- **イメージドラムカートリッジはプリンタ内部にセットされています。**
- **梱包箱、緩衝材はプリンタを輸送するときに使います。捨てずに保管してください。**

MICROLINE プリンタの特長

1200DPI *1の高画質

1 インチあたり 1200 個の発光ダイオードを集合した LED ヘッドを搭載。スムージング技術に依存しない真の 1200DPI の高解像度、高画質を実現しています。

ポストスクリプト3 *2とPCL5cを搭載

デスクトップパブリッシングの標準ページ記述言語、日本語対応ポストスクリプト 3 を搭載。本格的な DTP 印刷ができます。また、PCL5c 言語も搭載しています。

アウトラインフォントを内蔵

PS モードでは日本語 5 書体 *3 と欧文 136 書体 *4 のアウトラインフォントを内蔵。大きな文字もギザギザのない高品質な印刷ができます。PCL モードでは日本語 2 書体 *5 と欧文 80 書体のアウトラインフォントを内蔵しています。

高速印刷

印刷制御部に PowerPC750 プロセッサを採用。印刷処理を高速に行うことができます。4 連 LED ヘッドを使用したシングルパスカラー方式で印刷することにより A4 用紙（A4 横送り、片面印刷時）をカラー印刷では最大 22 枚 / 分 *6（コピーモード）、モノクロ印刷では最大 26 枚 / 分（コピーモード）で印刷できます。

多彩な給紙機能

普通紙 550 枚（連量 70kg 紙）を連続給紙する用紙カセットと、はがき・封筒・ラベル紙・OHP シートを連続給紙できるマルチパーパストレイを標準装備。オプションで普通紙 550 枚の連続給紙が可能なセカンド / サードトレイユニット、普通紙 1,650 枚の連続給紙が可能な大容量トレイ、用紙の両面に印刷できる両面印刷ユニットを用意しています。

インタフェースの自動切り替え

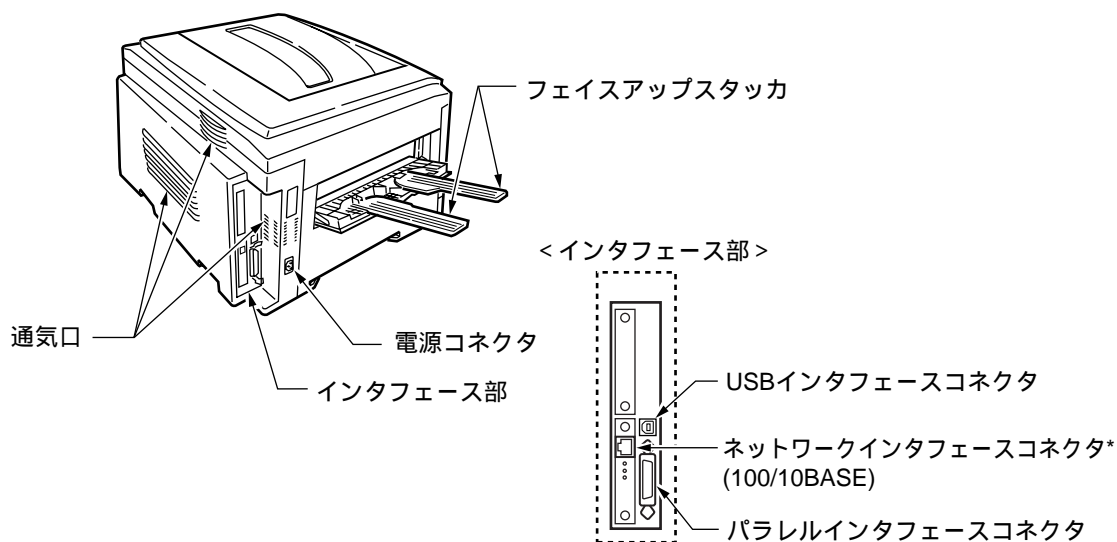
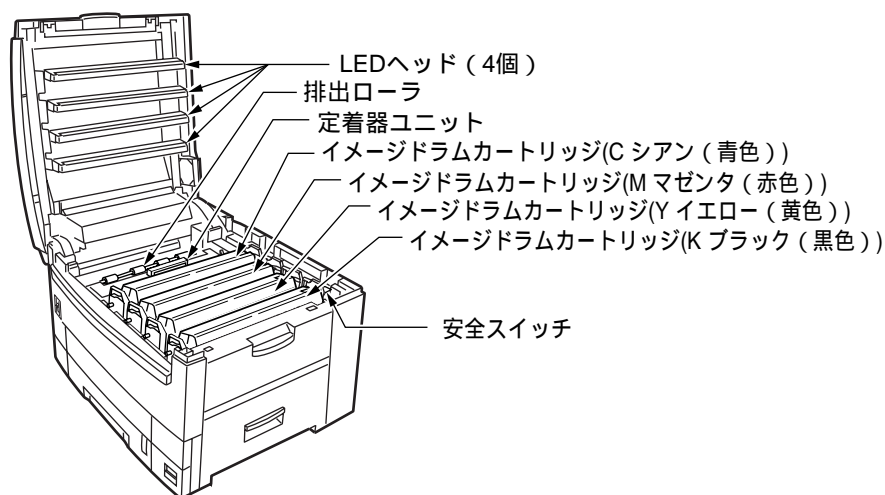
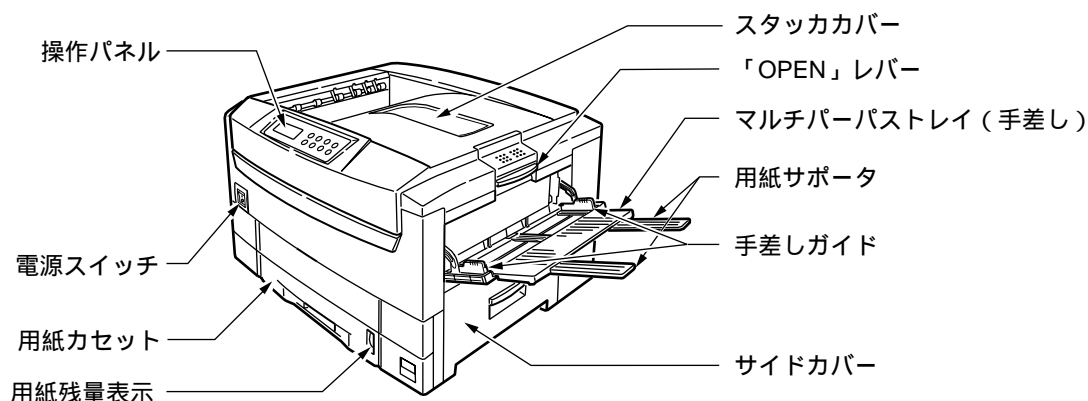
パラレルと USB、ネットワーク *7 のインタフェースを装備。データの来た順に自動的に切り替わります。

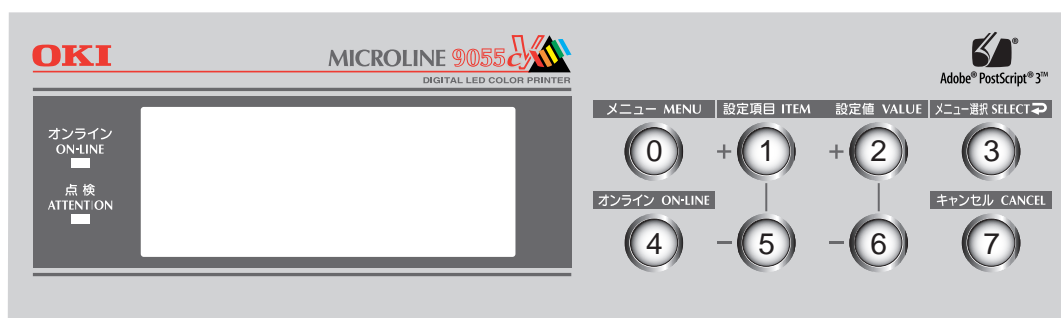
環境対応

交換時期の異なるトナーとイメージドラムを別ユニットに分離。廃棄物を最小限に抑え、地球環境の保全に十分配慮しています。さらに、待機時の電力消費を抑える省電力モードやオゾンフリープロセスなど使う人に優しい設計です。

*1：ML3020cV は 600dpi。
*2：Web プリント、ダイレクト PDF プリントには対応していません。
*3：ML3050cV, ML3020cV は日本語 2 書体。
*4：OS によって使用できる欧文書体に制限があります。
*5：ML9055cV には日本語書体はありません。
*6：標準トレイにおける A4 横送りコピーモード時、その他のトレイでは 21 枚 / 分となります。
*7：ML3020cV はオプション。

1章

プリンタ各部の名前

＊：ML3020cVはオプション

操作パネル

「オンライン」ランプ（緑）

点灯：データを受信できる状態です。
（オンライン）

点滅：受信したデータを処理しています。また、ポストスクリプトエラーが発生したときも点滅します。

消灯：データを受信できない状態です。
（オフライン）

「点検」ランプ（赤）

点灯：エラーが発生しました。印刷は可能です。

点滅：エラーが発生しました。印刷できません。

表示部

プリンタの状態や、障害が発生したときの内容を表示します。1行24文字で2行に表示します。

0 「メニュー」スイッチ

スイッチを短く押すとメニューモードになり、表示部にカテゴリを表示します。
メニューモード中に押すと次のカテゴリを表示します。2秒以上押すと前のカテゴリを表示します。

1 「設定項目＋」スイッチ

メニューモード中に押すと設定項目を一つ進めます。2秒以上押すと早送りします。

2 「設定値＋」スイッチ

メニューモード中に押すと設定値を一つ進めます。
2秒以上押すと早送りします。

3 「メニュー選択」スイッチ

メニューモード中に押すと表示中の設定値を保存し、表示部の右端に“ ＊ ”を表示します。

4 「オンライン」スイッチ

オンライン状態とオフライン状態を切り替えます。
メニューモード中に押すと［オンライン］に戻ります。［》nnn：テサシ　インサツ］、［》nnn：ttt ヨウシガ　チガイマス］、［》nnn：ttt　サイズガ　チガイマス］表示中に押すと印刷します。

5 「設定項目−」スイッチ

メニューモード中に押すと設定項目を一つ戻します。2秒以上押すと早戻しします。

6 「設定値−」スイッチ

メニューモード中に押すと設定値を一つ戻します。
2秒以上押すと早戻しします。

7 「キャンセル」スイッチ

処理中の印刷ジョブを削除します。メニューモード中に押すと、［オンライン］に戻ります。

1
章

設置条件

動作環境

- 次の温度、湿度を満足する場所に設置してください。
  周囲温度　　：　10 ～ 32゜C
  周囲湿度　　：　30 ～ 80%RH（相対湿度）
  最大湿球温度：　25℃
- 結露しないように注意してください。
- ［サービスコール /123：エラー］表示が出た場合、結露の可能性があります。
  結露したときは、プリンタが周囲の温度になじむまで1時間程度放置してから電源を入れてください。
- 周囲湿度が 30% 以下の場所に設置する場合は、加湿器または静電気防止マットなどを使用してください。

設置に関する注意

⚠警告

- **高温や火気の近くには設置しないでください。**
- **化学反応を起こすような場所（実験室など）には設置しないでください。**
- **アルコール、シンナーなどの引火性溶液の近くには設置しないでください。**
- **小さなお子さまの手の届く所には設置しないでください。**
- **不安定な場所（ぐらついた台や傾いた所など）には設置しないでください。**
- **湿気やほこりの多い場所、直射日光の当たる場所には設置しないでください。**
- **潮風、腐食性ガスの環境には設置しないでください。**
- **振動が多い場所には設置しないでください。**

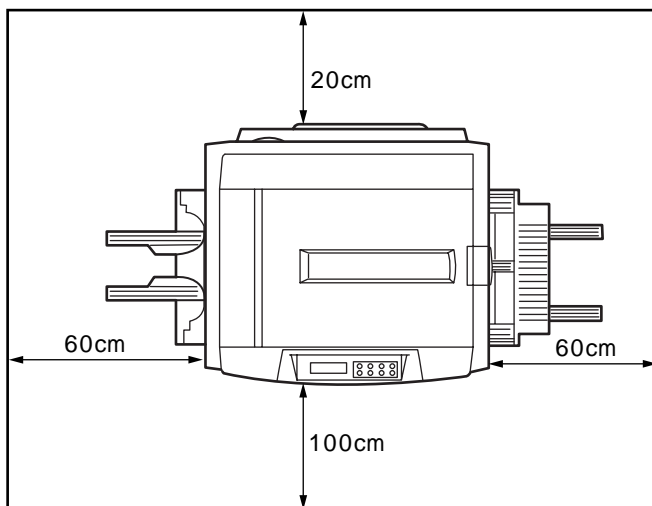
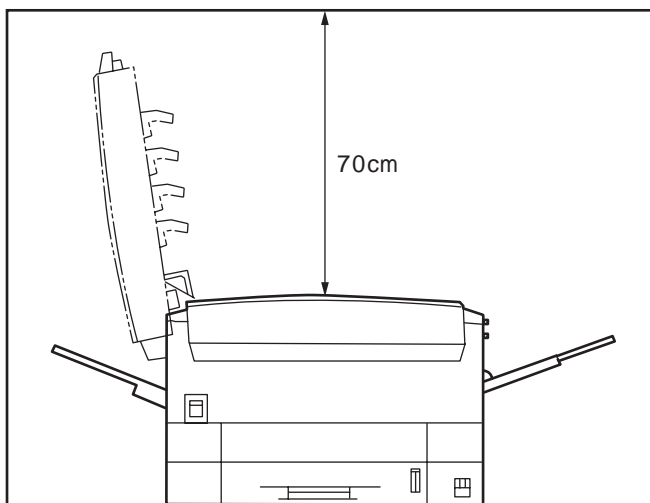
⚠注意

- **プリンタの通気口をふさぐような場所には設置しないでください。**
- **毛足の長いジュータンやカーペットの上には直接設置しないでください。**
- **密室などの通気性、換気性の悪い場所には設置しないでください。**
- **強い磁界やノイズの発生源から離して設置してください。**
- **モニタやテレビから離して設置してください。**
- **プリンタを移動するときは、プリンタの両側を持ってください。**
- **このプリンタは重量が約 72kg ありますので、3 人以上で持ち上げてください。**

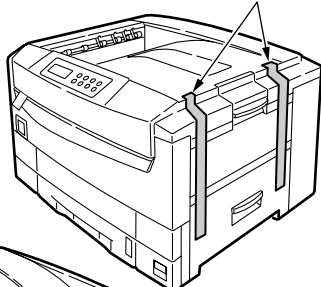
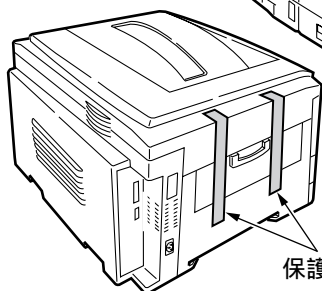
設置スペース

- プリンタの足が乗る大きさの平らな机の上に置いてください。
- プリンタの周りに十分なスペースを取ってください。

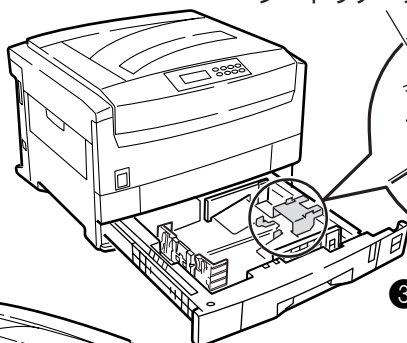
平面図

側面図

付属品を取り付けます

1 保護具を取り外します。

保護テープ

❶ プリンタ右側面の保護テープ（2ヶ所）をはがします。

保護テープ

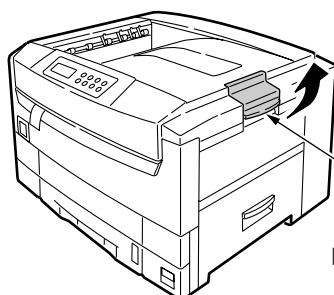
❷ プリンタ左側面の保護テープ（2ヶ所）をはがします。

シートリテーナー

❸ 用紙カセットを引き出し、用紙カセット内プレートのシートリテーナー（オレンジ色）を取り外します。

「OPEN」レバー

❹ 「OPEN」レバーを押し上げ、スタッカカバーを開きます。

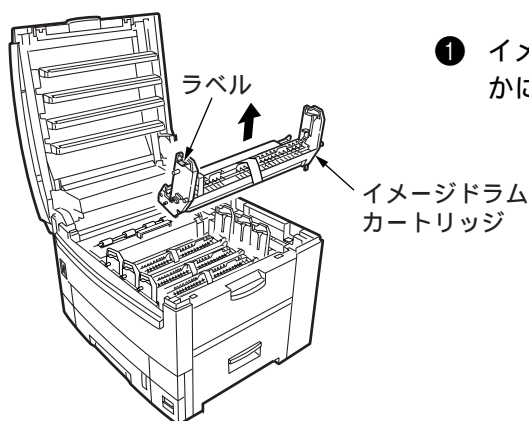
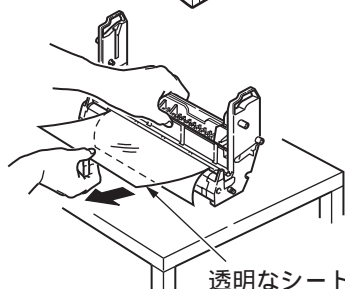
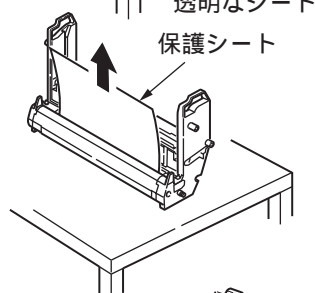
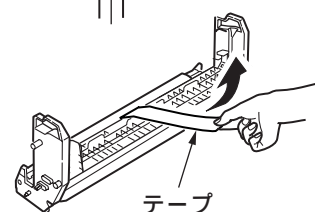
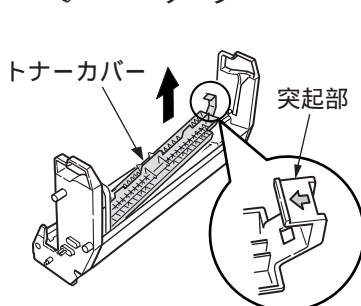
LEDストッパー

定着器
ユニットのレバー

ストッパー
リリース

❺ LEDストッパー（オレンジ色）を引き出します。

❻ 定着器ユニットのレバー（青色）を矢印の方向へ倒し、ストッパーリリース（オレンジ色）を取り外します。

注 **ストッパーリリースはプリンタを輸送するときに使います。必ず保管してください。**

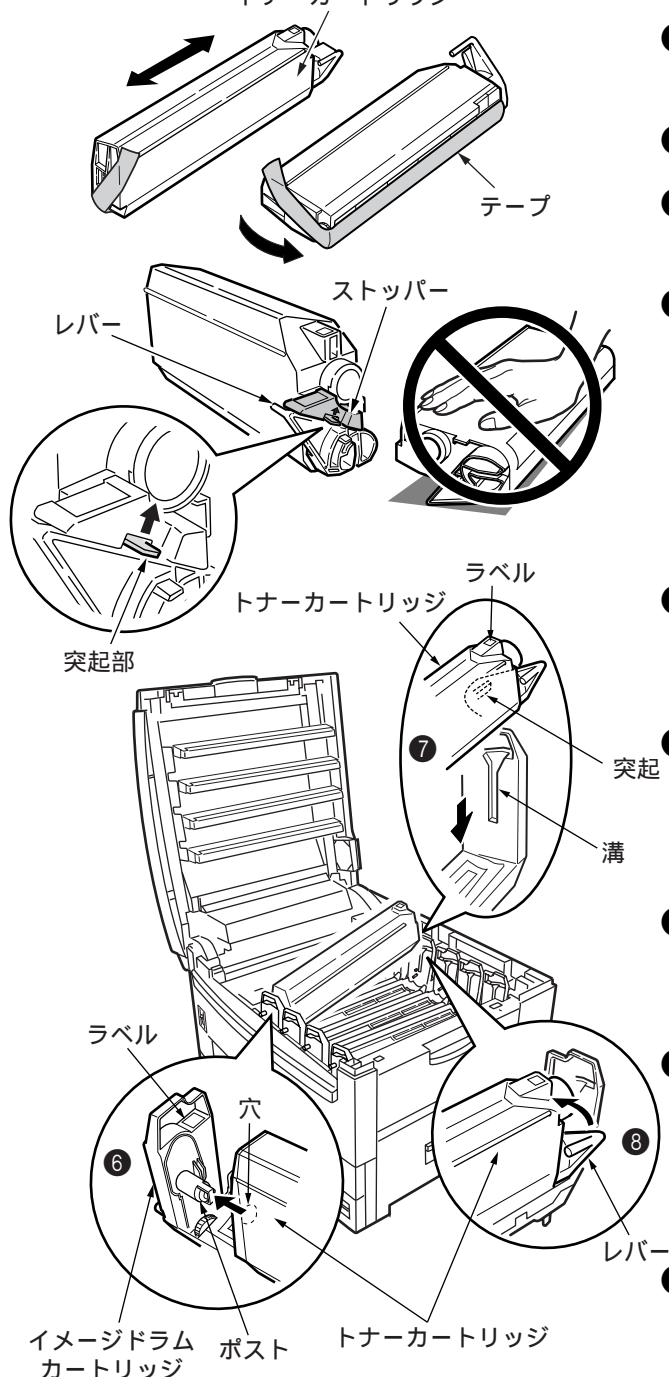
2 イメージドラムカートリッジをセットします。

❶ イメージドラムカートリッジ（4個）を静かに取り出します。

❷ 透明なシートを止めているテープをはがします。

❸ イメージドラムカートリッジの中央部を手でしっかり押さえ、透明なシートを矢印の方向に引き抜きます。

❹ イメージドラムカートリッジから紙の保護シートを矢印の方向に引き抜きます。

❺ トナーカバー（オレンジ色）を固定しているテープをはがし、突起部を内側に押しながらトナーカバーを取り外します。

メモ **トナーカバーは不燃物として処理してください。**

❻ イメージドラムカートリッジのラベルの色とプリンタのラベルの色を合わせます。

❼ イメージドラムカートリッジ（4個）を静かに戻します。

注
- **イメージドラム（緑の筒の部分）は、非常に傷つきやすいため取り扱いには十分注意してください。**
- **イメージドラムカートリッジは、直射日光や強い光（約1500ルクス以上）に当てないでください。室内の照明の下でも5分間以上は放置しないでください。**

3 トナーカートリッジをセットします。

❶ トナーカートリッジ（4個）を包装袋から取り出します。

❷ 縦と横に数回振ります。

❸ トナーカートリッジを水平にして、テープをゆっくりはがします。

❹ レバーのストッパー（オレンジ色）を外します。突起部を矢印方向に押すと外れます。

トナーカートリッジを裏返した状態で荷重をかけないでください。レバーが動き、トナーがこぼれる場合があります。

❺ トナーカートリッジのラベルの色とイメージドラムカートリッジのラベルの色が合っていることを確認します。

❻ テープをはがした面を下にして、トナーカートリッジの穴をイメージドラムカートリッジのポストに差し込みます。

❼ トナーカートリッジの突起をイメージドラムカートリッジの溝に合わせしっかり押し込みます。

❽ トナーカートリッジのレバー（青色）を矢印の方向に止まるまで回します。

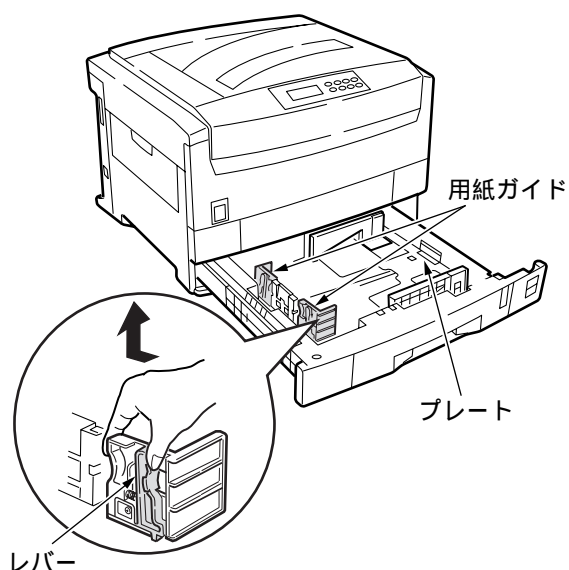
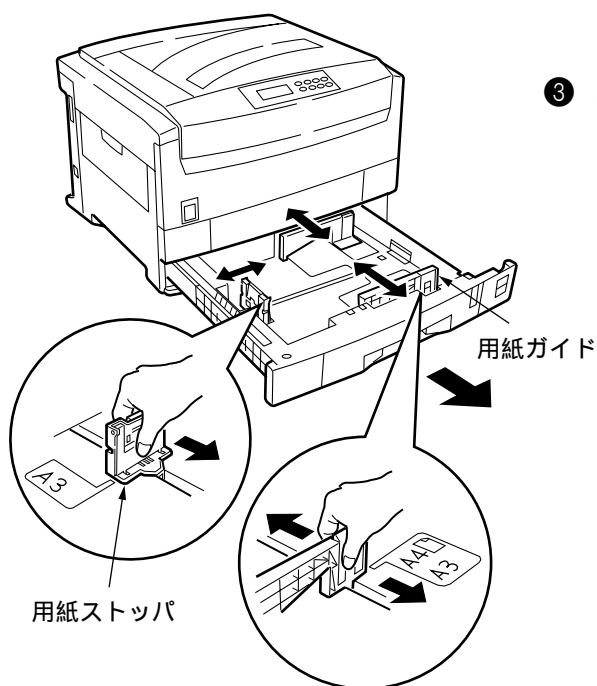
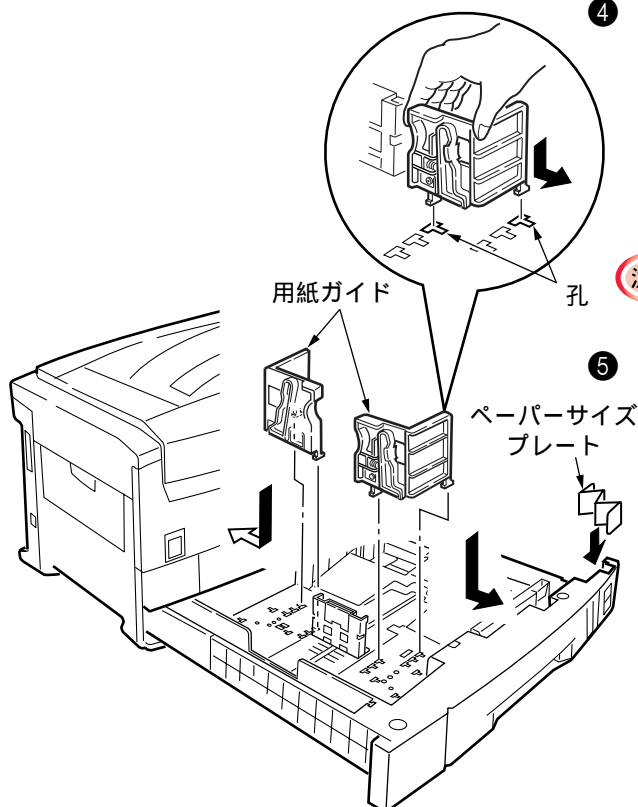
❾ スタッカカバーを閉じます。

- **トナーカートリッジを無理に押し込まないでください。きちんと入らずレバーが回らないときは、トナーカートリッジとイメージドラムカートリッジのラベルの色が合っているか確認してください。ラベルの色が一致しないとトナーカートリッジは取り付けられないようになっています。**
- **トナーカートリッジがきちんと固定されていないと、印刷品質が低下することがあります。**
- **トナーカートリッジを取り付けた後に、操作パネルの［トナーヲ　イレテクダサイ］の表示がいつまでも消えないときは、上記の手順に従ってトナーカートリッジが正しくセットされているか確認してください。**

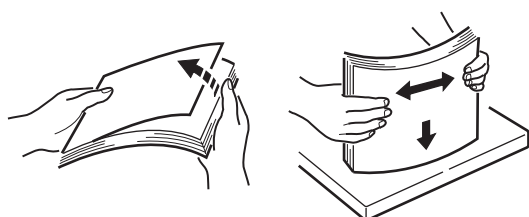
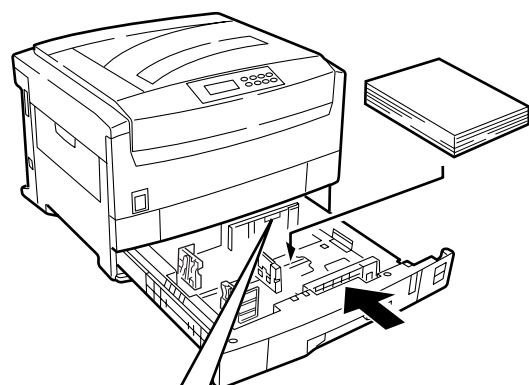
4 用紙カセットに用紙をセットします。

❶ 用紙カセットを引き出します。

注 **プレートについているコルクは、はがさないでください。**

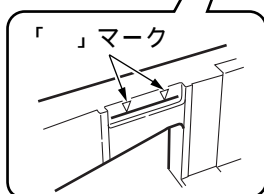
❷ 使用する用紙サイズがB4やリーガルより大きい場合には、用紙ガイド（2ケ所）を取り外します。用紙ガイドのレバー（青色）をつまみ、内側へずらし、上へ上げると外れます。

❸ 用紙ガイドと用紙ストッパを用紙サイズに合わせ、確実に固定します。

❹ 使用する用紙サイズがB4、A3、リーガル、タブロイドの場合には、手順❷で外した用紙ガイド（2ケ所）を取り付けます。
用紙サイズの位置に合わせて差し込み押し付けながら、パチンと音がするまで矢印方向に動かします。

注 **A3ノビの場合には、用紙ガイドは使用しません。**

❺ ペーパーサイズプレートをセットします。

❻ 用紙をよくさばき、上下左右をそろえます。

❼ 印刷面を下に向けて、用紙をセットします。

- **用紙は用紙カセットの右側によせて置きます。**
- **用紙ガイドの「▽」マークを越えないようにセットします。（連量70kg紙で550枚）**

❽ 用紙カセットをプリンタに戻します。

「▽」マーク

電源を入れます

電源の条件

- 以下の条件を守ってください。
  交流（AC）　：　100V ± 10%
  電源周波数　：　50Hz または 60Hz ± 1Hz
- 電源が不安定な場合は、電圧調整器などを使用してください。
- 本プリンタの最大消費電力は1,400Wです。電源容量に十分余裕があることを確認してください。

⚠警告

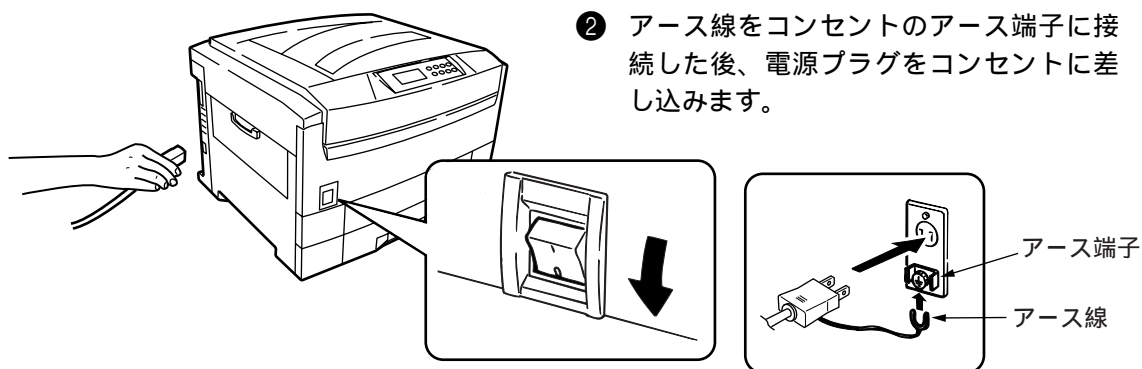
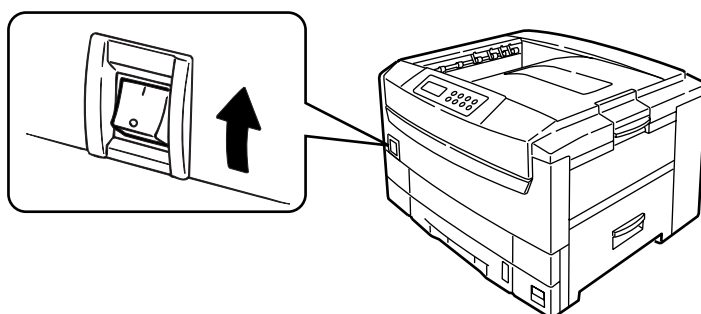
- **電源コード、アース線の取り付け、取り外しは必ず電源スイッチをOFFにしてから行ってください。**
- **アース線は必ず専用のアース端子に接続してください。水道管、ガス管、電話線のアース、避雷針などには絶対に接続しないでください。**
- **電源コードの抜き差しは必ず電源プラグを持って行ってください。**
- **電源プラグは確実にコンセントの奥まで差し込んでください。**
- **濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。**
- **電源コードは踏まれない場所に設置し、電源コードの上には物を置かないでください。**
- **電源コードをたばねたり、結んだりして使用しないでください。**
- **破損した電源コードを使用しないでください。**
- **たこ足配線はしないでください。**
- **本プリンタと他の電気製品を同じコンセントに接続しないでください。特に、空調機、複写機、シュレッダなどと同時に接続すると、電気的ノイズによってプリンタが誤動作することがあります。やむを得ず同じコンセントに接続するときは、市販のノイズフィルタかノイズカットトランスを使用してください。**
- **添付の電源コードのみで使用してください。**
- **延長コードは使用しないでください。やむを得ず使用する場合は、定格15A以上のものを使用してください。**
- **延長コードを使用すると、AC電圧降下により、プリンタが正常に動作しない場合があります。**
- **印刷中に電源を切ったり電源プラグを抜かないでください。**
- **連休や旅行で長時間使用しない場合は、電源コードを抜いてください。**

1章

1 電源コードを接続します。

注 **電源スイッチが OFF（○）になっていることを確認してください。**

❶ 電源コードをプリンタに差し込みます。

❷ アース線をコンセントのアース端子に接続した後、電源プラグをコンセントに差し込みます。

2 電源スイッチの ON（｜）を押します。

操作パネルに次のように表示され、完全に起動すると［オンライン］表示になります。

■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■
■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■

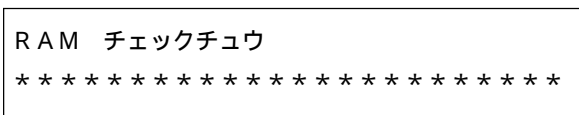
↓

RAM　チェックチュウ
＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

↓

イニシャルチュウ

↓

オンライン　　　　　　．AUTO
トレイ1

電源を切ります

ML9055cV とオプションの内蔵ハードディスクを取り付けた ML3050cV、ML3020cV は、いきなり電源を切らずに下記の手順で電源を切ります。

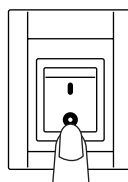
- **いきなり電源を切ると、内蔵ハードディスク内のデータが壊れるおそれがあります。**
- **ML3050cV、ML3020cV では、オプションの内蔵ハードディスク装着時にのみ、［シャットダウン　メニュー］が表示されます。**

❶ 0 を数回押し、［シャットダウン　メニュー］を表示します。

❷ 3 を押し、［シャットダウン　スタート／ジッコウ］を表示します。

❸ 3 を押します。

［シャットダウン］と表示され、シャットダウン処理が開始されます。

❹ ［デンゲンヲ　オフシテクダサイ／シャットダウン　カンリョウ］が表示されたら、電源スイッチの OFF（O）を押します。

メニューマップ印刷をします

プリンタが正常に動作することを確認します。

❶ トレイにA4用紙をセットします。

❷ 0 を数回押し、[インフォメーション　メニュー] を表示します。

❸ 1 または 5 を押し、[メニューマップ　インサツ／ジッコウ] を表示します。

❹ 3 を押します。

メニューマップ印刷が開始されます。

（サンプル）

MenuMap　　MICROLINE 3050cV

CU version:08.20 [100.58 S0.2.0f5 B01.00.0c 00088300 00020003 00000000 F20]
PU version:03.50.79 [PI02.04 L000.07.01]
PCL Program version:00.79
PS Program version:3011.103,PS66
Total Memory Size:192 MB
Flash Memory:2 MB [F20]
HDD:5.00 GB [F20]
TE:052 JP1

DIMM Slot 1:CU Program ROM
DIMM Slot 2:Empty
DIMM Slot 3:Heisei font

項目	設定
印刷ジョブメニュー	
パスワード入力	
インフォメーションメニュー	
メニューマップ印刷	
ファイルリスト印刷	
PCLフォント印刷	
PSフォント印刷	
DEMO1	
エラーログ印刷	
シャットダウン メニュー	
シャットダウン スタート	
印刷メニュー	
コピー枚数	1
ジョブオフセット	オン
給紙トレイ	トレイ1
出力ビン	フェイスダウン
自動トレイ切り替え	オン
用紙サイズチェック	有効
優先トレイ	なし
解像度	1200DPI
モノクロ印刷速度	自動
印刷方向	縦
1ページ行数	64 行
編集サイズ	カセット用紙サイズ
メディアメニュー	
トレイ1用紙タイプ	普通紙
トレイ1用紙厚	普通紙
MPトレイ用紙サイズ	A4 横送り
MPトレイ用紙タイプ	普通紙
MPトレイ用紙厚	普通紙
用紙サイズ設定単位	ミリメートル
カスタム用紙幅	210 ミリメートル
カスタム用紙長さ	297 ミリメートル
カラーメニュー	
カラーバランス補正	
自動色ずれ補正	オン
プロセスモード	タイプ1
システム構成メニュー	
パワーセーブ移行時間	60 分
動作モード	自動
コントロール-T	無効
アラーム解除	オン
エラー自動解除	オフ
マニュアルタイムアウト	60 秒
タイムアウト印刷	40 秒
トナー不足印刷継続	継続
ジャムリカバー	オン
エラーレポート印刷	オフ
言語	日本語
PCL エミュレーション	
使用フォント	DIMM1 フォント
フォントNo.	C001
フォントサイズ	12.00 ポイント
シンボルセット	WIN3.1J
A4印字幅	78 桁
白紙ページ除外	オフ
CR 動作	CR のみ
LF 動作	LF のみ
印刷領域	ノーマル
イメージ黒選択	混合黒
セントロ メニュー	
セントロ	有効
双方向セントロ	有効
ECP	有効
ACK幅	狭い
ACK/BUSYタイミング	ACK IN BUSY
I-PRIME	無効
USBメニュー	
USB	有効
ソフトリセット	無効
NETWORK MENU	
TCP/IP	ENABLE
NETWARE	ENABLE
ETHERTALK	ENABLE
NETBEUI	ENABLE
FRAME TYPE	AUTO
DHCP/BOOTP	ENABLE
RARP	DISABLE
IP ADDRESS	000.000.000.000
SUBNET MASK	000.000.000.000
GATEWAY ADDRESS	000.000.000.000
PRINT SETTINGS	OFF
INITIALIZE	OFF
メモリメニュー	
受信バッファサイズ	自動
リソースセーブエリア	オフ
FLASH イニシャライズ	
PS FLASH サイズ	0MB
DISK メンテナンス	
HDD イニシャライズ	
パーティション#1	PCL
パーティション#2	共通
パーティション#3	PS
HDD フォーマット	

メモ　ML3020cVでは、オプションのイーサネットボード装着時にのみ、続けて「Network Card Information」が印刷されます。

2 Windowsをセットアップします

使用するプリンタドライバとセットアップ方法を決めます

プリンタドライバのバージョンアップにより、本書の記載と異なる場合があります。

2章

1 使用するプリンタドライバを選択します。

Windows 用プリンタドライバには、次の 2 種類があります。

メモ **EPS 形式のファイルを印刷する場合は、PS プリンタドライバを使用してください。**

システム環境	PSプリンタドライバ	PCLプリンタドライバ
WindowsXP	Windows付属	沖データ製
WindowsMe	Adobe製	
Windows98		
Windows95		
Windows2000	Windows付属	
WindowsNT4.0	Adobe製	

2 接続方法とシステム環境からセットアップ方法を選択します。

Windows 用プリンタドライバには、次の 2 つのセットアップ方法があります。接続方法やシステム環境によってセットアップ方法が異なります。

● プラグアンドプレイでセットアップします
Windows は起動するときに新しく接続されたプリンタを自動的に検出し、プリンタを使用するために必要な手続きを画面に表示します。その指示に従ってセットアップします。

● プリンタの追加でセットアップします
WindowsMe/98/95/2000/NT4.0 の場合
［プリンタ］フォルダ内の［プリンタの追加］をダブルクリックしてセットアップします。

WindowsXP の場合
［プリンタと FAX］フォルダ内の［プリンタのインストール］をクリックしてセットアップします。

メモ **2つの方法でセットアップできるシステム環境の場合は、プラグアンドプレイでセットアップすることをお勧めします。**

○：セットアップできます
×：セットアップできません

接続方法	システム環境	セットアップ方法	
		プラグアンドプレイ	プリンタの追加 (WindowsXPではプリンタのインストール)
パラレルインタフェース	WindowsXP	○	×
	WindowsMe Windows98 Windows95 Windows2000	○	○
	WindowsNT4.0	×	○
USBインタフェース	WindowsXP	○	×
	WindowsMe Windows98 Windows2000	○	○ 初めてセットアップするときは、プリンタの追加でセットアップできません。
ネットワーク	WindowsXP WindowsMe Windows98 Windows95 Windows2000 WindowsNT4.0	×	○

パラレルインタフェースで接続します

動作環境

- WindowsXP
  WindowsXP 日本語版の動作するコンピュータ
  IBM PC/AT 互換機、PC98-NX（PC-9821 を除く）で双方向パラレルインタフェースを搭載している機種

- WindowsMe/98/95
  WindowsMe/98/95 日本語版の動作するコンピュータ
  IBM PC/AT 互換機、PC98-NX、PC-9821 で双方向パラレルインタフェースを搭載している機種

- Windows2000
  Windows2000 日本語版の動作するコンピュータ
  IBM PC/AT 互換機、PC98-NX、PC-9821 で双方向パラレルインタフェースを搭載している機種

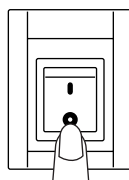
- WindowsNT4.0
  WindowsNT4.0 日本語版の動作するコンピュータ（PS プリンタドライバはサービスパック 5 以上）
  IBM PC/AT 互換機、PC98-NX、PC-9821 でパラレルインタフェースを搭載している機種

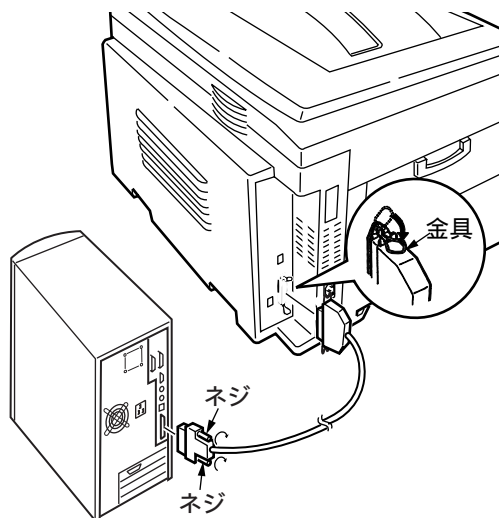
- **日本語以外の OS には対応していません。**
- **MS-DOS および Windows のコマンドプロンプト /DOS プロンプトでは動作しません。**
- **Windows3.1/NT3.51 では動作しません。**
- **WindowsNT4.0 は、ARC 互換 RISC ベースのプロセッサ（MIPS® シリーズ、Alpha、PowerPC™ など）のシステムには対応していません。**

コンピュータのパラレルポートの BIOS 設定を「ECP」モードにすると、データ転送速度が向上する場合があります。設定方法はコンピュータの製造元にお問い合わせください。

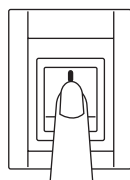
プラグアンドプレイでセットアップします（パラレル）

- プラグアンドプレイでセットアップできるのは、WindowsXP/Me/98/95/2000 です。WindowsNT4.0 は、プリンタの追加（39 ページ）でセットアップします。
- パラレルケーブルは添付されていません。お使いのコンピュータに合わせてIEEEstd1284-1994 準拠の双方向パラレルケーブルを別途用意してください。（124 ページ）
- 2 種類のプリンタドライバ（PS プリンタドライバと PCL プリンタドライバ）をお使いになりたい場合は、初めにどちらかのプリンタドライバをプラグアンドプレイでセットアップし、次にもう一方のプリンタドライバをプリンタの追加でセットアップしてください。（WindowsMe/98/95/2000 は 39 ページ、WindowsXP は 60 ページ）
- WindowsXP/2000 はコンピュータの管理者の権限が必要です。

1 プリンタとコンピュータの電源が OFF になっていることを確認します。

メモ 電源の切り方は「電源を切ります」（25 ページ）をご覧ください。

2 パラレルケーブルを接続します。

❶ パラレルケーブルをプリンタのパラレルインタフェースコネクタに差し込み、金具で固定します。

❷ パラレルケーブルをコンピュータのパラレルインタフェースコネクタに差し込み、ネジで固定します。

3 プリンタの電源を ON にします。

オンライン	. AUTO トレイ1

完全に起動すると操作パネルに「オンライン」と表示されます。

4 Windows を起動します。

Windows がすでに起動している場合は、必ず再起動してください。

5 WindowsXP をセットアップします。（パラレル）

- **WindowsXP をお使いの方だけご覧ください。**
- **コンピュータの管理者の権限が必要です。**

以下の説明は WindowsXP Home Edition を例にしています。

❶ 「新しいハードウェアの検出ウィザード」画面が表示されたら、[一覧または特定の場所からインストールする（詳細）] を選択し、[次へ] をクリックします。

画面が表示されなかったら？
☞ ⑯ へ進みます。

❷ 「プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットします。

❸ [次の場所で最適のドライバを検索する] を選択し、[リムーバブルメディア（フロッピー、CD-ROM など）を検索] のチェックを外します。

❹ [次の場所を含める] にチェックを付け、次のように入力し、[次へ] をクリックします。

PS ドライバを使用する場合
　D:\WINXP\PS
PCL ドライバを使用する場合
　D:\WINXP\PCL
（CD-ROM ドライブが D:の場合）

❺ 「ハードウェアのインストール」画面が表示されたら、[続行] をクリックします。

ファイルのコピーが開始されます。

「ディスクの挿入」画面が表示されたら？
☞ ⑩ へ進みます。

❻ [完了] をクリックします。

❼ [スタート] - [コントロールパネル] を選択し、[プリンタとその他のハードウェア] をクリックします。

❽ 「コントロールパネルを選んで実行します」の [プリンタと FAX] をクリックします。

プリンタアイコンが表示されていることを確認します。

❾ PS プリンタドライバの場合はプリンタアイコンをマウスの右ボタンでクリックして［プロパティ］を選択し、［デバイスの設定］タブの［出力プロトコル］で［TBCP］を選択して、［OK］をクリックします。

セットアップは終了です。

❿ 「ディスクの挿入」画面が表示されたら、「プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットし、［OK］をクリックします。

⓫ ［コピー元］に次のように入力し、［OK］をクリックします。

PS ドライバを使用する場合
D:\WINXP\PS
PCL ドライバを使用する場合
D:\WINXP\PCL
（CD-ROM ドライブが D:の場合）

ファイルのコピーが開始されます。

⓬ ［完了］をクリックします。

⓭ ［スタート］-［コントロールパネル］を選択し、［プリンタとその他のハードウェア］をクリックします。

⓮ 「コントロールパネルを選んで実行します」の［プリンタと FAX］をクリックします。

プリンタアイコンが表示されていることを確認します。

⓯ PS プリンタドライバの場合はプリンタアイコンをマウスの右ボタンでクリックして［プロパティ］を選択し、［デバイスの設定］タブの［出力プロトコル］で［TBCP］を選択して、［OK］をクリックします。

セットアップは終了です。

⑯ ［スタート］-［マイコンピュータ］をマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。

⑰ ［ハードウェア］タブの［デバイスマネージャ］をクリックします。

⑱ ［その他のデバイス］の「OKI DATA CORP MICROLINE ***」（*** はプリンタ名）をマウスの右ボタンでクリックして［削除］を選択します。

［その他のデバイス］が表示されなかったら？

［表示］メニューの［非表示のデバイスの表示］を選択し、［プリンタ］の「OKI DATA CORP MICROLINE ***」（*** はプリンタ名）をマウスの右ボタンでクリックして［削除］を選択します。

⑲ 「デバイスの削除の確認」画面で［OK］をクリックし、「デバイスマネージャ」を閉じます。

⑳ 「システムのプロパティ」画面で［OK］をクリックします。

㉑ Windows を再起動し、「新しいハードウェアの検出ウィザード」画面から再セットアップします。

☞「5.WindowsXPをセットアップします。（パラレル）」の手順❶（31ページ）へ戻ります。

2章

WindowsMe をセットアップします。(パラレル)

 WindowsMe をお使いの方だけご覧ください。

❶ 「新しいハードウェアの追加ウィザード」画面が表示されたら、[ドライバの場所を指定する(詳しい知識のある方向け)]を選択し、[次へ]をクリックします。

「ファイルのコピー」画面が表示されたら？
☞ ❾へ進みます。
画面が表示されなかったら？
☞「プリンタの追加でセットアップします」の手順5(40ページ)へ進みます。

❷ 「プリンタソフトウェアCD-ROM」をセットします。

❸ [使用中のデバイスに最適なドライバを検索する(推奨)]を選択し、[リムーバブルメディア(フロッピー、CD-ROMなど)]のチェックを外します。

❹ [検索場所の指定]にチェックを付け、次のように入力し[次へ]をクリックします。

PS プリンタドライバを使用する場合
　D:\WIN9598\PS
PCL プリンタドライバを使用する場合
　D:\WIN9598\PCL
　(CD-ROM ドライブが D:の場合)

❺ このデバイスに最適なドライバをインストールする準備ができたことを確認し、[次へ]をクリックします。

❻ プリンタ名を確認し、通常のプリンタで[はい]を選択し、[次へ]をクリックします。

❼ [印字テストを行いますか？]で[いいえ]を選択し、[完了]をクリックします。

ファイルのコピーが開始されます。

❽ [完了]をクリックします。

[プリンタ]フォルダにプリンタアイコンが表示されると、セットアップは終了です。

---

❾ 「ファイルのコピー」画面が表示されたら、「プリンタソフトウェアCD-ROM」をセットします。

❿ [ファイルのコピー元]に次のように入力し、[OK]をクリックします。

PS プリンタドライバを使用する場合
　D:\WIN9598\PS
PCL プリンタドライバを使用する場合
　D:\WIN9598\PCL
　(CD-ROM ドライブが D:の場合)

ファイルのコピーが開始されます。

[プリンタ]フォルダにプリンタアイコンが表示されると、セットアップは終了です。

7 Windows98 をセットアップします。（パラレル）

注 Windows98 をお使いの方だけご覧ください。

❶ 「新しいハードウェアの追加ウィザード」画面が表示されたら、[次へ] をクリックします。

「ディスクの挿入」画面が表示されたら？
☞ ❾ へ進みます。
画面が表示されなかったら？
☞「プリンタの追加でセットアップします」の手順5（40 ページ）へ進みます。

❷ [使用中のデバイスに最適なドライバを検索する（推奨）] を選択し、[次へ] をクリックします。

❸ 「プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットします。

❹ [検索場所の指定] にチェックを付け、次のように入力し [次へ] をクリックします。

PS プリンタドライバを使用する場合
D:\WIN9598\PS
PCL プリンタドライバを使用する場合
D:\WIN9598\PCL
（CD-ROM ドライブが D:の場合）

❺ このデバイスに最適なドライバをインストールする準備ができたことを確認し、[次へ] をクリックします。

❻ プリンタ名を確認し、通常のプリンタで [はい] を選択し、[次へ] をクリックします。

❼ [印字テストを行いますか？] で [いいえ] を選択し、[完了] をクリックします。

ファイルのコピーが開始されます。

❽ [完了] をクリックします。

[プリンタ] フォルダにプリンタアイコンが表示されると、セットアップは終了です。

❾ 「ディスクの挿入」画面が表示されたら、「プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットし、[OK] をクリックします。

❿ [ファイルのコピー元] に次のように入力し、[OK] をクリックします。

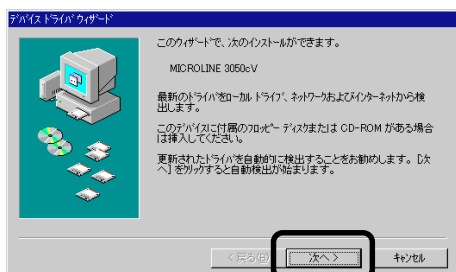
PS プリンタドライバを使用する場合
D:\WIN9598\PS
PCL プリンタドライバを使用する場合
D:\WIN9598\PCL
（CD-ROM ドライブが D:の場合）

ファイルのコピーが開始されます。

［プリンタ］フォルダにプリンタアイコンが表示されると、セットアップは終了です。

8 Windows95 をセットアップします。（パラレル）

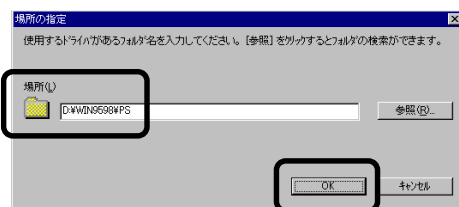
注 Windows95 をお使いの方だけご覧ください。

❶ 「デバイスドライバウィザード」画面が表示されたら、［次へ］をクリックします。

「新しいハードウェア」画面が表示されたら？
☞ ⑩へ進みます。
「ディスクの挿入」画面が表示されたら？
☞ ⑧へ進みます。
画面が表示されなかったら？
☞ 「プリンタの追加でセットアップします」の手順5（40ページ）へ進みます。

❷ ［場所の指定］をクリックします。

❸ 「プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットします。

❹ ［場所］に次のように入力し、［OK］をクリックします。

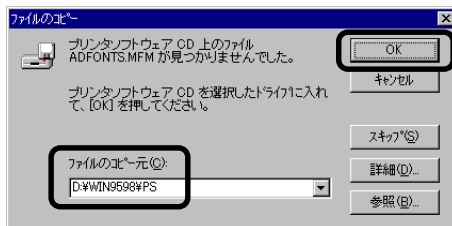
PS プリンタドライバを使用する場合
D:\WIN9598\PS
PCL プリンタドライバを使用する場合
D:\WIN9598\PCL
（CD-ROM ドライブが D:の場合）

❺ 更新されたドライバが見つかったことを確認し、［完了］をクリックします。

❻ プリンタ名を確認し、通常のプリンタで［はい］を選択し、［次へ］をクリックします。

❼ ［印字テストを行いますか？］で［いいえ］を選択し、［完了］をクリックします。

❽ 「ディスクの挿入」画面が表示されたら、「プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットし、［OK］をクリックします。

❾ ［ファイルのコピー元］に次のように入力し、［OK］をクリックします。

PS プリンタドライバを使用する場合
D:\WIN9598\PS
PCL プリンタドライバを使用する場合
D:\WIN9598\PCL
（CD-ROM ドライブが D:の場合）

ファイルのコピーが開始されます。

［プリンタ］フォルダにプリンタアイコンが表示されると、セットアップは終了です。

❿ 「新しいハードウェア」画面が表示されたら、［ハードウェアの製造元が提供するドライバ］を選択し、［OK］をクリックします。

⓫ 「プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットします。

⓬ ［配布ファイルのコピー元］に次のように入力し、［OK］をクリックします。

PS プリンタドライバを使用する場合
D:\WIN9598\PS
PCL プリンタドライバを使用する場合
D:\WIN9598\PCL
（CD-ROM ドライブが D:の場合）

⓭ プリンタ名を確認し、通常のプリンタで［はい］を選択し、［次へ］をクリックします。

⓮ ［印字テストを行いますか？］で［いいえ］を選択し、［完了］をクリックします。

ファイルのコピーが開始されます。

［プリンタ］フォルダにプリンタアイコンが表示されると、セットアップは終了です。

2章

9 Windows2000 をセットアップします。(パラレル)

- Windows2000 をお使いの方だけご覧ください。
- コンピュータの管理者の権限が必要です。

❶ 「新しいハードウェアの検出ウィザード」画面が表示されたら、[次へ] をクリックします。

画面が表示されなかったら？
☞ ❾ へ進みます。

メモ **一度セットアップしたことのあるシステムではプリンタドライバは自動的にセットアップされます。**

❷ [デバイスに最適なドライバを検索する(推奨)] を選択し、[次へ] をクリックします。

❸ [場所を指定] を選択し、[次へ] をクリックします。

❹ 「プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットします。

❺ [製造元のファイルのコピー元] に次のように入力し、[OK] をクリックします。

PS プリンタドライバを使用する場合
　D:\WIN2000\PS
PCL プリンタドライバを使用する場合
　D:\WIN2000\PCL
　(CD-ROM ドライブが D:の場合)

❻ このデバイスのドライバが見つかったことを確認し、[次へ] をクリックします。

❼ 「デジタル署名が見つかりませんでした」画面が表示されたら、[はい] をクリックします。

ファイルのコピーが開始されます。

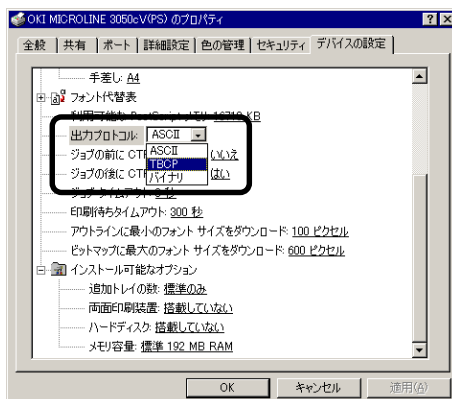
❽ 「新しいハードウェアの検索ウィザード」画面で [完了] をクリックします。

❾ [スタート] - [設定] - [プリンタ] を選択します。

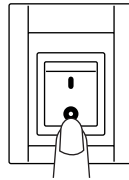
プリンタアイコンが表示されていることを確認します。

プリンタアイコンが表示されていなかったら？
☞ 「プリンタの追加でセットアップします」の手順 6 (41 ページ) へ進みます。

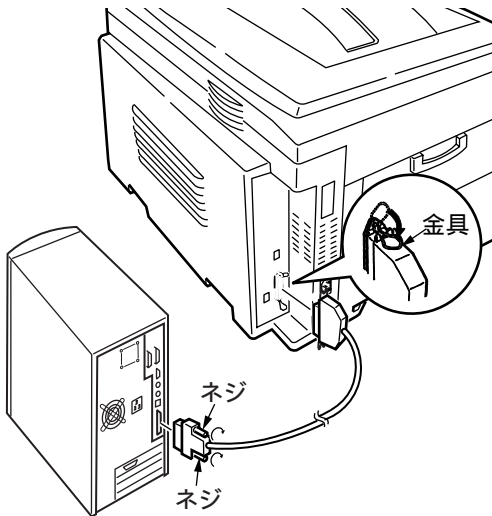
❿ プリンタアイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[通常使うプリンタに設定] を選択します。

⓫ PS プリンタドライバの場合は、プリンタアイコンをマウスの右ボタンでクリックして [プロパティ] を選択し、[デバイスの設定] タブの [出力プロトコル] で [TBCP] を選択して、[OK] をクリックします。

セットアップは終了です。

プリンタの追加でセットアップします（パラレル）

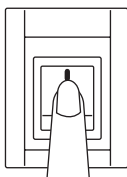
- パラレルケーブルは添付されていません。お使いのコンピュータに合わせてIEEEstd1284-1994 準拠の双方向パラレルケーブルを別途用意してください。（124 ページ）
- パラレルインタフェースで WindowsXP と接続する場合、プリンタの追加では正しくセットアップできません。プリンタの追加でセットアップすると、WindowsXPを起動するたびにプラグアンドプレイでのセットアップ画面（新しいハードウェアの検出ウィザード）が表示されますので、必ずプラグアンドプレイでセットアップしてください。（30 ページ）
- Windows2000/NT4.0 はコンピュータの管理者の権限が必要です。

1 プリンタとコンピュータの電源が OFF になっていることを確認します。

メモ　電源の切り方は「電源を切ります」（25 ページ）をご覧ください。

2 パラレルケーブルを接続します。

❶ パラレルケーブルをプリンタのパラレルインタフェースコネクタに差し込み、金具で固定します。

❷ パラレルケーブルをコンピュータのパラレルインタフェースコネクタに差し込み、ネジで固定します。

3 Windows を起動します。

4 プリンタの電源を ON にします。

オンライン	. AUTO トレイ1

完全に起動すると操作パネルに「オンライン」と表示されます。

5 WindowsMe/98/95 をセットアップします。(パラレル)

• WindowsMe/98/95をお使いの方だけご覧ください。
• Windows98 を例にしています。

❶ [スタート] - [設定] - [プリンタ] を選択します。

❷ [プリンタの追加] をダブルクリックします。

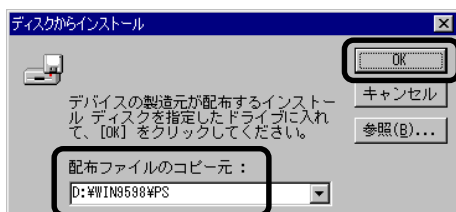
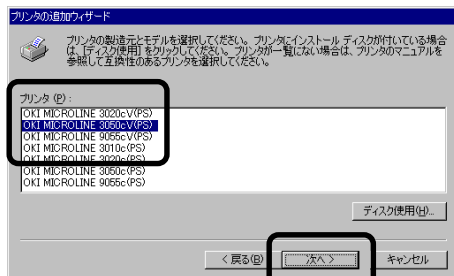
❸ 「プリンタの追加ウィザード」画面で、[次へ] をクリックします。

❹ [ローカルプリンタ] を選択し、[次へ] をクリックします。

❺ [ディスク使用] をクリックします。

❻ 「プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットします。

❼ [配布ファイルのコピー元] (WindowsMeでは[製造元のファイルのコピー元]) に次のように入力し、[OK] をクリックします。

PS プリンタドライバを使用する場合
D:\WIN9598\PS
PCL プリンタドライバを使用する場合
D:\WIN9598\PCL
(CD-ROM ドライブが D:の場合)

❽ プリンタ名を選択し、[次へ] をクリックします。

❾ [利用できるポート] で [LPT1:プリンタポート] を選択し、[次へ] をクリックします。

❿ プリンタ名を確認し、通常使うプリンタで [はい] を選択し、[次へ] をクリックします。

⓫ [印字テストを行いますか?] で [いいえ] を選択し、[完了] をクリックします。

ファイルのコピーが開始されます。

[プリンタ]フォルダにプリンタアイコンが表示されると、セットアップは終了です。

6 Windows2000 をセットアップします。（パラレル）

- **Windows2000 をお使いの方だけご覧ください。**
- **コンピュータの管理者の権限が必要です。**

❶ ［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。

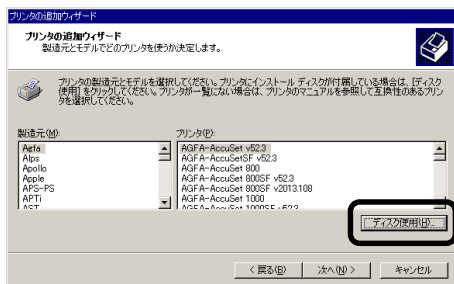
❷ ［プリンタの追加］をダブルクリックします。

プリンタの追加

❸ 「プリンタの追加ウィザード」画面で、［次へ］をクリックします。

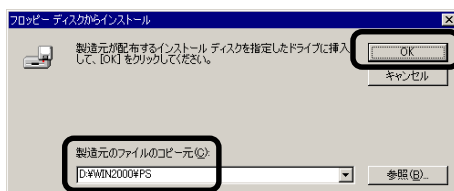
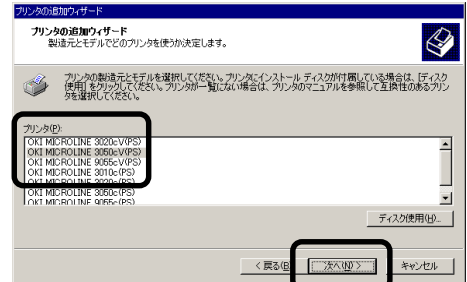
❹ ［ローカルプリンタ］を選択し、［次へ］をクリックします。

注 **［プラグアンドプレイプリンタを自動的に検出してインストールする］のチェックは外してください。**

❺ 「次のポートを使用」で［LPT1：プリンタポート］を選択し、［次へ］をクリックします。

❻ ［ディスク使用］をクリックします。

❼ 「プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットします。

❽ ［製造元のファイルのコピー元］に次のように入力し、［OK］をクリックします。

PS プリンタドライバを使用する場合 D:\WIN2000\PS PCL プリンタドライバを使用する場合 D:\WIN2000\PCL （CD-ROM ドライブが D:の場合）

❾ プリンタ名を選択し、［次へ］をクリックします。

❿ プリンタ名を確認し、通常使うプリンタで［はい］を選択し、［次へ］をクリックします。

⓫ ［このプリンタを共有しない］を選択し、［次へ］をクリックします。

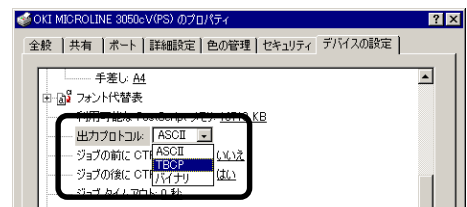
⓬ ［テストページを印刷しますか？］で［いいえ］を選択し、［次へ］をクリックします。

⓭ ［完了］をクリックします。

⓮ 「デジタル署名が見つかりませんでした」画面が表示されたら［はい］をクリックします。

ファイルのコピーが開始されます。

［プリンタ］フォルダにプリンタアイコンが表示されます。

⓯ PS プリンタドライバの場合は、プリンタアイコンをマウスの右ボタンでクリックして［プロパティ］を選択し、［デバイスの設定］タブの［出力プロトコル］で［TBCP］を選択して、［OK］をクリックします。

セットアップは終了です。

7 WindowsNT4.0 をセットアップします。（パラレル）

- **WindowsNT4.0 をお使いの方だけご覧ください。**
- **コンピュータの管理者の権限が必要です。**

2章

❶ ［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。

❷ ［プリンタの追加］をダブルクリックします。

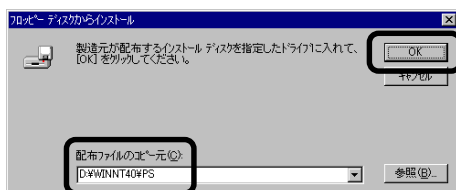
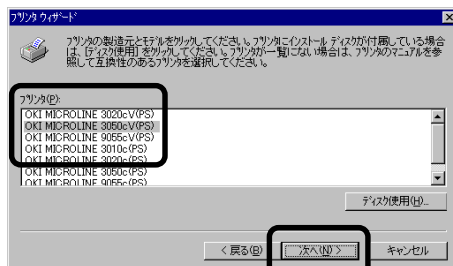
❸ 「プリンタの追加ウィザード」画面で、［このコンピュータ］を選択し、［次へ］をクリックします。

❹ ［利用可能なポート］で［LPT1：Local Port］にチェックを付け、［次へ］をクリックします。

❺ ［ディスク使用］をクリックします。

❻ 「プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットします。

❼ ［配布ファイルのコピー元］に次のように入力し、［OK］をクリックします。

PS プリンタドライバを使用する場合
　D:\WINNT40\PS
PCL プリンタドライバを使用する場合
　D:\WINNT40\PCL
　（CD-ROM ドライブが D:の場合）

❽ プリンタ名を選択し、［次へ］をクリックします。

❾ プリンタ名を確認し、通常使うプリンタで［はい］を選択し、［次へ］をクリックします。

❿ ［共有しない］を選択し、［次へ］をクリックします。

⓫ ［テストページを印刷しますか？］で［いいえ］を選択し、［完了］をクリックします。

ファイルのコピーが開始されます。

［プリンタ］フォルダにプリンタアイコンが表示されると、セットアップは終了です。

USB インタフェースで接続します（Windows）

動作環境

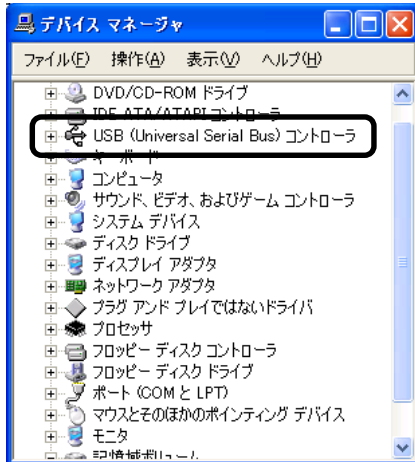
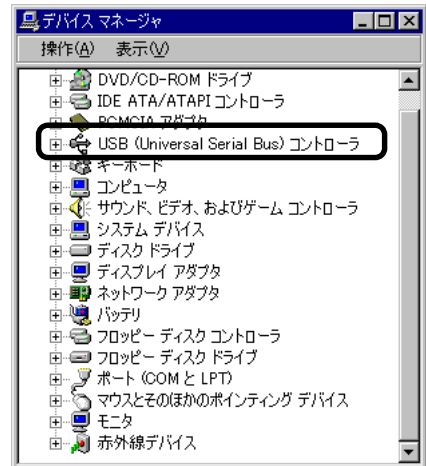
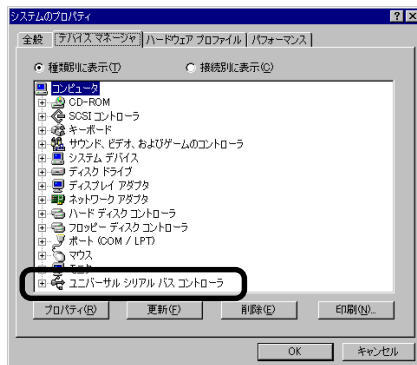
● WindowsXP
WindowsXP 日本語版の動作するコンピュータ
IBM PC/AT 互換機、PC98-NX（PC-9821 を除く）で USB インタフェースを搭載している機種

● WindowsMe/98
WindowsMe/98 日本語版の動作するコンピュータ
IBM PC/AT 互換機、PC98-NX（PC-9821 を除く）で USB インタフェースを搭載している機種

● Windows2000
Windows2000 日本語版の動作するコンピュータ
IBM PC/AT 互換機、PC98-NX（PC-9821 を除く）で USB インタフェースを搭載している機種

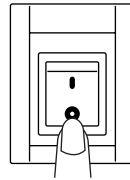
- **Windows95/3.1 からアップグレードインストールした WindowsMe/98 での動作は保証できません。**
- **日本語以外の OS には対応していません。**
- **MS-DOS および Windows のコマンドプロンプト /DOS プロンプトでは動作しません。**
- **Windows95/3.1/NT4.0/NT3.51 では動作しません。**
- **印刷中に USB ケーブルを抜き差ししないでください。**
- **USB ケーブルを短時間で抜き差ししないでください。抜き差しする間隔は 5 秒間以上あけてください。**
- **他の全ての USB 機器との同時接続を保証するものではありません。**
- **同一機種のプリンタを複数台接続すると、プリンタフォルダに「OKI MICROLINE****」「OKI MICROLINE****（コピー 2）」「OKI MICROLINE****（コピー 3）」（**** はプリンタ名）と表示されます。この番号はプリンタを接続する順序や電源を ON する順序によって変わります。**
- **USBハブを使用する場合は、コンピュータと直接接続されたUSBハブに接続してください。**

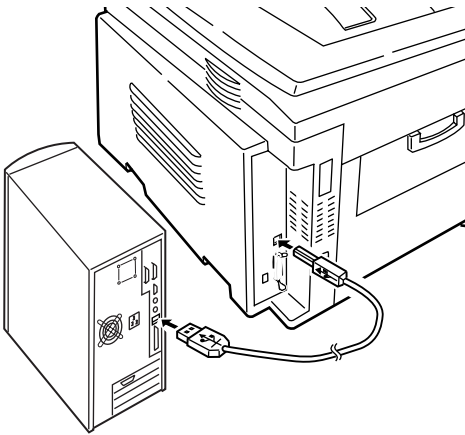
メモ お使いのコンピュータが USB に対応しているか確認できます。

〈WindowsXP〉
[スタート] - [マイコンピュータ] をマウスの右ボタンでクリックし、[プロパティ] - [ハードウェア] タブを開き、[デバイスマネージャ] をクリックします。

〈Windows2000〉
[マイコンピュータ] をマウスの右ボタンでクリックし、[プロパティ] - [ハードウェア] タブを開き、[デバイスマネージャ] をクリックします。

〈WindowsMe/98〉
[マイコンピュータ] をマウスの右ボタンでクリックし、[プロパティ] - [デバイスマネージャ] タブを開きます。

(Windows98 の画面)

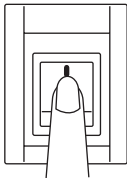
プラグアンドプレイでセットアップします（USB）

- USB ケーブルは添付されていません。USB1.1 準拠の USB ケーブルを別途用意してください。（125 ページ）
- 2 種類のプリンタドライバ（PS プリンタドライバと PCL プリンタドライバ）をお使いになりたい場合は、初めにどちらかのプリンタドライバをプラグアンドプレイでセットアップし、次にもう一方のプリンタドライバをプリンタの追加でセットアップしてください。（WindowsMe/98/95/2000 は 56 ページ、WindowsXP は 60 ページ）
- WindowsXP/2000 はコンピュータの管理者の権限が必要です。

1 プリンタとコンピュータの電源が OFF になっていることを確認します。

メモ　電源の切り方は「電源を切ります」（25 ページ）をご覧ください。

2 USB ケーブルを接続します。

❶ USBケーブルをプリンタのUSBインタフェースコネクタに差し込みます。

❷ USBケーブルをコンピュータのUSBインタフェースコネクタに差し込みます。

3 プリンタの電源を ON にします。

オンライン	. AUTO トレイ1

完全に起動すると操作パネルに「オンライン」と表示されます。

4 Windows を起動します。

5　WindowsXP をセットアップします。（USB）

- WindowsXP をお使いの方だけご覧ください。
- コンピュータの管理者の権限が必要です。

以下の説明は WindowsXP Home Edition を例にしています。

❶ 「新しいハードウェアの検出ウィザード」画面が表示されたら、[一覧または特定の場所からインストールする（詳細）] を選択し、[次へ] をクリックします。

画面が表示されなかったら？
☞ ⑭へ進みます。

❷ 「プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットします。

❸ [次の場所で最適のドライバを検索する] を選択し、[リムーバブルメディア（フロッピー、CD-ROM など）を検索] のチェックを外します。

❹ [次の場所を含める] にチェックを付け、次のように入力し、[次へ] をクリックします。

PS ドライバを使用する場合 　D:\WINXP\PS PCL ドライバを使用する場合 　D:\WINXP\PCL 　（CD-ROM ドライブが D:の場合）

❺ 「ハードウェアのインストール」画面が表示されたら、[続行] をクリックします。

ファイルのコピーが開始されます。

「ディスクの挿入」画面が表示されたら？
☞ ❾へ進みます。

❻ [完了] をクリックします。

❼ [スタート] - [コントロールパネル] を選択し、[プリンタとその他のハードウェア] をクリックします。

❽ 「コントロールパネルを選んで実行します」の [プリンタと FAX] をクリックします。

[プリンタと FAX] フォルダにプリンタアイコンが表示されると、セットアップは終了です。

❾ 「ディスクの挿入」画面が表示されたら、「プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットし、[OK] をクリックします。

❿ ［コピー元］に次のように入力し、［OK］をクリックします。

PS ドライバを使用する場合
　D:\WINXP\PS
PCL ドライバを使用する場合
　D:\WINXP\PCL
（CD-ROM ドライブが D:の場合）

ファイルのコピーが開始されます。

⓫ ［完了］をクリックします。

⓬ ［スタート］-［コントロールパネル］を選択し、［プリンタとその他のハードウェア］をクリックします。

⓭ 「コントロールパネルを選んで実行します」の［プリンタと FAX］をクリックします。

［プリンタと FAX］フォルダにプリンタアイコンが表示されると、セットアップは終了です。

⓮ ［スタート］-［マイコンピュータ］をマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。

⓯ ［ハードウェア］タブの［デバイスマネージャ］をクリックします。

⓰ ［その他のデバイス］の「OKI DATA CORPMICROLINE ***」(***はプリンタ名）をマウスの右ボタンでクリックして［削除］を選択します。

［その他のデバイス］が表示されなかったら？

［表示］メニューの［非表示のデバイスの表示］を選択し、［プリンタ］の「OKI DATA CORPMICROLINE ***」（*** はプリンタ名）をマウスの右ボタンでクリックして［削除］を選択します。

⓱ 「デバイスの削除の確認」画面で［OK］をクリックし、「デバイスマネージャ」を閉じます。

⓲ 「システムのプロパティ」画面で［OK］をクリックします。

⓳ Windows を再起動し、「新しいハードウェアの検出ウィザード」画面から再セットアップします。

☞「5.WindowsXPをセットアップします。（USB）」の手順❶（46 ページ）へ戻ります。

6 WindowsMe をセットアップします。（USB）

WindowsMe をお使いの方だけご覧ください。

2章

USB ドライバをセットアップします。

❶ 「新しいハードウェアの追加ウィザード」画面が表示されたら、「プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットします。

「ファイルのコピー」画面が表示されたら？
☞ ⓫ へ進みます。
画面が表示されなかったら？
☞ ⓭ へ進みます。

❷ ［適切なドライバを自動的に検索する（推奨）］を選択し、［次へ］をクリックします。

ファイルのコピーが開始されます。

❸ 新しいハードウェアのインストールが完了したことを確認し、［完了］をクリックします。

引き続き、USB ケーブルに接続しているプリンタを自動的に検出します。

❹ 「新しいハードウェアの追加ウィザード」画面が表示されたら、［ドライバの場所を指定する（詳しい知識のある方向け）］を選択し、［次へ］をクリックします。

「ファイルのコピー」画面が表示されたら？
☞ ⓫ へ進みます。

❺ ［使用中のデバイスに最適なドライバを検索する（推奨）］を選択し、「リムーバルメディア（フロッピー、CD-ROM など）」のチェックを外します。

❻ ［検索場所の指定］にチェックを付け、次のように入力し［次へ］をクリックします。

PS プリンタドライバを使用する場合
D:\WIN9598\PS
PCL プリンタドライバを使用する場合
D:\WIN9598\PCL
（CD-ROM ドライブが D:の場合）

❼ このデバイスに最適なドライバをインストールする準備ができたことを確認し、［次へ］をクリックします。

❽ プリンタ名を確認し、通常のプリンタで［はい］を選択し、［次へ］をクリックします。

❾ ［印字テストを行いますか？］で［いいえ］を選択し、［完了］をクリックします。

ファイルのコピーが開始されます。

❿ ［完了］をクリックします。

［プリンタ］フォルダにプリンタアイコンが表示されると、セットアップは終了です。

⓫ 「ファイルのコピー」画面が表示されたら、「プリンタソフトウェアCD-ROM」をセットします。

⓬ ［ファイルのコピー元］に次のように入力し、［OK］をクリックします。

PS プリンタドライバを使用する場合
D:\WIN9598\PS
PCL プリンタドライバを使用する場合
D:\WIN9598\PCL
（CD-ROM ドライブが D:の場合）

ファイルのコピーが開始されます。

［プリンタ］フォルダにプリンタアイコンが表示されると、セットアップは終了です。

⓭ 画面が表示されなかったら、［マイコンピュータ］をマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。

⓮ ［デバイスマネージャ］タブを開きます。

⓯ ［その他のデバイス］で「USB Device」を選択し、［プロパティ］をクリックします。

⓰ ［ドライバの再インストール］をクリックします。

⓱ 「デバイスドライバの更新ウィザード」画面が表示されたら、［ドライバの場所を指定する（詳しい知識のある方向け）］を選択し、［次へ］をクリックします。

⑱ 「プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットします。

⑲ ［現在使用しているドライバより適したドライバを検索する（推奨）］を選択し、「リムーバブルメディア（フロッピー、CD-ROMなど）」のチェックを外します。

⑳ ［検索場所の指定］にチェックを付け、次のように入力し［次へ］をクリックします。

> D:\USB\WIN98
> （CD-ROM ドライブが D:の場合）

㉑ このデバイスに最適なドライバをインストールする準備ができたことを確認し、［次へ］をクリックします。

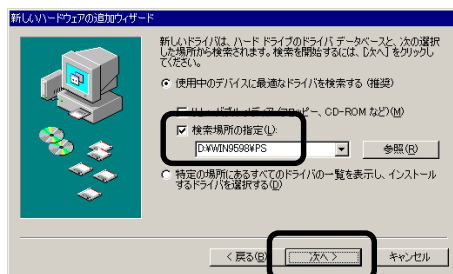
ファイルのコピーが開始されます。

> 引き続き、USB ケーブルに接続しているプリンタを自動的に検出します。

㉒ 「新しいハードウェアの追加ウィザード」画面が表示されたら、［ドライバの場所を指定する（詳しい知識のある方向け）］を選択し、［次へ］をクリックします。

㉓ ［使用中のデバイスに最適なプリンタドライバを検索する（推奨）］を選択し、「リムーバブルメディア（フロッピー、CD-ROM など）」のチェックを外します。

㉔ ［検索場所の指定］にチェックを付け、次のように入力し［次へ］をクリックします。

> PS プリンタドライバを使用する場合
> D:\WIN9598\PS
> PCL プリンタドライバを使用する場合
> D:\WIN9598\PCL
> （CD-ROM ドライブが D:の場合）

㉕ このデバイスに最適なドライバをインストールする準備ができたことを確認し、［次へ］をクリックします。

㉖ プリンタ名を確認し、通常のプリンタで［はい］を選択し、［次へ］をクリックします。

㉗ ［印字テストを行いますか？］で［いいえ］を選択し、［完了］をクリックします。

ファイルのコピーが開始されます。

㉘ ［完了］をクリックします。

㉙ ハードウェアデバイス用の更新されたドライバがインストールされたことを確認し、［完了］をクリックします。

㉚ 「Oki USB Driver プロパティ」画面で［閉じる］をクリックします。

㉛ 「システムのプロパティ」画面で［OK］をクリックし、［コントロールパネル］を閉じます。

> ［プリンタ］フォルダにプリンタアイコンが表示されると、セットアップは終了です。

7 Windows98 をセットアップします。(USB)

 Windows98 をお使いの方だけご覧ください。

USB ドライバをセットアップします。

❶ 「新しいハードウェアの追加ウィザード」画面が表示されたら、[次へ] をクリックします。

「ディスクの挿入」画面が表示されたら？
☞ ⑭ へ進みます。
画面が表示されなかったら？
☞ ⑯ へ進みます。

❷ [使用中のデバイスに最適なドライバを検索する（推奨）] を選択し、[次へ] をクリックします。

❸ 「プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットします。

❹ [検索場所の指定] にチェックを付け、次のように入力し [次へ] をクリックします。

D:\USB\WIN98
(CD-ROM ドライブが D:の場合)

❺ このデバイスに最適なドライバをインストールする準備ができたことを確認し、[次へ] をクリックします。

ファイルのコピーが開始されます。

「このデバイス用のドライバが見つかりませんでした」が表示されたら？
☞ [戻る] をクリックして正しい検索場所を入力し、[次へ] をクリックします。
「このデバイス用のドライバはインストールされていません」が表示されたら？
☞ [キャンセル] をクリックし、もう一度初めからセットアップします。

❻ [完了] をクリックします。

引き続き、USB ケーブルに接続しているプリンタを自動的に検出します。

❼ 「新しいハードウェアの追加ウィザード」画面が表示されたら、[次へ] をクリックします。

「ディスクの挿入」画面が表示されたら？
☞ ⑭ へ進みます。

❽ [使用中のデバイスに最適なプリンタドライバを検索する（推奨）] を選択し、[次へ] をクリックします。

❾ ［検索場所の指定］にチェックを付け、次のように入力し［次へ］をクリックします。

PS プリンタドライバを使用する場合
D:\WIN9598\PS
PCL プリンタドライバを使用する場合
D:\WIN9598\PCL
（CD-ROM ドライブが D:の場合）

❿ このデバイスに最適なドライバをインストールする準備ができたことを確認し、［次へ］をクリックします。

⓫ プリンタ名を確認し、通常のプリンタで［はい］を選択し、［次へ］をクリックします。

⓬ ［印字テストを行いますか？］で［いいえ］を選択し、［完了］をクリックします。

ファイルのコピーが開始されます。

⓭ ［完了］をクリックします。

［プリンタ］フォルダにプリンタアイコンが表示されると、セットアップは終了です。

⓮ 「ディスクの挿入」画面が表示されたら、「プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットし、［OK］をクリックします。

⓯ ［ファイルのコピー元］に次のように入力し、［OK］をクリックします。

PS プリンタドライバを使用する場合
D:\WIN9598\PS
PCL プリンタドライバを使用する場合
D:\WIN9598\PCL
（CD-ROM ドライブが D:の場合）

ファイルのコピーが開始されます。

［プリンタ］フォルダにプリンタアイコンが表示されると、セットアップは終了です。

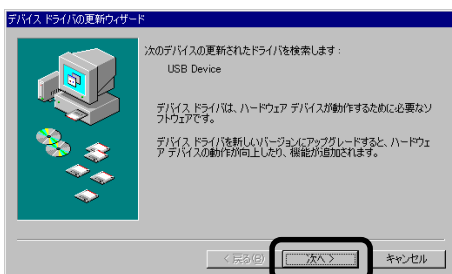
⑯ 画面が表示されなかったら、［マイコンピュータ］をマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。

⑰ ［デバイスマネージャ］タブを開きます。

⑱ ［その他のデバイス］で「USB Device」を選択し、［プロパティ］をクリックします。

注 **［不明なデバイス］と表示されることがあります。**

⑲ ［ドライバの再インストール］をクリックします。

⑳ 「デバイスドライバの更新ウィザード」画面が表示されたら、［次へ］をクリックします。

㉑ ［現在使用しているドライバよりさらに適したドライバを検索する（推奨）］を選択し、［次へ］をクリックします。

㉒ 「プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットします。

㉓ ［検索場所の指定］にチェックを付け、次のように入力し［次へ］をクリックします。

D:\USB\WIN98
（CD-ROM ドライブが D:の場合）

㉔ このデバイスに最適なドライバをインストールする準備ができたことを確認し、［次へ］をクリックします。

ファイルのコピーが開始されます。

㉕ ［完了］をクリックします。

㉖ 「Oki USB Driver プロパティ」画面で［閉じる］をクリックします。

引き続き、USB ケーブルに接続しているプリンタを自動的に検出します。

㉗ 「新しいハードウェアの追加ウィザード」画面が表示されたら、［次へ］をクリックします。

2章

㉘　［使用中のデバイスに最適なプリンタドライバを検索する（推奨）］を選択し、［次へ］をクリックします。

㉙　［検索場所の指定］にチェックを付け、次のように入力し［次へ］をクリックします。

PS プリンタドライバを使用する場合 　D:\WIN9598\PS PCL プリンタドライバを使用する場合 　D:\WIN9598\PCL 　（CD-ROM ドライブが D:の場合）

㉚　このデバイスに最適なドライバをインストールする準備ができたことを確認し、［次へ］をクリックします。

㉛　プリンタ名を確認し、通常使うプリンタで［はい］を選択し、［次へ］をクリックします。

㉜　［印字テストを行いますか？］で［いいえ］を選択し、［完了］をクリックします。

ファイルのコピーが開始されます。

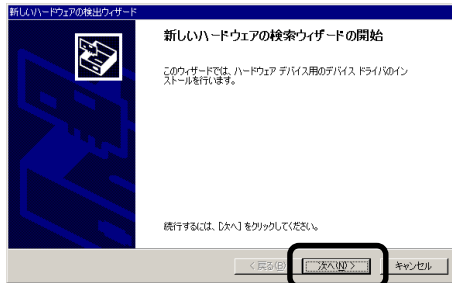
㉝　［完了］をクリックします。

㉞　「システムのプロパティ」画面で［OK］をクリックし、コントロールパネルを閉じます。

［プリンタ］フォルダにプリンタアイコンが表示されると、セットアップは終了です。

8　Windows2000 をセットアップします。（USB）

- Windows2000 をお使いの方だけご覧ください。
- コンピュータの管理者の権限が必要です。

❶ 「新しいハードウェアの検出ウィザード」画面が表示されたら、［次へ］をクリックします。画面が表示されるのに1～2分間かかることがあります。

画面が表示されなかったら？
☞ ❾へ進みます。

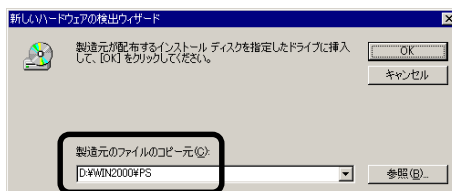
メモ　**一度セットアップしたことのあるシステムではプリンタドライバは自動的にセットアップされます。**

❷ ［デバイスに最適なドライバを検索する（推奨）］を選択し、［次へ］をクリックします。

❸ ［場所を指定］を選択し、［次へ］をクリックします。

❹ 「プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットします。

❺ ［製造元のファイルのコピー元］に次のように入力し、［OK］をクリックします。

PS プリンタドライバを使用する場合
　D:\WIN2000\PS
PCL プリンタドライバを使用する場合
　D:\WIN2000\PCL
（CD-ROM ドライブが D:の場合）

❻ このデバイスのドライバが見つかったことを確認し、［次へ］をクリックします。

❼ 「デジタル署名が見つかりませんでした」画面が表示されたら、［はい］をクリックします。

ファイルのコピーが開始されます。

❽ ［完了］をクリックします。

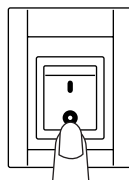
❾ ［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。

プリンタアイコンが表示されていることを確認します。

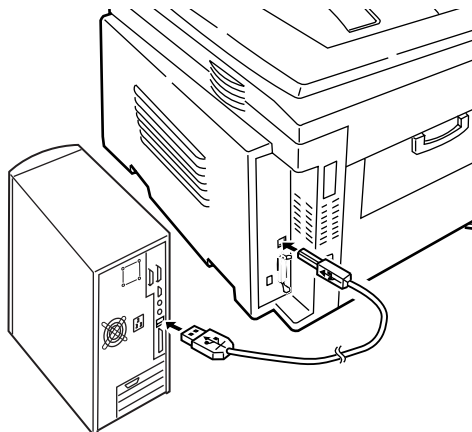
❿ プリンタアイコンを右ボタンでクリックし、［通常使うプリンタに設定］を選択します。

セットアップは終了です。

プリンタの追加でセットアップします（USB）

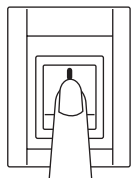
- USBケーブルは添付されていません。USB1.1準拠のUSBケーブルを別途用意してください。（125 ページ）
- USB インタフェースで WindowsXP と接続する場合、プリンタの追加では正しくセットアップできません。プリンタの追加でセットアップすると、WindowsXP を起動するたびにプラグアンドプレイでのセットアップ画面（新しいハードウェアの検出ウィザード）が表示されますので、必ずプラグアンドプレイでセットアップしてください。（45 ページ）
- USBインタフェースでWindowsMe/98/2000と初めて接続する場合、プリンタの追加では正しくセットアップできません。プリンタの追加でセットアップすると、USB インタフェースの印刷に必要なUSB ドライバがセットアップできないので、必ずプラグアンドプレイでセットアップしてください。（45 ページ）
- Windows2000 はコンピュータの管理者の権限が必要です。

1 プリンタとコンピュータの電源が OFF になっていることを確認します。

メモ　電源の切り方は「電源を切ります」（25 ページ）をご覧ください。

2 USB ケーブルを接続します。

❶ USBケーブルをプリンタのUSBインタフェースコネクタに差し込みます。

❷ USBケーブルをコンピュータのUSBインタフェースコネクタに差し込みます。

3 Windows を起動します。

4 プリンタの電源を ON にします。

オンライン	. AUTO
	トレイ1

完全に起動すると操作パネルに「オンライン」と表示されます。

5 WindowsMe/98 をセットアップします。（USB）

- **WindowsMe/98 をお使いの方だけご覧ください。**
- **Windows98 を例にしています。**

❶ ［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。

❷ ［プリンタの追加］をダブルクリックします。

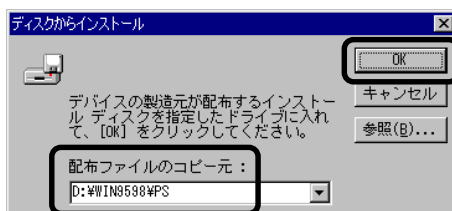
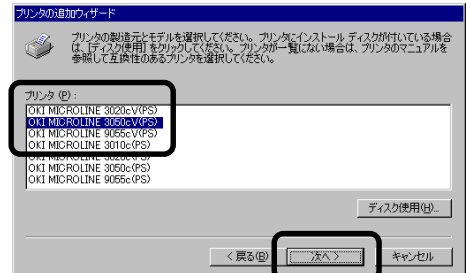
❸ 「プリンタの追加ウィザード」画面で、［次へ］をクリックします。

❹ ［ローカルプリンタ］を選択し、［次へ］をクリックします。

❺ ［ディスク使用］をクリックします。

❻ 「プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットします。

❼ ［配布ファイルのコピー元］（WindowsMeでは［製造元のファイルのコピー元］）に次のように入力し、［OK］をクリックします。

PS プリンタドライバを使用する場合
　D:\WIN9598\PS
PCL プリンタドライバを使用する場合
　D:\WIN9598\PCL
（CD-ROM ドライブが D:の場合）

❽ プリンタ名を選択し、［次へ］をクリックします。

❾ ［利用できるポート］（WindowsMe では［利用可能なポート］）で「OP1USBX」を選択し、［次へ］をクリックします。

注 **プリンタが接続されているUSBポートを選択してください。**

❿ プリンタ名を確認し、通常使うプリンタで［はい］を選択し、［次へ］をクリックします。

⓫ ［印字テストを行いますか？］で［いいえ］を選択し、［完了］をクリックします。

ファイルのコピーが開始されます。

［プリンタ］フォルダにプリンタアイコンが表示されると、セットアップは終了です。

Windows2000 をセットアップします。（USB）

- **Windows2000 をお使いの方だけご覧ください。**
- **コンピュータの管理者の権限が必要です。**

2章

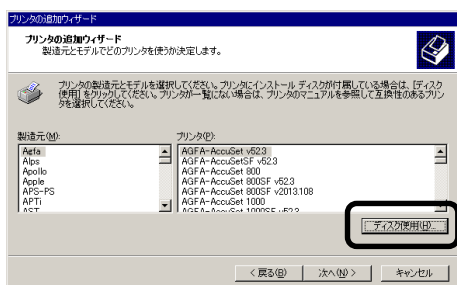
❶ ［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。

❷ ［プリンタの追加］をダブルクリックします。

❸ 「プリンタの追加ウィザード」画面で、［次へ］をクリックします。

❹ ［ローカルプリンタ］を選択し、［次へ］をクリックします。

注 **［プラグアンドプレイプリンタを自動的に検出してインストールする］のチェックは外してください。**

❺ ［次のポートを使用］で、［USBXXX］を選択し、［次へ］をクリックします。

注 **プリンタが接続されているUSBポートを選択してください。**

❻ ［ディスク使用］をクリックします。

❼ 「プリンタソフトウェアCD-ROM」をセットします。

❽ ［製造元のファイルのコピー元］に次のように入力し、［OK］をクリックします。

PS プリンタドライバを使用する場合
　D:\WIN2000\PS
PCL プリンタドライバを使用する場合
　D:\WIN2000\PCL
（CD-ROM ドライブが D:の場合）

❾ プリンタ名を選択し、［次へ］をクリックします。

❿ プリンタ名を確認し、通常使うプリンタで［はい］を選択し、［次へ］をクリックします。

⓫ ［このプリンタを共有しない］を選択し、［次へ］をクリックします。

⓬ ［テストページを印刷しますか？］で［いいえ］を選択し、［次へ］をクリックします。

⓭ ［完了］をクリックします。

⓮ 「デジタル署名が見つかりませんでした」画面が表示されたら、［はい］をクリックします。

ファイルのコピーが開始されます。

［プリンタ］フォルダにプリンタアイコンが表示されると、セットアップは終了です。

ネットワークで接続します（Windows）

ML3020cVはオプションのイーサネットボードが必要です。取り付け方法は「イーサネットボード」（98 ページ）をご覧ください。

動作環境

- WindowsXP
  WindowsXP 日本語版の動作するコンピュータ
  IBM PC/AT 互換機、PC98-NX、（PC-9821 を除く）でイーサネット対応のネットワークインタフェースを搭載している機種
- WindowsMe/98/95
  WindowsMe/98/95 日本語版の動作するコンピュータ
  IBM PC/AT 互換機、PC98-NX、PC-9821 でイーサネット対応のネットワークインタフェースを搭載している機種
- Windows2000
  Windows2000 日本語版の動作するコンピュータ
  IBM PC/AT 互換機、PC98-NX、PC-9821 でイーサネット対応のネットワークインタフェースを搭載している機種
- WindowsNT4.0
  WindowsNT4.0 日本語版の動作するコンピュータ（PS プリンタドライバはサービスパック 5 以上）
  IBM PC/AT 互換機、PC98-NX、PC-9821 でイーサネット対応のネットワークインタフェースを搭載している機種

- **日本語以外の OS には対応していません。**
- **MS-DOS および Windows のコマンドプロンプト /DOS プロンプトでは動作しません。**
- **Windows3.1/NT3.51 では動作しません。**
- **WindowsNT4.0 は、ARC 互換 RISC ベースのプロセッサ（MIPS® シリーズ、Alpha、PowerPC™ など）のシステムには対応していません。**

セットアップの流れ

ネットワーク接続するには下記の作業が必要です。詳しくは「イーサネットボードユーザーズマニュアル」の指示に従ってください。

プリンタをネットワークに接続します。

イーサネットボードを初期化し、自己診断テストを行います。

Windows を設定します。

イーサネットボードを設定します。

プリンタドライバをプリンタの追加でセットアップします。

ネットワークプリンタを作成します。

プリンタの追加でセットアップします（ネットワーク）

注　ネットワーク接続の場合、プリンタドライバは一旦「通常使うローカルプリンタ（LPT1:）としてセットアップします。

1　Windows を起動します。

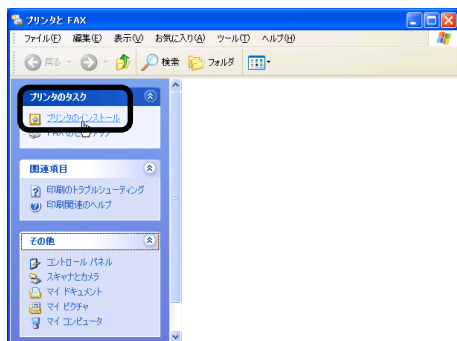
2　WindowsXP をセットアップします。（ネットワーク）

注
- **WindowsXP をお使いの方だけご覧ください。**
- **コンピュータの管理者の権限が必要です。**

以下の説明は WindowsXP Home Edition を例にしています。

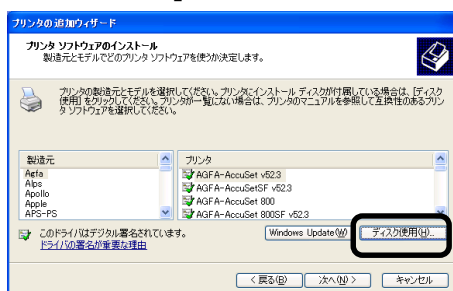
❶ ［スタート］-［コントロールパネル］を選択し、［プリンタとその他のハードウェア］をクリックします。

❷ ［コントロールパネルを選んで実行します］の［プリンタと FAX］をクリックします。

❸ ［プリンタのタスク］-［プリンタのインストール］をクリックします。

❹ 「プリンタの追加ウィザード」画面で、［次へ］をクリックします。

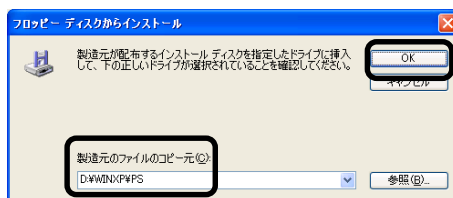
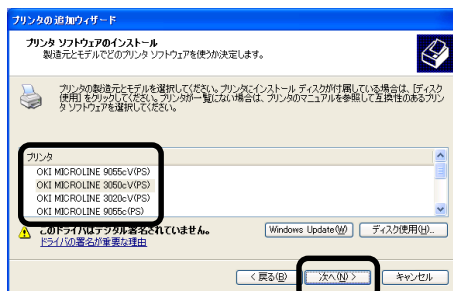
❺ ［このコンピュータに接続されているローカルプリンタ］を選択し、［次へ］をクリックします。

注　［プラグアンドプレイ対応プリンタを自動的に検出してインストールする］のチェックは外してください。

❻ 「次のポートを使用」画面で［LPT1:(推奨プリンタポート)］を選択し、［次へ］をクリックします。

❼ ［ディスク使用］をクリックします。

❽ 「プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットします。

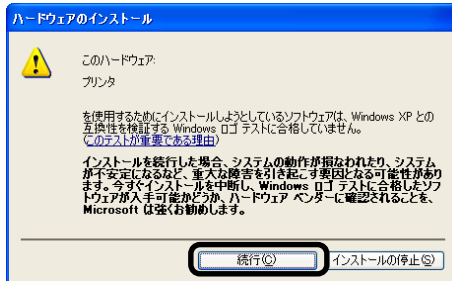
❾ ［製造元のファイルのコピー元］に次のように入力し、［OK］をクリックします。

PS ドライバを使用する場合
　D:\WINXP\PS
PCL ドライバを使用する場合
　D:\WINXP\PCL
　（CD-ROM ドライブが D:の場合）

❿ プリンタ名を選択し、［次へ］をクリックします。

⓫ プリンタ名を確認し、通常使うプリンタで［はい］を選択し、［次へ］をクリックします。

メモ **「プリンタ共有」画面が表示されたら、［このプリンタを共有しない］を選択し、［次へ］をクリックします。**

⓬ ［テストページを印刷しますか？］で［いいえ］を選択し、［次へ］をクリックします。

⓭ ［完了］をクリックします。

⓮ 「ハードウェアのインストール」画面が表示されたら、［続行］をクリックします。

ファイルのコピーが開始されます。

［プリンタと FAX］フォルダにプリンタアイコンが表示されます。
ネットワーク接続については、「イーサネットボードユーザーズマニュアル」をご覧ください。

3 WindowsMe/98/95 をセットアップします。（ネットワーク）

注 **WindowsMe/98/95 をお使いの方だけご覧ください。**

☞「ユーザーズマニュアル（セットアップ編）」（本書）の「プリンタの追加でセットアップします（パラレル）」の「5　WindowsMe/98/95 をセットアップします。（パラレル）」（40 ページ）の手順でセットアップしてください。
ネットワーク接続については、「イーサネットボードユーザーズマニュアル」をご覧ください。

4 Windows2000 をセットアップします。（ネットワーク）

注 **Windows2000 をお使いの方だけご覧ください。**

☞「ユーザーズマニュアル（セットアップ編）」（本書）の「プリンタの追加でセットアップします（パラレル）」の「6　Windows2000 をセットアップします。（パラレル）」（41 ページ）の手順でセットアップしてください。
ネットワーク接続については、「イーサネットボードユーザーズマニュアル」をご覧ください。

5 WindowsNT4.0 をセットアップします。（ネットワーク）

注 **WindowsNT4.0 をお使いの方だけご覧ください。**

☞「ユーザーズマニュアル（セットアップ編）」（本書）の「プリンタの追加でセットアップします（パラレル）」の「7　WindowsNT4.0 をセットアップします。（パラレル）」（42 ページ）の手順でセットアップしてください。
ネットワーク接続については、「イーサネットボードユーザーズマニュアル」をご覧ください。

3 Macintoshをセットアップします

USB インタフェースで接続します（Macintosh）

プリンタドライバのバージョンアップにより、本書の記載と異なる場合があります。

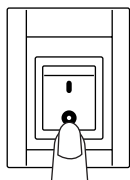
動作環境

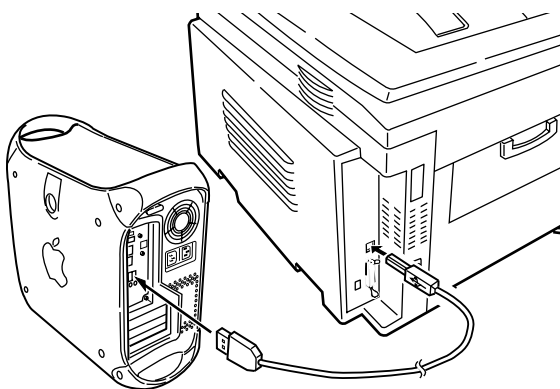
MacOS 9.0、9.0.4、9.1、9.2、9.2.1、9.2.2 日本語版が動作する Macintosh で USB インタフェースを搭載している機種

- **USB 拡張ボードには対応していません。**
- **MacOSX Classic 環境日本語版には対応していません。**
- **日本語以外の OS には対応していません。**
- **印刷中に USB ケーブルを抜き差ししないでください。**
- **USB ケーブルを短時間で抜き差ししないでください。抜き差しする間隔は 5 秒間以上あけてください。**
- **他の全ての USB 機器との同時接続を保証するものではありません。**
- **同一機種のプリンタを複数台接続すると、デスクトップ・プリンタ Utility に「MICROLINE *****」、「MICROLINE *****1」、「MICROLINE *****2」（***** はプリンタ名）と表示されます。この番号はプリンタを接続する順序や電源を ON する順序によって変わります。**
- **USB ハブをご使用になる場合は、コンピュータと直接接続された USB ハブに接続してください。**
- **プリントモニタまたはデスクトップ・プリントモニタのメモリ使用サイズの設定が小さい場合、書類によってはバックグラウンドプリントができない場合があります。このような場合は、プリントモニタまたはデスクトップ・プリントモニタの使用サイズを大きくしてください。**
- **MacOS 日本語版のマルチユーザ機能には対応していません。**

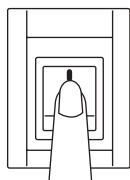
セットアップします

- USB ケーブルは添付されていません。USB1.1 準拠の USB ケーブルを別途用意してください。（125 ページ）
- ウィルス防御ソフトウェアは OFF にしてください。

1　プリンタと Macintosh の電源を OFF にします。

メモ　電源の切り方は「電源を切ります」（25 ページ）をご覧ください。

2　USB ケーブルを接続します。

❶ USBケーブルをプリンタのUSBインタフェースコネクタに差し込みます。

❷ USB ケーブルを Macintosh の USB インタフェースコネクタに差し込みます。

3　プリンタの電源を ON にします。

オンライン	. AUTO
	トレイ1

完全に起動すると操作パネルに「オンライン」と表示されます。

4　Macintosh を起動します。

5 プリンタドライバをインストールします。

❶ 「プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットします。

❷ ［Driver］フォルダを開きます。

❸ ［AdobePS 日本語版インストーラ］をダブルクリックします。

AdobePS日本語版インストーラ

❹ 「Adobe PostScript Driver」画面で［続ける］をクリックします。

❺ 「使用許諾契約」をよく読み、［同意］をクリックします。

❻ 「AdobePS 8.7.1に関する情報」をよく読み、［続ける］をクリックします。

❼ ［インストール］をクリックします。

プリンタドライバのインストールが開始されます。

❽ ［再起動］をクリックします。

Macintosh 再起動後、［セレクタ］に［AdobePS］アイコンが表示されます。

3章

6 デスクトップ・プリンタを作成します。

❶ ［MicrolinePS］フォルダ内の［デスクトップ・プリンタ Utility］をダブルクリックします。

デスクトップ・プリンタ Utility

メモ **AdobePS プリンタドライバをインストールすると、［MicrolinePS］フォルダ内に［デスクトップ・プリンタ Utility］も同時にインストールされます。**

❷ ［ドライバ］で［AdobePS］を、［デスクトップに作成］で［プリンタ（USB）］を選択し、［OK］をクリックします。

❸ ［USB プリンタの選択］の［変更］をクリックします。

❹ ［USB プリンタの選択］でプリンタ名を選択し、［OK］をクリックします。

❺ ［PostScript プリンタ記述（PPD）ファイル］で［自動設定］を選択します。

❻ ［作成］をクリックします。

❼ ［デスクトップ・プリンタの保存名］を入力し、［保存］をクリックします。

❽ デスクトップ・プリンタUtilityを終了します。

デスクトップ上にデスクトップ・プリンタ・アイコンが表示されます。

7 和文スクリーンフォントをインストールします。

ML9055cVの場合

❶ 「プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットします。

❷ [Fonts] - [和文書体] フォルダを開きます。

❸ [じゅん 101] フォルダ内の [L じゅん 101]、[L じゅん 101 丸漢] を [システムフォルダ] - [フォント] フォルダにコピーします。

❹ [太ゴB101]、[太ミンA101] フォルダからも同様にコピーします。

❺ Macintosh を再起動します。

ML3050cV、ML3020cVの場合

❶ 「プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットします。

❷ [Fonts] - [和文書体] フォルダを開きます。

❸ [平成明朝 W3] フォルダ内の [平成明朝 W3]、[平成明朝 W3 丸漢] を [システムフォルダ] - [フォント] フォルダにコピーします。

❹ [平成角ゴシック W5] フォルダからも同様にコピーします。

❺ Macintosh を再起動します。

ネットワークで接続します（Macintosh）

- **ML3020cV はオプションのイーサネットボードが必要です。取り付け方法は「イーサネットボード」（98 ページ）をご覧ください。**
- **プリンタドライバのバージョンアップにより、本書の記載と異なる場合があります。**

動作環境

Mac OS8.1、8.5、8.5.1、8.6、9.0、9.0.4、9.1、9.2、9.2.1、9.2.2、MacOSX Classic 環境日本語版が動作する Macintosh で EtherTalk インタフェースを搭載している機種

- **MacOS8.5 未満はインストールされるプリンタドライバのバージョンが異なります。**
- **日本語以外の OS には対応していません。**
- **MacOS8.0 以前のシステムには対応していません。**
- **プリントモニタまたはデスクトップ・プリントモニタのメモリ使用サイズの設定が小さい場合、書類によってはバックグラウンドプリントができない場合があります。このような場合は、プリントモニタまたはデスクトップ・プリントモニタの使用サイズを大きくしてください。**
- **MacOS 日本語版のマルチユーザ機能には対応していません。**

セットアップの流れ

ネットワーク接続するには下記の作業が必要です。詳しくは「イーサネットボードユーザーズマニュアル」の指示に従ってください。

プリンタをネットワークに接続します。

イーサネットボードを初期化し、自己診断テストを行います。

Macintosh を設定します。

プリンタドライバをインストールします。

プリンタドライバをインストールします

ウィルス防御ソフトウェアは OFF にしてください。

1 プリンタドライバをインストールします。

❶ 「プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットします。

❷ ［Driver］フォルダを開きます。

❸ ［AdobePS 日本語版インストーラ］をダブルクリックします。

❹ 「Adobe PostScript Driver」画面で［続ける］をクリックします。

❺ 「使用許諾契約」をよく読み、［同意］をクリックします。

❻ 「AdobePS 8.7.1に関する情報」をよく読み、［続ける］をクリックします。

❼ ［インストール］をクリックします。

プリンタドライバのインストールが開始されます。

❽ ［再起動］をクリックします。

Macintosh 再起動後、［セレクタ］に［AdobePS］アイコンが表示されます。

2 デスクトップ・プリンタを作成します。

❶ ［アップル］メニューの［セレクタ］を選択します。

❷ ［AdobePS］をクリックし、［PostScript プリンタの選択］で「プリンタ名」を選択します。

注 プリンタ名は、MicrolinePS Utilityで変えることができます。

❸ ［作成］をクリックします。

プリンタ名の横にアイコンが表示されます。

❹ ［セレクタ］を閉じます。

デスクトップ上にデスクトップ・プリンタ・アイコンが表示されます。

3 和文スクリーンフォントをインストールします。

ML9055cVの場合

❶ 「プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットします。

❷ ［Fonts］-［和文書体］フォルダを開きます。

❸ ［じゅん 101］フォルダ内の［L じゅん 101］、「L じゅん 101 丸漢］を［システムフォルダ］-［フォント］フォルダにコピーします。

❹ ［太ゴ B101］、［太ミン A101］フォルダからも同様にコピーします。

❺ Macintosh を再起動します。

ML3050cV、ML3020cVの場合

❶ 「プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットします。

❷ ［Fonts］-［和文書体］フォルダを開きます。

❸ ［平成明朝 W3］フォルダ内の［平成明朝 W3］、［平成明朝 W3 丸漢］を［システムフォルダ］-［フォント］フォルダにコピーします。

❹ ［平成角ゴシック W5］フォルダからも同様にコピーします。

❺ Macintosh を再起動します。

4 印刷します

給紙方法と排出方法を決めます

用紙の種類、サイズ、厚さによって給紙方法と排出方法が異なります。次の手順で全ての条件を満足する方法を確認してください。
用紙の仕様については、「使用できる用紙について」（リファレンス編の 160 ページ）をご覧ください。

1 用紙の種類、厚さ、サイズから給紙方法と排出方法を確認します。

◎：片面、両面印刷*2 とも使用できます
○：片面印刷のみ使用できます
×：使用できません

種　類	厚　さ	サイズ	給紙方法			排出方法	
			用紙カセット[*1]		マルチパーパストレイ手差し	フェイスアップ(表排出)	フェイスダウン(裏排出)
			トレイ1	トレイ2〜5[*2]			
普通紙	連量 55〜69kg	A3ノビ, A3, A4[*3], A5 B4, B5[*3], レター[*3] リーガル(13インチ) リーガル(13.5インチ) リーガル(14インチ) エグゼクティブ A3ワイド(SRA3), タブロイド タブロイドエクストラ	○	○	○	○	○
		A6	○	×	○	○	×
		カスタム[*4]	×	×	○	○	×
	連量 70〜90kg	A3, A4[*3], A5 B4, B5[*3], レター[*3] リーガル(13インチ) リーガル(13.5インチ) リーガル(14インチ) エグゼクティブ A3ワイド(SRA3), タブロイド タブロイドエクストラ	◎	◎	○	◎	◎
		A3ノビ	○	○	○	○	○
		A6	○	×	○	○	×
		カスタム[*4]	×	×	○	○	×
	連量 91〜150kg	A3ノビ, A3, A4[*3], A5 B4, B5[*3], レター[*3] リーガル(13インチ) リーガル(13.5インチ) リーガル(14インチ) エグゼクティブ A3ワイド(SRA3), タブロイド タブロイドエクストラ	○	○	○	○	○
		A6	○	×	○	○	×
		カスタム[*4]	×	×	○	○	×
	連量 151〜170kg	A3ノビ, A3, A4[*3], A5 A6, B4, B5[*3], レター[*3] リーガル(13インチ) リーガル(13.5インチ) リーガル(14インチ) エグゼクティブ A3ワイド(SRA3), タブロイド タブロイドエクストラ カスタム[*4]	×	×	○	○	×
はがき[*5]	ー	はがき, 往復はがき	○	×	○	○	×
封筒[*5]	ー	封筒1(長形3号) 封筒2(長形4号) 封筒3(洋形4号) 封筒4(A4サイズ) Com-9, Com-10, DL C5, C4, Monarch	×	×	○	○	×
ラベル紙	ー	A4, レター	×	×	○	○	×
OHPシート	ー	A4, レター	○	×	○	○	×

*1： 上から順にトレイ 1、トレイ 2、トレイ 3、トレイ 4、トレイ 5 となります。
*2： トレイ 2 〜 5、両面印刷はオプションです。
*3： 縦送りと横送りができます。
*4： カスタムは幅 76.2 〜 328mm、長さ 127 〜 900mm です。
*5： はがき、封筒の用紙サイズを設定すると印刷速度が遅くなります。

メディアウェイトとメディアタイプを設定します

プリンタの操作パネルでメディアウェイト、メディアタイプを設定します。
メディアウェイトは用紙の厚さ、メディアタイプは用紙の種類に関する設定です。

- **メディアウェイト、メディアタイプを適切な値に設定しないと印刷品質が低下したり、定着器ユニットを傷めるおそれがあります。**
- **用紙の種類と厚さにより、設定が必要な項目や設定値が異なります。**

4章

1 用紙の種類と厚さから、メディアウェイト、メディアタイプの設定値を確認します。

種　類	厚　さ	メディアウェイト（用紙の厚さ）	メディアタイプ（用紙の種類）*1	プリンタドライバの［用紙厚］の設定*2
普通紙*3	55kg (64g/m^2)	ウスイカミ*4	フツウシ*5	薄い紙*4
	55～64kg (64～74g/m^2)	フツウシ		普通紙
	65～75kg (75～90g/m^2)	ヤヤアツイカミ		やや厚い紙
	76～89kg (91～104g/m^2)	アツイカミ		厚い紙
	90～105kg (105～122g/m^2)	ヨリアツイカミ		より厚い紙
	106～170kg (123～200g/m^2)	ゴクアツイカミ		ごく厚い紙
はがき*6	―	―	―	―
封筒*6	―	―	―	―
ラベル紙	0.1～0.17mm未満	フツウシ	ラベルシ	ラベル紙1
	0.17～0.2mm	ゴクアツイカミ		ラベル紙2
OHPシート*7	―	―	OHP	OHPシート

*1：　メディアタイプは［フツウシ］、［ラベルシ］、［OHP］以外は設定しないでください。
*2：　プリンタドライバの［用紙厚］ではメディアウェイト、メディアタイプを設定することができます。［用紙厚］の初期値の［プリンタ設定］では、プリンタの操作パネルで設定した値で印刷されます。
プリンタドライバで設定を変更する場合は、印刷するたびに設定する必要があります。
*3：　両面印刷できる用紙の厚さは連量 70 ～ 90kg（81 ～ 105g/m^2）です。
*4：　普通紙でシワがでるときに設定します。
*5：　メディアタイプの工場出荷時の設定は［フツウシ］です。
*6：　はがき、封筒はメディアウェイト、メディアタイプの設定の必要はありません。
*7：　OHP シートはメディアタイプのみ設定します。メディアウェイトの設定は必要ありません。

メモ **メディアウェイトの［ゴクアツイカミ］、メディアタイプの［ラベルシ］、［OHP］を設定すると、印刷速度が遅くなります。**

2 操作パネルでメディアウェイトを設定します。

- メディアウェイトは、給紙するトレイごとに設定してください。
- はがき、封筒は設定の必要はありません。

ここでは、トレイ1で普通紙（70kg）に印刷するときの設定手順（[トレイ1　メディアウェイト] を［ヤヤアツイカミ］に設定します）を説明します。

❶ 0 を数回押し、[メディア　メニュー] を表示します。

❷ 1 または 5 を押し、[トレイ1　メディアウェイト] を表示します。

❸ 2 または 6 を押し、[ヤヤアツイカミ] を表示します。

❹ 3 を押し、設定値の右側に「*」を付けます。

❺ 4 を押し、[オンライン] にします。

4章

3 操作パネルでメディアタイプを設定します。

- メディアタイプの工場出荷時の設定は [フツウシ] です。普通紙に印刷する場合はそのまま使用してください。
- メディアタイプは、給紙するトレイごとに設定してください。
- ラベル紙、OHP シートは必ず設定してください。
- はがき、封筒は設定の必要はありません。
- メディアタイプは［フツウシ］、[ラベルシ]、[OHP］以外は設定しないでください。

ここでは、マルチパーパストレイでOHPシートに印刷するときの設定手順（[MP トレイ　メディアタイプ］を［OHP］に設定します）を説明します。

❶ 0 を数回押し、[メディア　メニュー] を表示します。

❷ 1 または 5 を押し、[MP トレイ　メディアタイプ] を表示します。

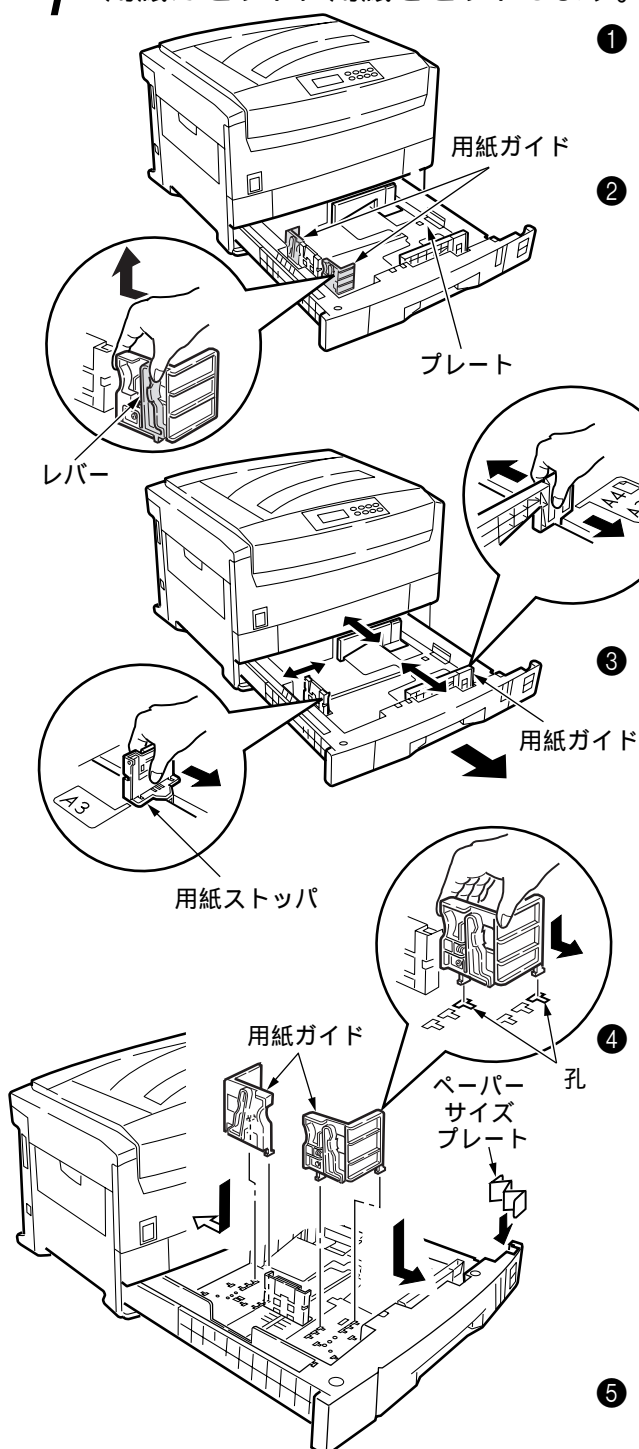
❸ 2 または 6 を押し、[OHP] を表示します。

❹ 3 を押し、設定値の右側に「*」を付けます。

❺ 4 を押し、[オンライン] にします。

用紙カセットから印刷します

普通紙（A6はトレイ1のみ、カスタムサイズは除く）は用紙カセットから印刷します。はがき、OHPシートも（トレイ1のみ）印刷できます。
トレイ1～5とも同じ操作になります。

1 用紙カセットに用紙をセットします。

❶ 用紙カセットを引き出します。

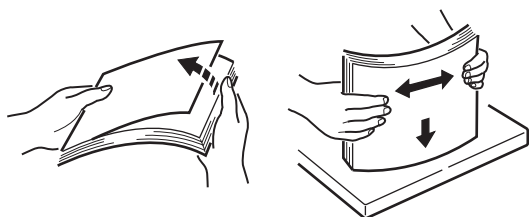
注 **プレートについているコルクは、はがさないでください。**

❷ 使用する用紙サイズがB4やリーガルより大きい場合には、用紙ガイド（2ケ所）を取り外します。
用紙ガイドのレバー（青色）をつまみ、内側へずらし、上へ上げると外れます。

❸ 用紙ガイドと用紙ストッパを用紙サイズに合わせ、確実に固定します。

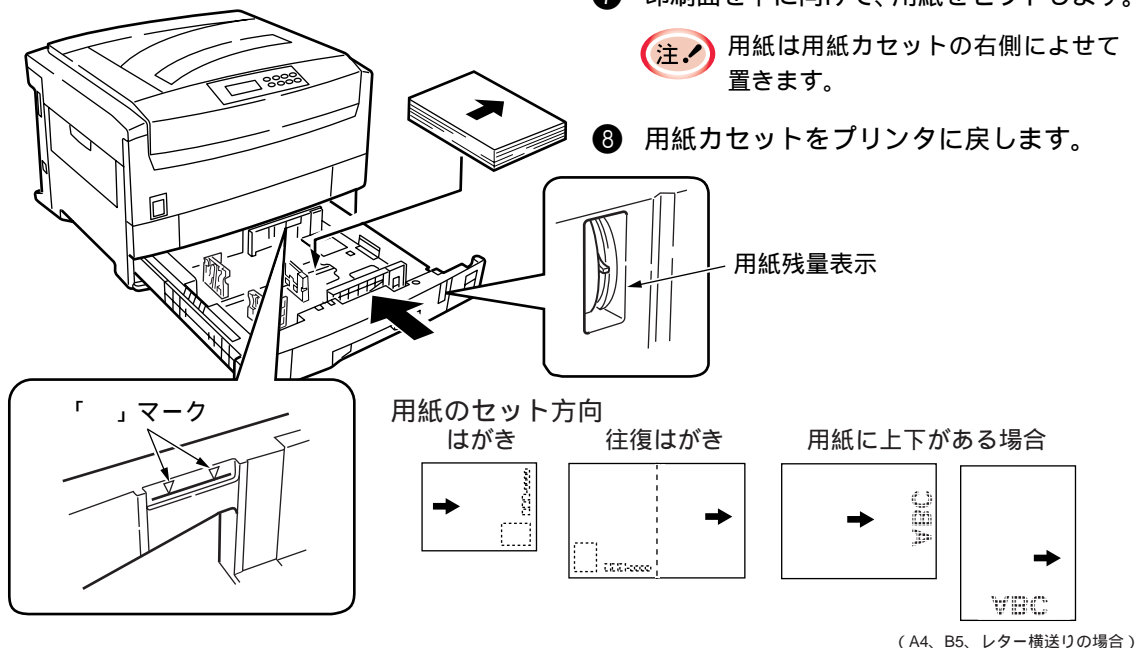
❹ 使用する用紙サイズがB4、A3、リーガル、タブロイドの場合には、用紙ガイド（2ケ所）を取り付けます。
用紙ガイドを用紙のサイズに合わせて差し込み押し付けながら、パチンと音がするまで矢印方向に動かします。

注 **A3ノビの場合には、用紙ガイドは使用しません。**

❺ ペーパーサイズプレートをセットします。

❻ 用紙をよくさばき、上下左右をそろえます。

❼ 印刷面を下に向けて、用紙をセットします。

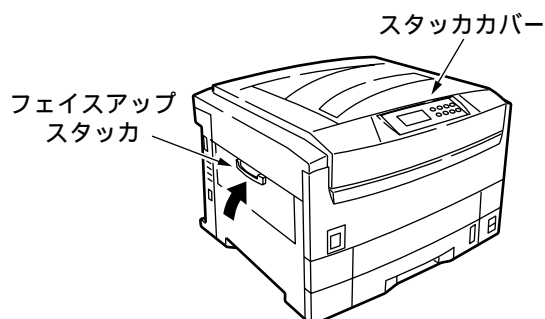
用紙は用紙カセットの右側によせて置きます。

❽ 用紙カセットをプリンタに戻します。

（A4、B5、レター横送りの場合）

- **適切な温度・湿度に保管した用紙を使用してください。湿度によりカールや波打ちが発生した用紙は使用しないでください。**
- **用紙ガイドと用紙ストッパは、用紙との間に隙間ができないように調節してください。また、用紙が曲がるほど強く押しつけないでください。**
- **用紙ガイドの「▽」マークを越えないようにセットしてください。（連量70kg紙で550枚）**
- **用紙は縦送りでセットしてください。（A4、B5、レターは横送りもできます。）**
- **サイズ、種類、厚さの異なる用紙を一度にまとめてセットしないでください。**
- **用紙を追加する場合は、先に入っている用紙を取り出し、追加する用紙と上下左右をそろえてからセットしてください。**
- **はがきの反りは吸入不良の原因になります。反りのないものを使用してください。反りは2mm 以内に修正してください。**
- **用紙カセットを差し込むときはあまり勢いよく押さないでください。**
- **印刷中の用紙カセットおよび両面印刷（オプション）時のトレイ1の用紙カセットは引き出さないでください。**
- **他のプリンタ等で一度印刷した用紙で、裏面印刷はしないでください。**

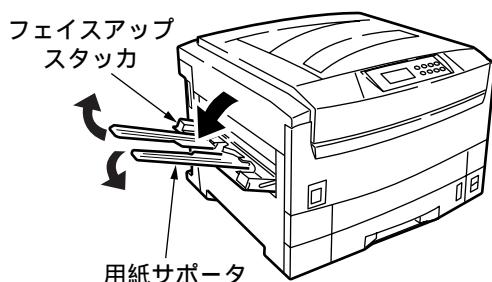
2 用紙の排出先をセットします。

フェイスダウン（印刷面を裏にして排出）の場合

用紙はスタッカカバー上に排出され、印刷した順に重なります。
連量 70kg 紙で約 500 枚をためることができます。

❶ プリンタ左側面のフェイスアップスタッカが閉じていることを確認します。

注 **フェイスアップスタッカが閉じている場合は、プリンタドライバでの［排出先］の設定に関わらず、フェイスダウンで排出します。**

フェイスアップ（印刷面を表にして排出）の場合

用紙はフェイスアップスタッカ上に排出され、印刷した順と逆に重なります。
連量 70kg 紙で約 100 枚ためることができます。

❶ プリンタ左側面のフェイスアップスタッカを開きます。

❷ 用紙サポータを開きます。

- **フェイスアップスタッカを開いた場合は、プリンタドライバで［排出先］を選択してください。**
- **印刷中にフェイスアップスタッカを開閉しないでください。紙づまりの原因になります。**

メモ **次の用紙サイズを使用する場合は、操作パネルや MicrolinePS Utility（Macintosh）で用紙カセットの用紙サイズの設定をします。**

- **A3 ノビ *、A3 ワイド（SRA3）、タブロイドエクストラ**
- **往復はがき／はがき *、A5 ／ A6**
- **リーガル（14 インチ）*、リーガル（13.5 インチ）**

***:　工場出荷時の設定**

ここでは、操作パネルでトレイ 1 の用紙サイズを A5 または A6 用紙に設定する手順を説明します。

❶ 0 を数回押し、［システム　ホセイ　メニュー］を表示します。

❷ 1 または 5 を数回押し、［トレイ１　Ａ５／Ａ６　ヨウシ］を表示します。

❸ 2 または 6 を押し、［Ａ５／Ａ６］を表示します。

❹ 3 を押し、設定値の右側に「＊」を付けます。

❺ 4 を押し、［オンライン］にします。

3 アプリケーションを起動します。

Windows または Macintosh で印刷したいファイルを開きます。

4 プリンタドライバで［用紙サイズ］、［給紙方法］、［排出先］を選択し、印刷します。

- **Windows では［ワードパッド］、Macintosh では［SimpleText］を使い、トレイ 1 で A4 サイズの普通紙に印刷する場合を例にしています。**
- **プリンタドライバの［用紙厚］ではメディアウェイト、メディアタイプと同等の設定をすることができます。［用紙厚］の初期値の［プリンタ設定］では、プリンタの操作パネルで設定した値で印刷されますので、通常は設定する必要はありません。**
  プリンタドライバで設定を変更する場合は、印刷するたびに設定する必要があります。
- **アプリケーションにより、画面や手順が異なる場合があります。正しく印刷できない場合は「プリンタドライバの初期設定を変更したい」（リファレンス編の 53 ページ）をご覧ください。**

メモ

- **［給紙方法］で［自動選択］を選択すると、指定した用紙が入っているトレイを自動的に選択します。詳しくは、「トレイを自動的に選択したい」（リファレンス編の 63 ページ）をご覧ください。**

Windows XP PS プリンタドライバの場合

❶ ［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❷ ［サイズ］で［A4］、［印刷の向き］で［縦］または［横］を選択し、［OK］をクリックします。

❸ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❹ ［詳細設定］をクリックします。

❺ ［用紙 / 品質］タブの［給紙方法］で［トレイ 1］を選択し、［OK］をクリックします。

メモ

- **フェイスアップスタッカが開いている場合は、［詳細設定］をクリックし、［プリンタ機能］の［排出先］を選択します。**
- **両面印刷（オプション）する場合は、［レイアウト］タブの［両面印刷］で［長辺を綴じる］または［短辺を綴じる］を選択します。（リファレンス編の 60 ページ）**

❻ ［印刷］をクリックし、印刷します。

4 章

Windows Me/98/95 PS プリンタドライバの場合

❶ ［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❷ ［サイズ］で［A4］、［印刷の向き］で［縦］または［横］を選択し、［OK］をクリックします。

❸ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❹ ［プロパティ］をクリックします。

❺ ［用紙］タブの［給紙方法］で［トレイ 1］を選択し、［OK］をクリックします。

- **フェイスアップスタッカが開いている場合は、［用紙］タブで［排出先］を選択します。**
- **両面印刷（オプション）する場合は、［レイアウト］タブの［両面印刷］で［長辺とじ］または［短辺とじ］を選択します。****（リファレンス編の 60 ページ）**

❻ 「印刷」画面で［OK］をクリックし、印刷します。

Windows 2000 PS プリンタドライバの場合

❶ ［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❷ ［サイズ］で［A4］、［印刷の向き］で［縦］または［横］を選択し、［OK］をクリックします。

❸ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❹ ［用紙 / 品質］タブの［給紙方法］で［トレイ 1］を選択し、［適用］をクリックします。

- **フェイスアップスタッカが開いている場合は、［詳細設定］をクリックし、［詳細］タブの［プリンタ機能］の［排出先］を選択します。**
- **両面印刷（オプション）する場合は、［レイアウト］タブの［両面印刷］で［長辺を綴じる］または［短辺を綴じる］を選択します。****（リファレンス編の 60 ページ）**

❺ ［印刷］をクリックし、印刷します。

Windows NT4.0 PS プリンタドライバの場合

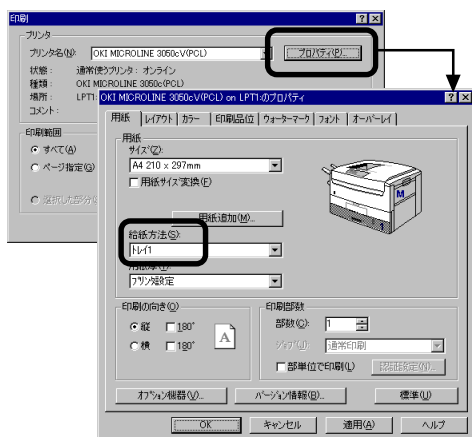
❶ ［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❷ ［サイズ］で［A4］、［印刷の向き］で［縦］または［横］を選択し、［OK］をクリックします。

❸ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❹ ［プロパティ］をクリックします。

❺ ［詳細］タブの［給紙方法］で［トレイ 1］を選択し、［OK］をクリックします。

メモ
- **フェイスアップスタッカが開いている場合は、［詳細］タブで［排出先］を選択します。**
- **両面印刷（オプション）する場合は、［両面印刷］で［長辺とじ］または［短辺とじ］を選択します。****（リファレンス編の 60 ページ）**

❻ 「印刷」画面で［OK］をクリックし、印刷します。

Windows PCL プリンタドライバの場合

❶ ［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❷ ［サイズ］で［A4］、［印刷の向き］で［縦］または［横］を選択し、［OK］をクリックします。

❸ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❹ ［プロパティ］（WindowsXP では［詳細設定］）をクリックします。
（Windows2000 では、この操作は必要ありません。）

❺ ［用紙］タブの［給紙方法］で［トレイ 1］を選択します。

メモ
- **フェイスアップスタッカが開いている場合は、［レイアウト］タブで［排出先］を選択します。**
- **両面印刷（オプション）する場合は、［レイアウト］タブの［両面印刷］で［長辺とじ］または［短辺とじ］を選択します。****（リファレンス編の 60 ページ）**

❻ ［OK］をクリックします。
（Windows2000 では、この操作は必要ありません。）

❼ 「印刷」画面で［OK］または［印刷］をクリックし、印刷します。

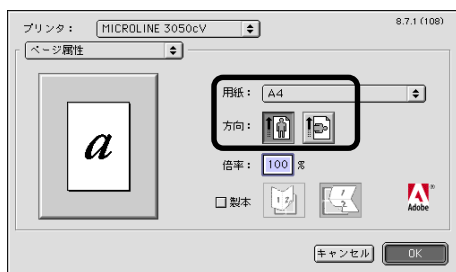
Macintosh の場合

❶ ［ファイル］メニューの［用紙設定］を選択します。

❷ ［用紙］で［A4］、［方向］で適切な値を選択し、［OK］をクリックします。

❸ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

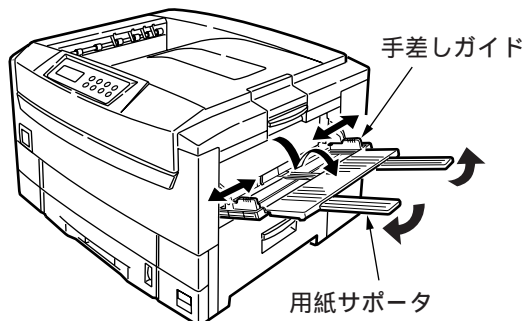
❹ ［給紙方法］で［トレイ 1］を選択します。

メモ

- **フェイスアップスタッカが開いている場合は、［プリンタ固有機能］パネルで［排出先］を選択します。**
- **両面印刷（オプション）する場合は、［レイアウト］パネルの［両面に印刷］にチェックを付けます。****（リファレンス編の 60 ページ）**

❺ ［プリント］をクリックし、印刷します。

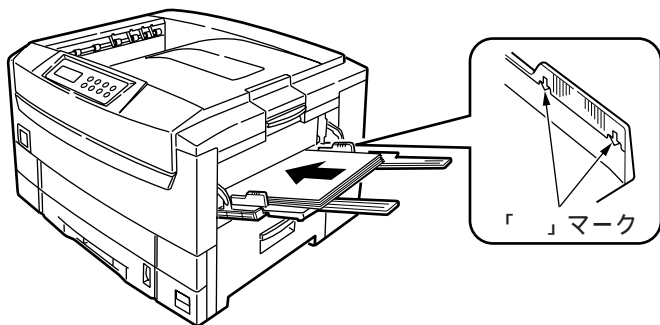
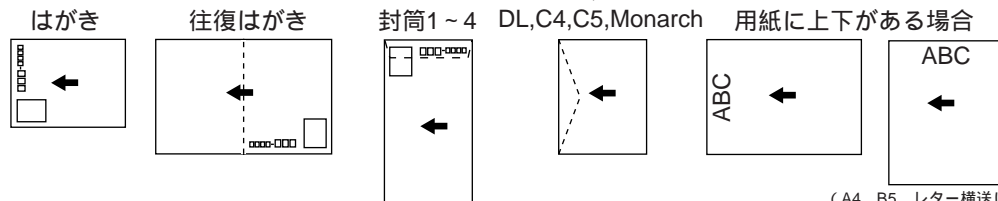
マルチパーパストレイから印刷します

封筒、ラベル紙はマルチパーパストレイから印刷します。普通紙、はがき、OHP シートも印刷できます。

1 用紙をセットします。

❶ マルチパーパストレイを開き、用紙サポータを開きます。

❷ 手差しガイドを用紙サイズに合わせます。

❸ 用紙の上下左右をそろえます。

❹ 印刷面を上に向けて、用紙を手差しガイドにそってまっすぐ突き当たるまで差し込みます。

用紙のセット方向

はがき

往復はがき

封筒1〜4

用紙に上下がある場合

（A4、B5、レター横送りの場合）

- 適切な温度・湿度に保管した用紙を使用してください。湿度によりカールや波打ちが発生した用紙は使用しないでください。
- 手差しガイドは、用紙との間に隙間ができないように調節してください。また、用紙が曲がるほど強く押しつけないでください。
- 複数枚セットする場合は、手差しガイドの［↓］マークを越えないようにセットしてください。（連量 70kg 紙で 100 枚）
- 用紙は縦送りでセットしてください。（A4、B5、レターは横送りもできます。）
- サイズ、種類、厚さの異なる用紙を一度にまとめてセットしないでください。
- 用紙を追加する場合は、先に入っている用紙を取り出し、追加する用紙と上下左右をそろえてからセットしてください。
- はがき、封筒の反りは吸入不良の原因になります。反りのないものを使用してください。反りは 2mm 以内に修正してください。
- 封筒はフラップ部がふくらまないように強く折り、必ず横送りでセットしてください。
- 封筒の後端部ののり付け部が折れ曲がっているものは、吸入不良になることがあります。折れ曲がりを修正してから使用してください。
- マルチパーパストレイの上に印刷する用紙以外のものを置いたり、上から押したり、無理な力を加えたりしないでください。
- マルチパーパストレイでは両面印刷できませんが、本プリンタで印刷した用紙の裏面にマルチパーパストレイから印刷することはできます。

2 用紙の排出先をセットします。

フェイスダウン（印刷面を裏にして排出）の場合

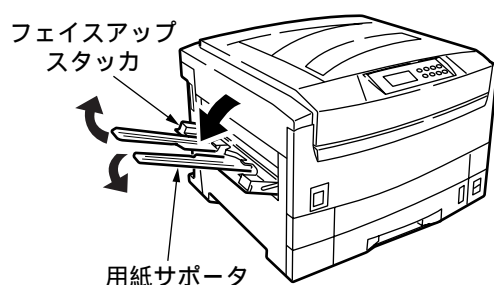
用紙はスタッカカバー上に排出され、印刷した順に重なります。
連量70kg紙で約500枚をためることができます。

❶ プリンタ左側面のフェイスアップスタッカが閉じていることを確認します。

フェイスアップスタッカが閉じている場合は、プリンタドライバでの［排出先］の設定に関わらず、フェイスダウンで排出します。

4章

フェイスアップ（印刷面を表にして排出）の場合

用紙はフェイスアップスタッカ上に排出され、印刷した順と逆に重なります。
連量70kg紙で約100枚ためることができます。

❶ プリンタ左側面のフェイスアップスタッカを開きます。

❷ 用紙サポータを開きます。

- **フェイスアップスタッカが開いている場合は、プリンタドライバで［排出先］を選択してください。**
- **印刷中にフェイスアップスタッカを開閉しないでください。紙づまりの原因になります。**
- **連量151kg以上の厚紙、はがき、封筒、ラベル紙、OHPシート、カスタムサイズは、紙づまりの原因になりますので、必ずフェイスアップで排出してください。**

3 操作パネルでマルチパーパストレイの用紙サイズを設定します。

- **Windows PCL プリンタドライバでは設定する必要はありません。**
- **MicrolinePS Utility（Macintosh）からも設定できます。**

ここでは、A4 用紙（縦送り）に設定する手順を説明します。

❶ 0 を数回押し、[メディア　メニュー] を表示します。

❷ 1 または 5 を数回押し、[ＭＰトレイ　ヨウシサイズ] を表示します。

❸ 2 または 6 を数回押し、[Ａ４　タテオクリ] を表示します。

❹ 3 を押し、設定値の右側に「＊」を付けます。

❺ 4 を押し、[オンライン] にします。

4章

4 アプリケーションを起動します。

Windows または Macintosh で印刷したいファイルを開きます。

5 プリンタドライバで［用紙サイズ］、［給紙方法］、［排出先］を選択し、印刷します。

- **Windows では［ワードパッド］、Macintosh では［SimpleText］を使い、マルチパーパストレイで A4 サイズの普通紙に印刷する場合を例にしています。**
- **プリンタドライバの［用紙厚］ではメディアウエイト、メディアタイプと同等の設定をすることができます。［用紙厚］の初期値の［プリンタ設定］では、プリンタの操作パネルで設定した値で印刷されますので、通常は設定する必要はありません。**
  プリンタドライバで設定を変更する場合は、印刷するたびに設定する必要があります。
- **アプリケーションにより、画面や手順が異なる場合があります。正しく印刷できない場合は「プリンタドライバの初期設定を変更したい」（リファレンス編の 53 ページ）をご覧ください。**

- **［給紙方法］で［自動選択］を選択すると、指定した用紙が入っているトレイを自動的に選択します。詳しくは、「トレイを自動的に選択したい」（リファレンス編の 63 ページ）をご覧ください。**

Windows XP PS プリンタドライバの場合

❶ ［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❷ ［サイズ］で［A4］、［印刷の向き］で［縦］または［横］を選択し、［OK］をクリックします。

❸ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❹ ［詳細設定］をクリックします。

❺ ［用紙 / 品質］タブの［給紙方法］で［マルチパーパストレイ］を選択し、［OK］をクリックします。

メモ

- **フェイスアップスタッカが開いている場合は、［詳細設定］をクリックし、［プリンタ機能］の［排出先］を選択します。**
- **封筒1～4を縦長（長形でフラップ（のりしろ）が上になる向き）に印刷したい場合は、［レイアウト］タブの［印刷の向き］で［横置きに回転］を選択します。**

❻ ［印刷］をクリックし、印刷します。

4章

Windows Me/98/95 PS プリンタドライバの場合

❶ ［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❷ ［サイズ］で［A4］、［印刷の向き］で［縦］または［横］を選択し、［OK］をクリックします。

❸ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❹ ［プロパティ］をクリックします。

❺ ［用紙］タブの［給紙方法］で［マルチパーパストレイ］を選択し、［OK］をクリックします。

メモ

- **フェイスアップスタッカが開いている場合は、［用紙］タブで［排出先］を選択します。**
- **封筒1～4を縦長（長形でフラップ（のりしろ）が上になる向き）に印刷したい場合は、あらかじめプリンタのプロパティの［用紙タブ］の［印刷の向き］で［横］を選択し、［回転］にチェックを付けておきます。印刷時には［印刷の向き］で［横］を選択します。**

❻ 「印刷」画面で［OK］をクリックし、印刷します。

Windows 2000 PS プリンタドライバの場合

❶ ［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❷ ［サイズ］で［A4］、［印刷の向き］で［縦］または［横］を選択し、［OK］をクリックします。

❸ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❹ ［用紙 / 品質］タブの［給紙方法］で［マルチパーパストレイ］を選択し、［適用］をクリックします。

- **フェイスアップスタッカが開いている場合は、［詳細設定］をクリックし、［詳細］タブの［排出先］を選択します。**
- **封筒1～4を縦長（長形でフラップ（のりしろ）が上になる向き）に印刷したい場合は、［レイアウト］タブの［印刷の向き］で［横置きに回転］を選択します。**

❺ ［印刷］をクリックし、印刷します。

Windows NT4.0 PS プリンタドライバの場合

❶ ［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❷ ［サイズ］で［A4］、［印刷の向き］で［縦］または［横］を選択し、［OK］をクリックします。

❸ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❹ ［プロパティ］をクリックします。

❺ ［詳細］タブの［給紙方法］で［マルチパーパストレイ］を選択し、［OK］をクリックします。

- **フェイスアップスタッカが開いている場合は、［詳細］タブで［排出先］を選択します。**
- **封筒1～4を縦長（長形でフラップ（のりしろ）が上になる向き）に印刷したい場合は、［印刷の向き］で［回転］を選択します。**

❻ 「印刷」画面で［OK］をクリックし、印刷します。

Windows PCL プリンタドライバの場合

❶ ［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❷ ［サイズ］で［A4］、［印刷の向き］で［縦］または［横］を選択し、［OK］をクリックします。

❸ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❹ ［プロパティ］（WindowsXP では［詳細設定］）をクリックします。
（Windows2000 では、この操作は必要ありません。）

❺ ［用紙］タブの［給紙方法］で［マルチパーパストレイ］を選択します。

- **フェイスアップスタッカが開いている場合は［レイアウト］タブの［排出先］を選択します。**
- **A4、B5、レター用紙を縦送りで印刷する場合は、［横送り］のチェックを外します。**

❻ ［OK］をクリックします。
（Windows2000 では、この操作は必要ありません。）

❼ 「印刷」画面で［OK］または［印刷］をクリックし、印刷します。

Macintosh の場合

❶ ［ファイル］メニューの［用紙設定］を選択します。

❷ ［用紙］で［A4］、［方向］で適切な値を選択し、［OK］をクリックします。

❸ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❹ ［給紙方法］で［マルチパーパストレイ］を選択します。

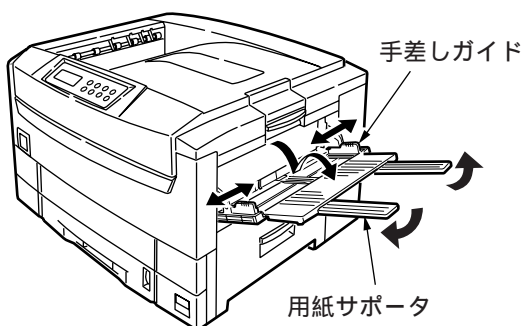
- **フェイスアップスタッカが開いている場合は、［プリンタ固有機能］パネルで［排出先］を選択します。**
- **封筒 1～4 を縦長（長形でフラップ（のりしろ）が上になる向き）に印刷したい場合は、「用紙設定」画面の［方向］で横方向を、［プリンタ固有機能］パネルの［封筒回転］で［あり］を選択します。**

❺ ［プリント］をクリックし、印刷します。

手差しから印刷します

マルチパーパストレイで手差し印刷をすることもできます。
コンピュータから印刷を実行した後にプリンタに用紙をセットし、1枚ずつ確認してから④スイッチを押して印刷をします。

メモ　**通常とは違った用紙を少量ずつセットして印刷する場合などに便利です。
なお、［システム　コウセイ　メニュー］の［マニュアル　タイムアウト］の設定時間を越えると印刷ジョブがキャンセルされますので、印刷ジョブを自動的に消したくない場合は、設定値を［オフ］にしてください。**

1 マルチパーパストレイを準備します。

❶ マルチパーパストレイを開き、用紙サポータを開きます。

❷ 手差しガイドを用紙サイズに合わせます。

2 用紙の排出先をセットします。

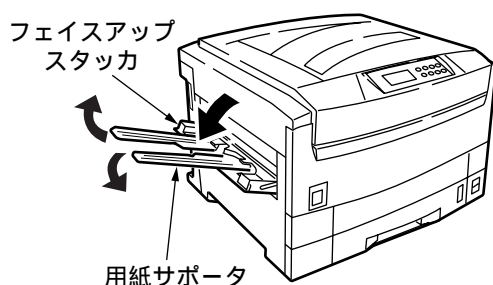
フェイスダウン（印刷面を裏にして排出）の場合

用紙はスタッカカバー上に排出され、印刷した順に重なります。
連量 70kg 紙で約 500 枚をためることができます。

❶ プリンタ左側面のフェイスアップスタッカが閉じていることを確認します。

注 **フェイスアップスタッカが閉じている場合は、プリンタドライバでの［排出先］の設定に関わらず、フェイスダウンで排出します。**

フェイスアップ（印刷面を表にして排出）の場合

用紙はフェイスアップスタッカ上に排出され、印刷した順と逆に重なります。
連量 70kg 紙で約 100 枚ためることができます。

❶ プリンタ左側面のフェイスアップスタッカを開きます。

❷ 用紙サポータを開きます。

- **フェイスアップスタッカが開いている場合は、プリンタドライバで［排出先］を選択してください。**
- **印刷中にフェイスアップスタッカを開閉しないでください。紙づまりの原因になります。**
- **連量151kg以上の厚紙、はがき、封筒、ラベル紙、OHP シート、カスタムサイズは、紙づまりの原因になりますので、必ずフェイスアップで排出してください。**

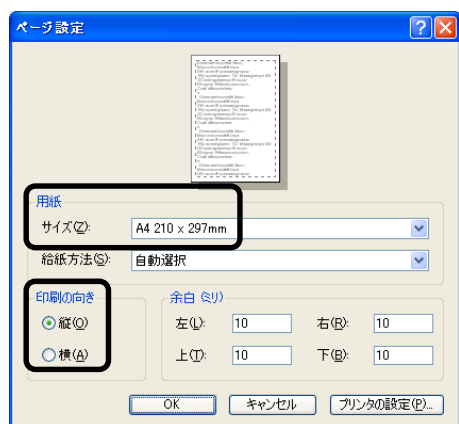
3 アプリケーションを起動します。

Windows または Macintosh で印刷したいファイルを開きます。

4 プリンタドライバで［用紙サイズ］、［給紙方法］、［排出先］を選択します。

- Windows では［ワードパッド］、Macintosh では［SimpleText］を使い、手差しで A4 サイズの普通紙に印刷する場合を例にしています。
- プリンタドライバの［用紙厚］ではメディアウェイト、メディアタイプと同等の設定をすることができます。［用紙厚］の初期値の［プリンタ設定］では、プリンタの操作パネルで設定した値で印刷されますので、通常は設定する必要はありません。
  プリンタドライバで設定を変更する場合は、印刷するたびに設定する必要があります。
- アプリケーションにより、画面や手順が異なる場合があります。正しく印刷できない場合は「プリンタドライバの初期設定を変更したい」（リファレンス編の 53 ページ）をご覧ください。

4
章

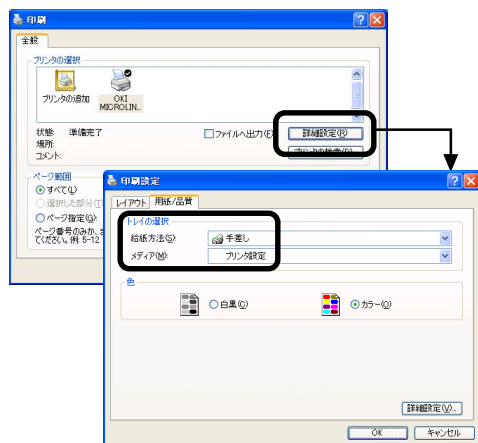
Windows XP PS プリンタドライバの場合

❶ ［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

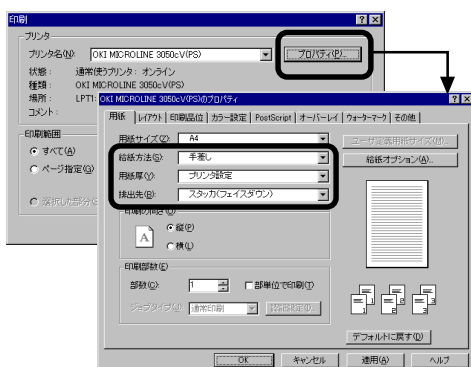
❷ ［サイズ］で［A4］、［印刷の向き］で［縦］または［横］を選択し、［OK］をクリックします。

❸ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❹ ［詳細設定］をクリックします。

❺ ［用紙 / 品質］タブの［給紙方法］で［手差し］を選択し、［OK］をクリックします。

- フェイスアップスタッカが開いている場合は、［詳細設定］をクリックし、［プリンタ機能］の［排出先］を選択します。
- 封筒 1 〜 4 を縦長（長形でフラップ（のりしろ）が上になる向き）に印刷したい場合は、［レイアウト］タブの［印刷の向き］で［横置きに回転］を選択します。

❻ ［印刷］をクリックし、印刷します。

Windows Me/98/95 PS プリンタドライバの場合

❶ ［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❷ ［サイズ］で［A4］、［印刷の向き］で［縦］または［横］を選択し、［OK］をクリックします。

❸ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❹ ［プロパティ］をクリックします。

❺ ［用紙］タブの［給紙方法］で［手差し］を選択し、［OK］をクリックします。

- **フェイスアップスタッカが開いている場合は、［用紙］タブで［排出先］を選択します。**
- **封筒1～4を縦長（長形でフラップ（のりしろ）が上になる向き）に印刷したい場合は、あらかじめプリンタのプロパティの［用紙タブ］の［印刷の向き］で［横］を選択し、［回転］にチェックを付けておきます。印刷時には［印刷の向き］で［横］を選択します。**

❻ 「印刷」画面で［OK］をクリックし、印刷します。

Windows 2000 PS プリンタドライバの場合

❶ ［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❷ ［サイズ］で［A4］、［印刷の向き］で［縦］または［横］を選択し、［OK］をクリックします。

❸ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❹ ［用紙 / 品質］タブの［給紙方法］で［手差し］を選択し、［適用］をクリックします。

- **フェイスアップスタッカが開いている場合は、［詳細設定］をクリックし、［詳細］タブの［排出先］を選択します。**
- **封筒1～4を縦長（長形でフラップ（のりしろ）が上になる向き）に印刷したい場合は、［レイアウト］タブの［印刷の向き］で［横置きに回転］を選択します。**

❺ ［印刷］をクリックします。

Windows NT4.0 PS プリンタドライバの場合

❶ ［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❷ ［サイズ］で［A4］、［印刷の向き］で［縦］または［横］を選択し、［OK］をクリックします。

❸ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❹ ［プロパティ］をクリックします。

❺ ［詳細］タブの［給紙方法］で［手差し］を選択し、［OK］をクリックします。

- **フェイスアップスタッカが開いている場合は、［詳細］タブで［排出先］を選択します。**
- **封筒1～4を縦長（長形でフラップ（のりしろ）が上になる向き）に印刷したい場合は、［印刷の向き］で［回転］を選択します。**

❻ 「印刷」画面で［OK］をクリックし、印刷します。

Windows PCL プリンタドライバの場合

❶ ［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❷ ［サイズ］で［A4］、［印刷の向き］で［縦］または［横］を選択し、［OK］をクリックします。

❸ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❹ ［プロパティ］（WindowsXP では［詳細設定］）をクリックします。
（Windows2000 では、この操作は必要ありません。）

❺ ［用紙］タブの［給紙方法］で［手差し］を選択します。

- **フェイスアップスタッカが開いている場合は［レイアウト］タブの［排出先］を選択します。**
- **A4、B5、レター用紙を縦送りで印刷する場合は、［横送り］のチェックを外します。**

❻ ［OK］をクリックします。
（Windows2000 では、この操作は必要ありません。）

❼ 「印刷」画面で［OK］または［印刷］をクリックし、印刷します。

Macintosh の場合

❶ ［ファイル］メニューの［用紙設定］を選択します。

❷ ［用紙］で［A4］、［方向］で適切な値を選択し、［OK］をクリックします。

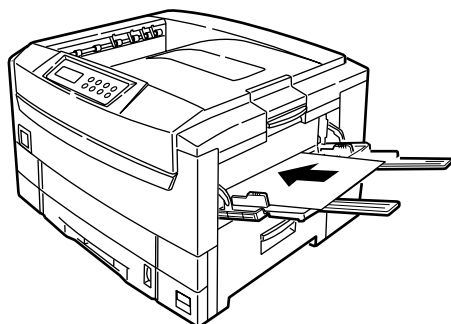
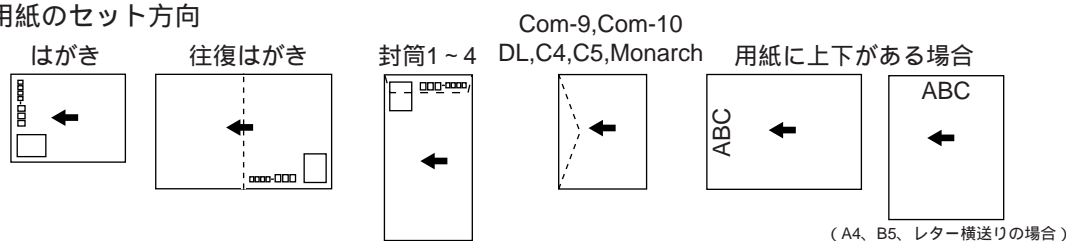
❸ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❹ ［給紙方法］で［手差し］を選択します。

- **フェイスアップスタッカが開いている場合は、［プリンタ固有機能］パネルで［排出先］を選択します。**
- **封筒1～4を縦長（長形でフラップ（のりしろ）が上になる向き）に印刷したい場合は、「用紙設定」画面の［方向］で横方向を、［プリンタ固有機能］パネルの［封筒回転］で［あり］を選択します。**

❺ ［プリント］をクリックし、印刷します。

5 用紙をセットします。

プリンタの操作パネルに「A4 ヨコオクリヲ　イレテクダサイ　500：テサシインサツ」と表示されたら、用紙をマルチパーパストレイにセットします。

用紙のセット方向

はがき

往復はがき

用紙に上下がある場合

ABC

（A4、B5、レター横送りの場合）

- 適切な温度・湿度に保管した用紙を使用してください。湿度によりカールや波打ちが発生した用紙は使用しないでください。
- 手差しガイドは、用紙との間に隙間ができないように調節してください。また、用紙が曲がるほど強く押しつけないでください。
- 複数枚セットする場合は、手差しガイドの［↓］マークを越えないようにセットしてください。（連量 70kg 紙で 100 枚）
- 用紙は縦送りでセットしてください。（A4、B5、レターは横送りもできます。）
- サイズ、種類、厚さの異なる用紙を一度にまとめてセットしないでください。
- 用紙を追加する場合は、先に入っている用紙を取り出し、追加する用紙と上下左右をそろえてからセットしてください。
- はがき、封筒の反りは吸入不良の原因になります。反りのないものを使用してください。反りは 2mm 以内に修正してください。
- 封筒はフラップ部がふくらまないように強く折り、必ず横送りでセットしてください。
- 封筒の後端部ののり付け部が折れ曲がっているものは、吸入不良になることがあります。折れ曲がりを修正してから使用してください。
- マルチパーパストレイの上に印刷する用紙以外のものを置いたり、上から押したり、無理な力を加えたりしないでください。
- マルチパーパストレイでは両面印刷できませんが、本プリンタで印刷した用紙の裏面に手差しで印刷できます。

6 操作パネルで ④「オンライン」スイッチを押します。

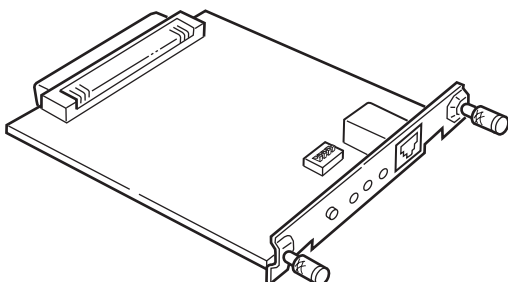
印刷が開始されます。

［システム　コウセイ　メニュー］で設定されている［マニュアル　タイムアウト］の時間内に ④ スイッチを押さないと、印刷はキャンセルされます。

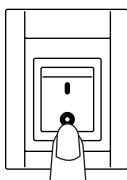
5 オプション品について

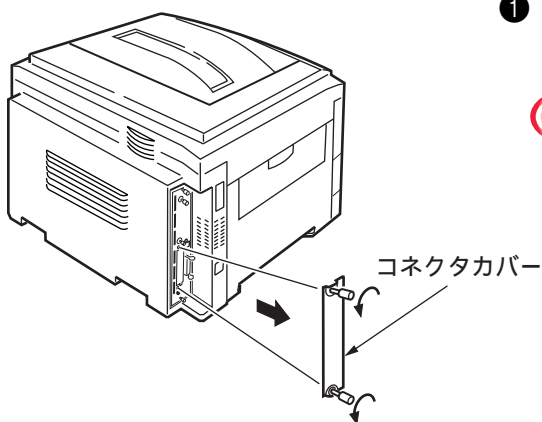
イーサネットボード

プリンタをネットワークに接続するボードです。EtherTalk、TCP/IP、IPX/SPX、NetBEUIのプロトコルに対応しています。100BASE-TX と 10BASE-T で接続できます。

注 **ML9055cV、ML3050cV はイーサネットボードを標準で装備しています。**

5 章

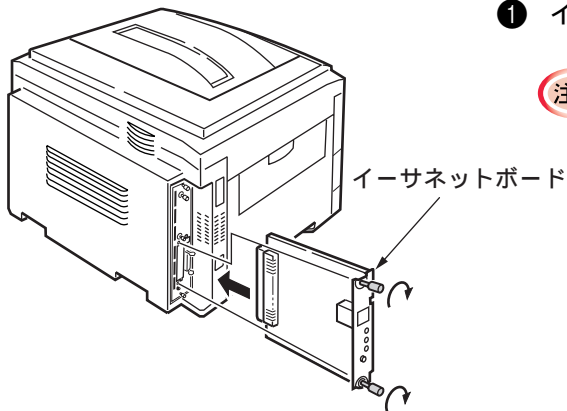
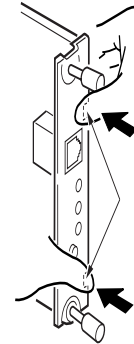
1 プリンタの電源を OFF にし、電源コードを取り外します。

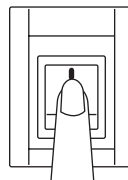
注 **電源を ON のまま取り付けると、プリンタが故障するおそれがあります。**

メモ **電源の切り方は「電源を切ります」（25 ページ）をご覧ください。**

2 コネクタカバーを取り外します。

❶ ネジ（2 ケ所）をゆるめ、下側のコネクタカバーを取り外します。

注
- **下側のスロットに取り付けてください。**
- **電子部品やコネクタ端子部はさわらないでください。**
- **コネクタカバーとネジは使用しませんので保管してください。**

3 イーサネットボードを取り付けます。

❶ イーサネットボードを差し込みます。

注 **ボードの金属板は曲り易いため、押し込む際には※印の部分を押して差し込んでください。**

❷ イーサネットボードに付属のネジ（2 ケ所）で固定します。

4 プリンタに電源コードを取り付け、電源を ON にします。

5 メニューマップ印刷を行い､イーサネットボードが正しく取り付けられていることを確認します。

```
Computer Name          : ML00134D
Workgroup Name         : PrintServer
Master Browser         :

| SNMP Trap C
Trap Commu
Authen Comm
ColdStart T
Trap Desti

| Email Alert
SMTP Serve
Reply-To Ad
SMTP Port N
```

```
Network Card Information

+------------------------------------------------------------------+
|  General Information                                             |
+------------------------------------------------------------------+
 Network Card Name        : MLETB09A
 MAC Address              : 00809200134D      Firmware Version  : 1.0.3
 Link Status              : Link Fail
 Network Status
 Unicast Packets Received : 0              Packets Transmitted : 0
 Total Packets Received   : 0              Unsendable Packets  : 0
 Bad Packets Received     : 0

 Frame Type               : Automatic

+------------------------------------------------------------------+
|  TCP/IP Configuration                         Status: Enable     |
+------------------------------------------------------------------+
 DHCP/BOOTP       : ON
 RARP             : OFF
 IP Address       : 0.0.0.0          Web Address    Not Available
 Subnet Mask      : 0.0.0.0
 Default Gateway  : 0.0.0.0
 DNS Server (Primary)     : 0.0.0.0
 DNS Server (Secondary)   : 0.0.0.0

+------------------------------------------------------------------+
|  NetWare Configuration                        Status:  Enable    |
+------------------------------------------------------------------+
 Network No               : 00000000
 Printer Name             : ML00134D-prn1
 NetWare Mode             : Queue Server
 P-Server ------------------------------------------------- Status -------
   Print Server Name      : ML00134D
   Password               :
   Job Polling Rate       : 4 Sec
   [NDS]
       Tree Name          :
       Context Name       :
   [Bindery]
 R-Printer ------------------------------------------------ Status -------
   Job timeout            : 10 Sec

+------------------------------------------------------------------+
|  EtherTalk Configuration                      Status: Enable     |
+------------------------------------------------------------------+
   Printer Name           : MICROLINE 3050cV
   Type Name              : LaserWriter
   Zone Name              : *
   Address                :              Node          :

+------------------------------------------------------------------+
|  NetBEUI Configuration                        Status: Enable     |
+------------------------------------------------------------------+
```

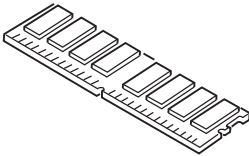
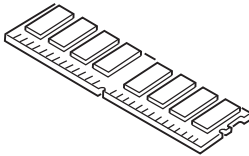
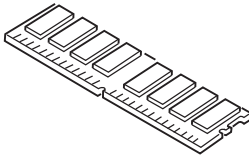
❶ メニューマップ印刷をします。

詳しくは「メニューマップ印刷をします」（26 ページ）をご覧ください。

❷ 「Network Card Information」が印刷されることを確認します。

5章

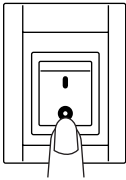
増設メモリ

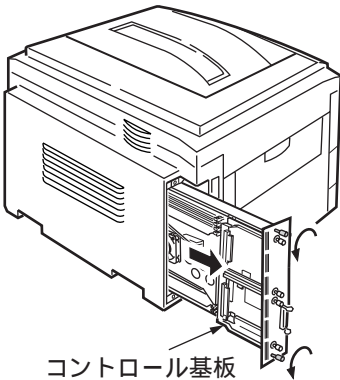
プリンタのメモリ容量を増やすボードです。両面印刷するときや、複雑なデータでメモリ不足のエラーがでるときに追加します。

ML64MB 増設メモリ　　ML128MB 増設メモリ　　ML256MB 増設メモリ

モデル名	標準メモリ	空きスロット	両面印刷（推奨）	最大メモリ
ML9055cV	192MB	2	＋128MB(合計320MB)	1024MB
ML3050cV	192MB	2	＋128MB(合計320MB)	1024MB
ML3020cV	64MB	3	＋64MB(合計128MB)	1024MB

5章

- **最大メモリにするには、標準メモリを取り外す必要があります。**
- **ML3020cVでは、600×1200dpiで印刷する場合、64MB以上のメモリを追加（合計128MB以上）する必要があります。また、A3 用紙に印刷する場合も、64MB 以上のメモリを追加（合計 128MB 以上）することをお勧めします。**
- **必ず沖データ純正品を使用してください。沖データ純正品以外を使用した場合、動作の保証はできません。**
- **メモリ用スロットは全部で4スロットあり、使用するスロットの順番指定があります。取り付ける順序やスロットを間違えるとプリンタが正しく動作しない場合があります。**

1　プリンタの電源を OFF にし、電源コード、プリンタケーブルを取り外します。

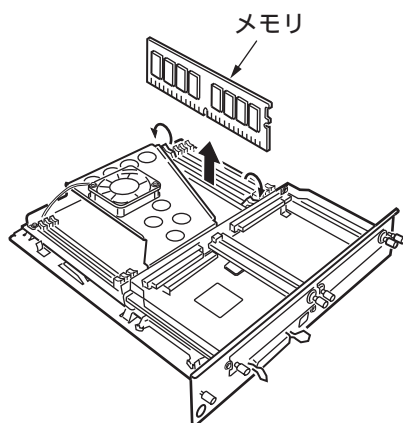
注 **電源を ON のまま取り付けると、プリンタが故障するおそれがあります。**

メモ **電源の切り方は「電源を切ります」（25 ページ）をご覧ください。**

2　コントロール基板を引き出します。

❶ ネジ（2 ケ所）をゆるめます。

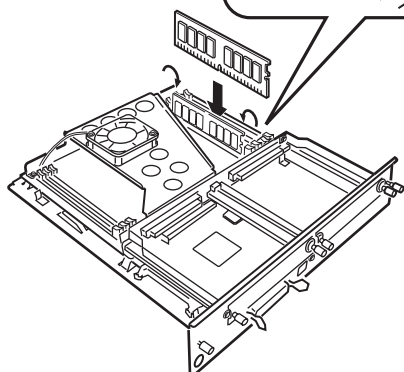
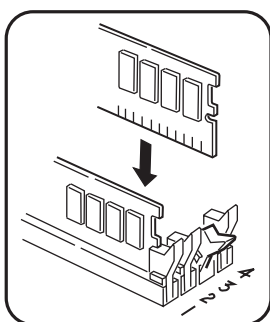
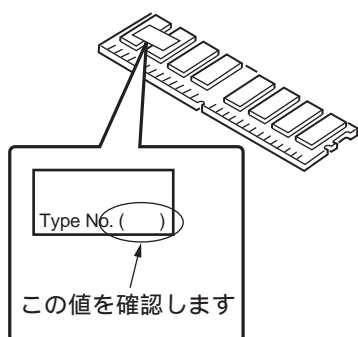
❷ コントロール基板を引き出します。

❸ コントロール基板を平らなテーブルの上に置きます。

電子部品やコネクタ端子部はさわらないでください。

3 標準で実装されているメモリを外します。

❶ 左右のロックレバーを外します。

❷ メモリを取り出します。

4 メモリを取り付けます。

❶ メモリを袋から取り出す前に、袋を金属部に接触させて静電気を除去します。

❷ 取り出した標準メモリと増設メモリのType No. を確認します。

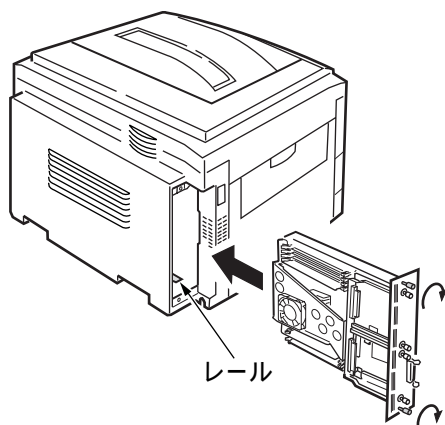
❸ メモリをType No.の大きい順にスロット1→3→2→4の順で差し込みます。

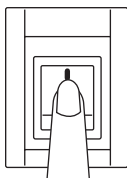
❹ 左右のロックレバーで確実に固定されていることを確認します。

取り付ける順序やスロットを間違えるとプリンタが正しく動作しない場合があります。

5 コントロール基板を戻します。

❶ レールに合わせて確実にコントロール基板を戻します。

❷ ネジ（2 ケ所）で固定します。

6 プリンタに電源コード、プリンタケーブルを取り付け、電源をONにします。

操作パネルに［サービスコール／034：エラー］が表示された場合は、手順４の通りに取り付け位置を確認して再度メモリを取り付け直してください。

7 メニューマップ印刷を行い、増設メモリが正しく取り付けられていることを確認します。

```
MenuMap
CU version:08.20 [ 100.58 S0.2.0f5 B01.
PU version:03.50.79 [ PI02.04 L000.07.0
PCL Program version:00.79
PS Program version:3011.103,PS66
Total Memory Size:256 MB
Flash Memory:2 MB [ F20 ]
HDD:5.00 GB [ F20 ]
TE:052 JP1
```

❶ メニューマップ印刷をします。

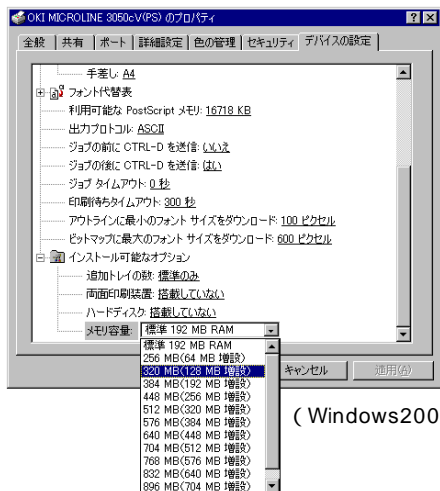
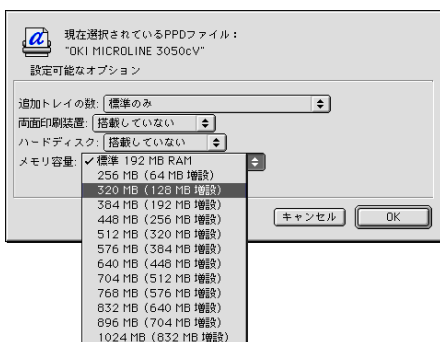
詳しくは「メニューマップ印刷をします」（26 ページ）をご覧ください。

❷「Total Memory Size」に表示される総メモリ量を確認します。

8 プリンタドライバで［メモリ容量］を変更します。

WindowsXP/2000/NT4.0 はコンピュータの管理者の権限が必要です。

WindowsMe/98/95 PS プリンタドライバの場合

（Windows98 の画面）

❶ ［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。

❷ プリンタアイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。

❸ ［デバイスオプション］タブの［追加オプション］の［メモリ容量］を選択します。

❹ ［設定の変更］で総メモリ容量を選択し、［適用］をクリックします。

WindowsXP/2000/NT4.0 PS プリンタドライバの場合

（Windows2000 の画面）

❶ ［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。（WindowsXP では［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタとFAX］をクリックします。）

❷ プリンタアイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。

❸ ［デバイスの設定］タブの［インストール可能なオプション］（WindowsNT4.0では［インストールできるオプション］）の［メモリ容量］を選択します。

❹ 総メモリ容量を選択し、［適用］をクリックします。

Macintosh（ネットワーク接続）の場合

❶ ［セレクタ］でプリンタを選択し、［再設定］をクリックします。

❷ ［オプションの構成］をクリックします。

❸ ［メモリ容量］で総メモリ容量を選択し、［OK］をクリックします。

❹ ［セレクタ］を閉じます。

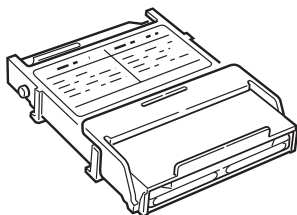
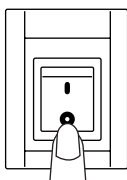
Macintosh（USB 接続）の場合

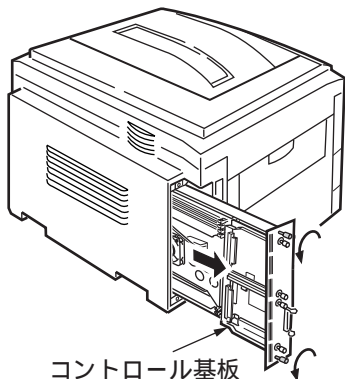
❶ デスクトップ上のプリンタアイコンをゴミ箱へドラッグし、空にします。

❷ デスクトップ・プリンタ Utility を使用して、デスクトップ・プリンタを再度作成します。デスクトップ・プリンタを作成し直すと、設定も更新されます。

内蔵ハードディスク

プリンタに追加する内蔵ハードディスクです。確認印刷、認証印刷、AdobeType1 フォントを追加するときに使用します。

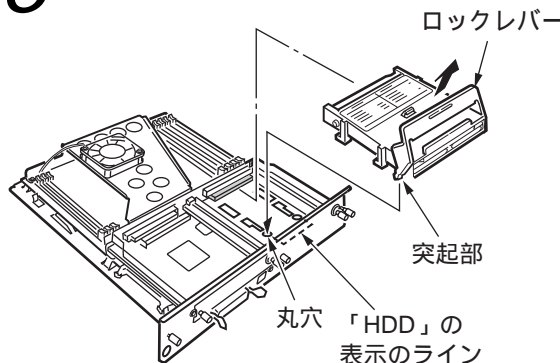
 ML9055cV は内蔵ハードディスクを標準で装備しています。

1 プリンタの電源を OFF にし、電源コード、プリンタケーブルを取り外します。

 電源を ON のまま取り付けると、プリンタが故障するおそれがあります。

2 コントロール基板を引き出します。

❶ ネジ（2 ケ所）をゆるめます。

❷ コントロール基板を引き出します。

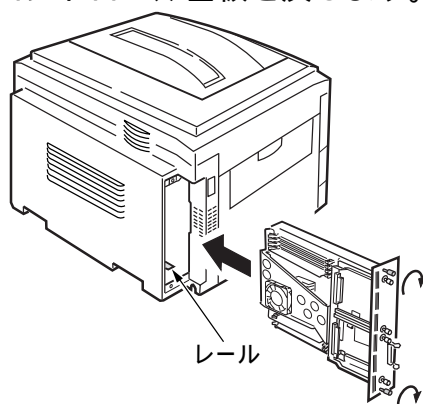
❸ コントロール基板を平らなテーブルの上に置きます。

 電子部品やコネクタ端子部はさわらないでください。

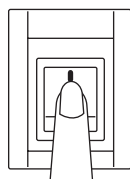
3 内蔵ハードディスクを取り付けます。

❶ 内蔵ハードディスクのロックレバーを引き起こして持ちます。

❷ コントロール基板上の「HDD」の表示のラインに合わせて内蔵ハードディスクをセットし、ロックレバーの突起部をコントロール基板の丸穴に入れます。

❸ ロックレバーをカチッと音がするまで倒します。

4 コントロール基板を戻します。

❶ レールに合わせて確実にコントロール基板を戻します。

❷ ネジ（2 ケ所）で固定します。

5 プリンタに電源コード、プリンタケーブルを取り付け、電源をONにします。

5
章

6 メニューマップ印刷を行い、内蔵ハードディスクが正しく取り付けられていることを確認します。

```
MenuMap

CU version:08.20 [ I00.58 S0.2.0f5 B01.
PU version:03.50.79 [ PI02.04 L000.07.0
PCL Program version:00.79
PS Program version:3011.103,PS66
Total Memory Size:256 MB
Flash Memory:2 MB [ F20 ]
HDD:5.00 GB [ F20 ]
TE:052 JPT
```

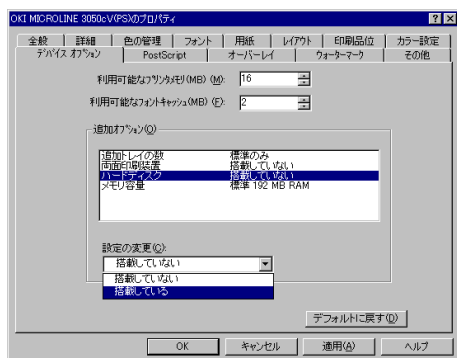
❶ メニューマップ印刷をします。

詳しくは「メニューマップ印刷をします」（26 ページ）をご覧ください。

❷ 「HDD」に内蔵ハードディスクの容量が表示されていることを確認します。

7 プリンタドライバで［ハードディスク］を［搭載している］にします。

- **WindowsXP/2000/NT4.0 はコンピュータの管理者の権限が必要です。**
- **ML9055cV は内蔵ハードディスクを標準で搭載しているため、WindowsXP/2000 PS プリンタドライバおよび Macintosh プリンタドライバでは［ハードディスク］の項目は表示されません。**

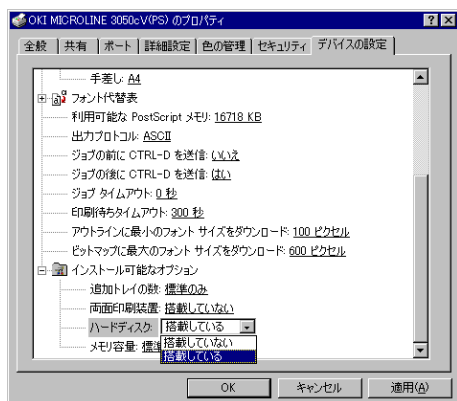
WindowsMe/98/95 PS プリンタドライバの場合

（Windows98 の画面）

❶ ［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。

❷ プリンタアイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。

❸ ［デバイスオプション］タブの［追加オプション］の［ハードディスク］を選択します。

❹ ［設定の変更］で［搭載している］を選択し、［適用］をクリックします。

WindowsXP/2000/NT4.0 PS プリンタドライバの場合

（Windows2000 の画面）

❶ ［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。（WindowsXP では［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタとFAX］をクリックします。）

❷ プリンタアイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。

❸ ［デバイスの設定］タブの［インストール可能なオプション］（WindowsNT4.0では［インストールできるオプション］）の［ハードディスク］を選択します。

❹ ［搭載している］を選択し、［適用］をクリックします。

Windows PCL プリンタドライバの場合

（Windows98 の画面）

❶ ［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。（WindowsXP では［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタとFAX］をクリックします。）

❷ プロパティを開きます。

WindowsMe/98/95 の場合

［OKI MICROLINE ***］（***はプリンタ名）アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。

WindowsXP/2000 の場合

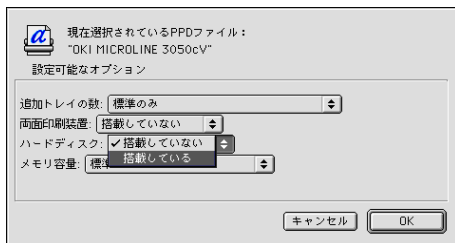
［OKI MICROLINE ***］（***はプリンタ名）アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［印刷設定］を選択します。

WindowsNT4.0 の場合

［OKI MICROLINE ***］（***はプリンタ名）アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［ドキュメントの規定値］を選択します。

❸ ［用紙］タブの［オプション機器］をクリックします。

❹ ［ハードディスク］にチェックを付け、［OK］をクリックします。

Macintosh（ネットワーク接続）の場合

❶ ［セレクタ］でプリンタを選択し、［再設定］をクリックします。

❷ ［オプションの構成］をクリックします。

❸ ［ハードディスク］で［搭載している］を選択し、［OK］をクリックします。

❹ ［セレクタ］を閉じます。

Macintosh（USB 接続）の場合

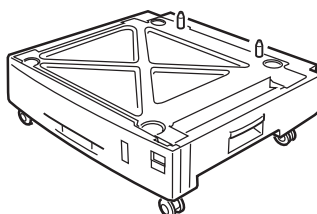
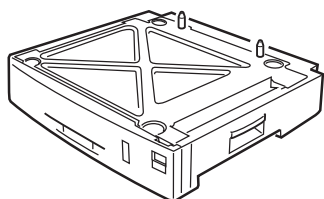
❶ デスクトップ上のプリンタアイコンをゴミ箱へドラッグし、空にします。

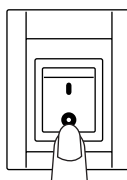
❷ デスクトップ・プリンタ Utility を使用して、デスクトップ・プリンタを再度作成します。デスクトップ・プリンタを作成し直すと、設定も更新されます。

セカンド / サードトレイユニット

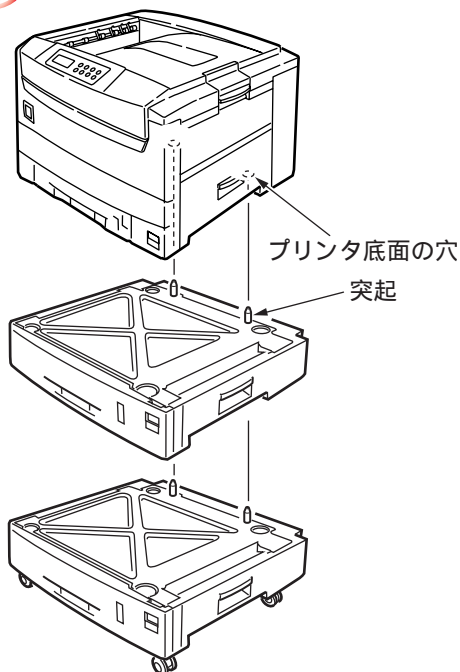
プリンタにセットできる用紙量を増やすトレイで、2段まで増設できます。連量70kg紙の場合550枚セットでき、標準の用紙カセット、マルチパーパストレイと合わせて1,750枚を連続して印刷できるようになります。

注 **セカンド/サードトレイユニット2段を大容量トレイユニットと併用することはできません。**

セカンド / サードトレイユニット　　**キャスタ付セカンド / サードトレイユニット**

1 プリンタの電源を OFF にし、電源コード、プリンタケーブルを取り外します。

電源を ON のまま取り付けると、プリンタが故障するおそれがあります。

メモ **電源の切り方は「電源を切ります」（25 ページ）をご覧ください。**

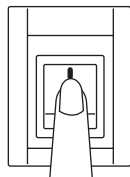
2 プリンタをセカンド / サードトレイユニットに載せます。

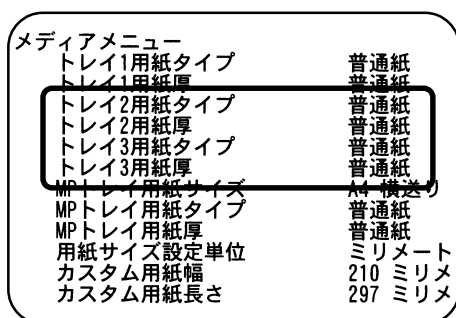
注 **プリンタは約 72kg あります。3 人以上で持ち上げてください。**

❶ プリンタ底面の穴とセカンド/サードトレイユニットの突起を合わせます。

❷ プリンタをセカンド/サードトレイユニットの上に静かに載せます。

取り外しは取り付けの逆の手順で行います。

メモ **2 段増設する場合は、下段になるセカンド / サードトレイユニットの上に、上段になるセカンド / サードトレイユニットを静かに載せ、その上にプリンタを載せます。**
左図ではプリンタにセカンド / サードトレイユニットとキャスター付セカンド / サードトレイユニットを組み合わせる場合を示しています。

3 プリンタに電源コード、プリンタケーブルを取り付け、電源をONにします。

4 メニューマップ印刷を行い、セカンド/サードトレイユニットが正しく取り付けられていることを確認します。

メディアメニュー	
トレイ1用紙タイプ	普通紙
トレイ1用紙厚	普通紙
トレイ2用紙タイプ	普通紙
トレイ2用紙厚	普通紙
トレイ3用紙タイプ	普通紙
トレイ3用紙厚	普通紙
MPトレイ用紙サイズ	A4 横送り
MPトレイ用紙タイプ	普通紙
MPトレイ用紙厚	普通紙
用紙サイズ設定単位	ミリメート
カスタム用紙幅	210 ミリメ
カスタム用紙長さ	297 ミリメ

❶ メニューマップ印刷をします。

詳しくは「メニューマップ印刷をします」（26 ページ）をご覧ください。

❷「メディアメニュー」に「トレイ2」または「トレイ3」が表示されていることを確認します。

5 プリンタドライバで追加トレイの数を設定します。

注 **WindowsXP/2000/NT4.0 はコンピュータの管理者の権限が必要です。**

WindowsMe/98/95 PS プリンタドライバの場合

（Windows98 の画面）

❶［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。

❷ プリンタアイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。

❸［デバイスオプション］タブの［追加オプション］の［追加トレイの数］を選択します。

❹［設定の変更］で［1（セカンドトレイ）］または［2（セカンドトレイ+サードトレイ）］を選択し、［適用］をクリックします。

WindowsXP/2000/NT4.0 PS プリンタドライバの場合

（Windows2000 の画面）

❶ ［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。（WindowsXP では［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタとFAX］をクリックします。）

❷ プリンタアイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。

❸ ［デバイスの設定］タブの［インストール可能なオプション］（WindowsNT4.0では［インストールできるオプション］）の［追加トレイの数］を選択します。

❹ ［1（セカンドトレイ）］または［2（セカンドトレイ＋サードトレイ）］を選択し、［適用］をクリックします。

5
章

Windows PCL プリンタドライバの場合

（Windows98 の画面）

❶ ［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。（WindowsXP では［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタとFAX］をクリックします。）

❷ プロパティを開きます。

WindowsMe/98/95 の場合

［OKI MICROLINE ***］（*** はプリンタ名）アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。

WindowsXP/2000 の場合

［OKI MICROLINE ***］（*** はプリンタ名）アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［印刷設定］を選択します。

WindowsNT4.0 の場合

［OKI MICROLINE ***］（*** はプリンタ名）アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［ドキュメントの規定値］を選択します。

❸ ［用紙］タブの［オプション機器］をクリックします。

❹ ［トレイ数］で現在のトレイの総数を入力し、［OK］をクリックします。

Macintosh（ネットワーク接続）の場合

❶［セレクタ］でプリンタを選択し、［再設定］をクリックします。

❷［オプションの構成］をクリックします。

❸［追加トレイの数］で［1（セカンドトレイ）］または［2（セカンドトレイ+サードトレイ）］を選択し、［OK］をクリックします。

❹［セレクタ］を閉じます。

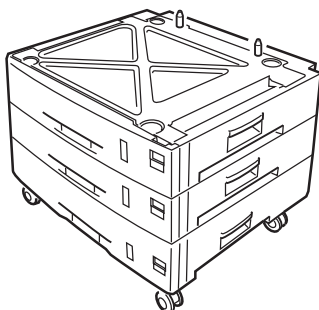
Macintosh（USB 接続）の場合

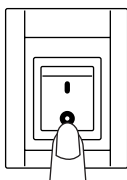
❶ デスクトップ上のプリンタアイコンをゴミ箱へドラッグし、空にします。

❷ デスクトップ・プリンタ Utility を使用して、デスクトップ・プリンタを再度作成します。デスクトップ・プリンタを作成し直すと、設定も更新されます。

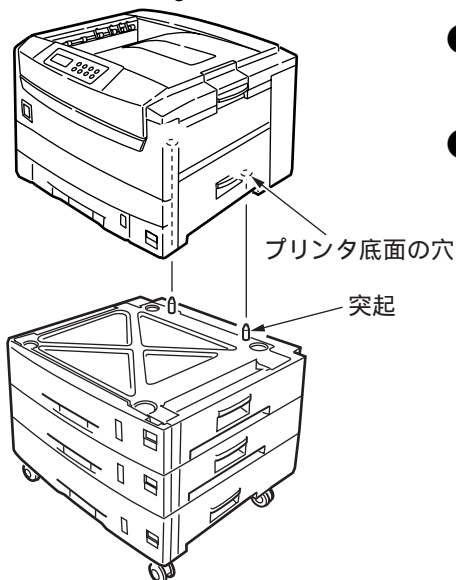
大容量トレイユニット

プリンタにセットできる用紙量を増やすトレイです。大容量トレイユニットには3段の用紙カセットがあります。連量70kg紙の場合、各トレイに550枚セットでき、標準の用紙カセットと合わせて2,300枚を連続して印刷できるようになります。また、セカンド / サードトレイユニット1段とも併用できます。この場合2,850枚を連続して印刷できます。

注 **セカンド / サードトレイユニット2段と併用することはできません。**

1 プリンタの電源をOFFにし、電源コード、プリンタケーブルを取り外します。

注 **電源をONのまま取り付けると、プリンタが故障するおそれがあります。**

メモ **電源の切り方は「電源を切ります」(25ページ)をご覧ください。**

2 プリンタを大容量トレイユニットに載せます。

注 **プリンタは約72kgあります。3人以上で持ち上げてください。**

❶ プリンタ底面の穴と大容量トレイユニットの突起を合わせます。

❷ プリンタを大容量トレイユニットの上に静かに載せます。

取り外しは取り付けの逆の手順で行います。

メモ **大容量トレイユニットとセカンド / サードトレイユニットを取り付ける場合は、大容量トレイユニットの上にセカンド / サードユニットを静かに載せ、その上にプリンタを載せます。**

3 プリンタに電源コード、プリンタケーブルを取り付け、電源をONにします。

4 メニューマップ印刷を行い、大容量トレイユニットが正しく取り付けられていることを確認します。

❶ メニューマップ印刷をします。

詳しくは「メニューマップ印刷をします」（26 ページ）をご覧ください。

❷ 「メディアメニュー」に「トレイ 2」「トレイ 3」「トレイ 4」または「トレイ 2」「トレイ 3」「トレイ 4」「トレイ 5」が表示されていることを確認します。

5 プリンタドライバで追加トレイの数を設定します。

注 **WindowsXP/2000/NT4.0 はコンピュータの管理者の権限が必要です。**

WindowsMe/98/95 PS プリンタドライバの場合

（Windows98 の画面）

❶ ［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。

❷ プリンタアイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。

❸ ［デバイスオプション］タブの［追加オプション］の［追加トレイの数］を選択します。

❹ ［設定の変更］で［3（大容量トレイ）］または［4（セカンドトレイ＋大容量トレイ）］を選択し、［適用］をクリックします。

WindowsXP/2000/NT4.0 PS プリンタドライバの場合

（Windows2000 の画面）

❶ ［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。（WindowsXP では［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタとFAX］をクリックします。）

❷ プリンタアイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。

❸ ［デバイスの設定］タブの［インストール可能なオプション］（WindowsNT4.0では［インストールできるオプション］）の［追加トレイの数］を選択します。

❹ ［3（大容量トレイ）］または［4（セカンドトレイ＋大容量トレイ）］を選択し、［適用］をクリックします。

Windows PCL プリンタドライバの場合

（Windows98 の画面）

❶ ［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。（WindowsXP では［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタとFAX］をクリックします。）

❷ プロパティを開きます。

WindowsMe/98/95 の場合

［OKI MICROLINE ***］（***はプリンタ名）アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。

WindowsXP/2000 の場合

［OKI MICROLINE ***］（***はプリンタ名）アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［印刷設定］を選択します。

WindowsNT4.0 の場合

［OKI MICROLINE ***］（***はプリンタ名）アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［ドキュメントの規定値］を選択します。

❸ ［用紙］タブの［オプション機器］をクリックします。

❹ ［トレイ数］で現在のトレイの総数を入力し、［OK］をクリックします。

Macintosh（ネットワーク接続）の場合

❶ ［セレクタ］でプリンタを選択し、［再設定］をクリックします。

❷ ［オプションの構成］をクリックします。

❸ ［追加トレイの数］で［3（大容量トレイ）］または［4（セカンドトレイ＋大容量トレイ）］を選択し、［OK］をクリックします。

❹ ［セレクタ］を閉じます。

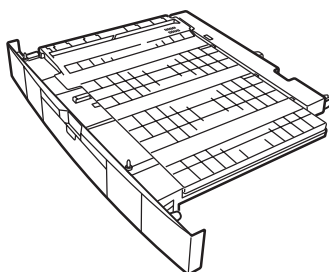
Macintosh（USB接続）の場合

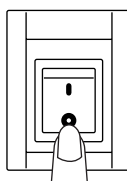
❶ デスクトップ上のプリンタアイコンをゴミ箱へドラッグし、空にします。

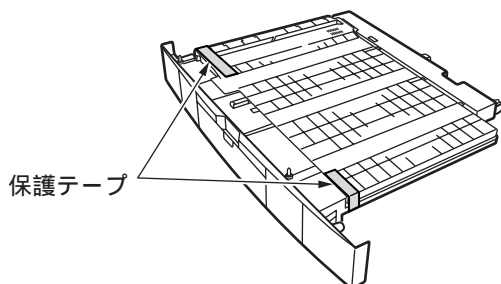
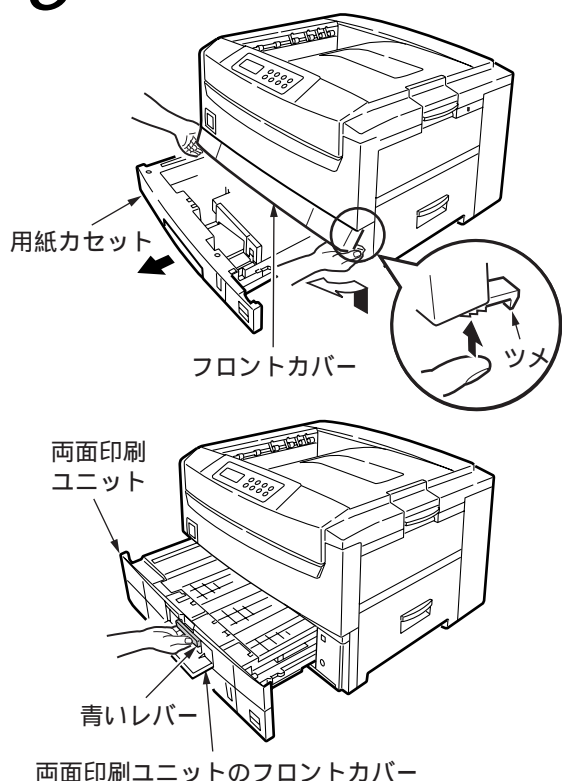
❷ デスクトップ・プリンタ Utilityを使用して、デスクトップ・プリンタを再度作成します。デスクトップ・プリンタを作成し直すと、設定も更新されます。

両面印刷ユニット

用紙の両面に印刷するユニットです。

注 **両面印刷には、増設メモリの追加が必要です。詳しくは****「増設メモリ」（100 ページ）****をご覧ください。**

1　プリンタの電源を OFF にし、電源コード、プリンタケーブルを取り外します。

注 **電源を ON のまま取り付けると、プリンタが故障するおそれがあります。**

メモ **電源の切り方は****「電源を切ります」（25 ページ）****をご覧ください。**

2　両面印刷ユニットの保護テープ（2ヶ所）をはがします。

3 両面印刷ユニットを取り付けます。

❶ 用紙カセットを引き出します。

❷ フロントカバーの左右のツメを押し上げて、取り外します。

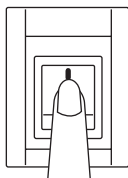
> 注 **フロントカバーは使用しませんので保管してください。**

❸ 用紙カセットを完全に引き出し、両面印刷ユニットを用紙カセットの上に合わせて載せます。

❹ 両面印刷ユニットのフロントカバーを開き、青いレバーを引きます。

両面印刷ユニットと用紙カセットが固定されたことを確認します。

❺ 用紙カセットごと両面印刷ユニットをプリンタに戻します。

4 プリンタに電源コード、プリンタケーブルを取り付け、電源をONにします。

5 メニューマップ印刷を行い、両面印刷ユニットが正しく取り付けられていることを確認します。

印刷メニュー

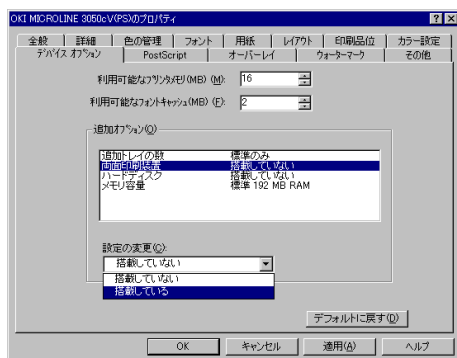
コピー枚数	1
両面印刷	オフ
ジョブオフセット	オン
給紙トレイ	トレイ1
出力ビン	フェイス
自動トレイ切り替え	オン
用紙サイズチェック	有効
優先トレイ	なし
解像度	1200DPI
モノクロ印刷速度	自動
印刷方向	縦
1ページ行数	64 行

❶ メニューマップ印刷をします。
詳しくは「メニューマップ印刷をします」（26 ページ）をご覧ください。

❷ 「印刷メニュー」に「両面印刷」が表示されていることを確認します。

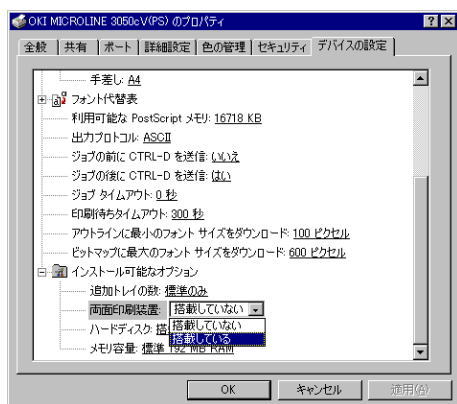
6 プリンタドライバで［両面印刷装置］を［搭載している］にします。

WindowsXP/2000/NT4.0 はコンピュータの管理者の権限が必要です。

WindowsMe/98/95 PS プリンタドライバの場合

（Windows98 の画面）

❶ ［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。

❷ プリンタアイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。

❸ ［デバイスオプション］タブの［追加オプション］の［両面印刷装置］を選択します。

❹ ［設定の変更］で［搭載している］を選択し、［適用］をクリックします。

WindowsXP/2000/NT4.0 PS プリンタドライバの場合

（Windows2000 の画面）

❶ ［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。（WindowsXP では［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタとFAX］をクリックします。）

❷ プリンタアイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。

❸ ［デバイスの設定］タブの［インストール可能なオプション］（WindowsNT4.0では［インストールできるオプション］）の［両面印刷装置］を選択します。

❹ ［搭載している］を選択し、［適用］をクリックします。

Windows PCL プリンタドライバの場合

（Windows98 の画面）

❶ ［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。（WindowsXP では［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタとFAX］をクリックします。）

❷ プロパティを開きます。

WindowsMe/98/95 の場合

［OKI MICROLINE ***］（***はプリンタ名）アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。

WindowsXP/2000 の場合

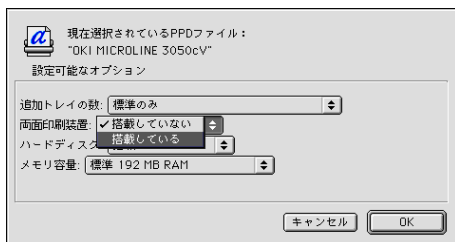
［OKI MICROLINE ***］（***はプリンタ名）アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［印刷設定］を選択します。

WindowsNT4.0 の場合

［OKI MICROLINE ***］（***はプリンタ名）アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［ドキュメントの規定値］を選択します。

❸ ［用紙］タブの［オプション機器］をクリックします。

❹ ［両面印刷ユニット］にチェックを付け、［OK］をクリックします。

Macintosh（ネットワーク接続）の場合

❶ ［セレクタ］でプリンタを選択し、［再設定］をクリックします。

❷ ［オプションの構成］をクリックします。

❸ ［両面印刷装置］で［搭載している］を選択し、［OK］をクリックします。

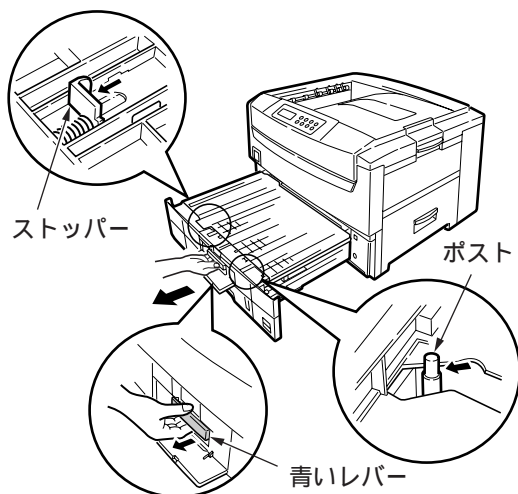
❹ ［セレクタ］を閉じます。

5章

Macintosh（USB 接続）の場合

❶ デスクトップ上のプリンタアイコンをゴミ箱へドラッグし、空にします。

❷ デスクトップ・プリンタ Utility を使用して、デスクトップ・プリンタを再度作成します。デスクトップ・プリンタを作成し直すと、設定も更新されます。

メモ **両面印刷ユニットは以下の手順で外します。**

❶ 両面印刷ユニット前面のレバー（青色）を引きます。

❷ ストッパーを手前に引きながら、ポストを手前に引きます。

❸ 両面印刷ユニットを取り外します。

付　録

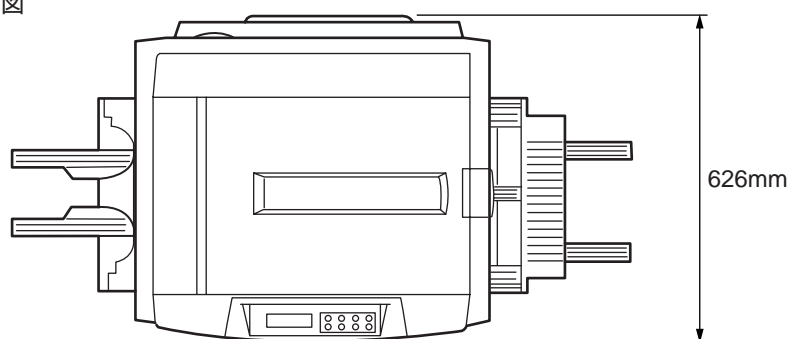
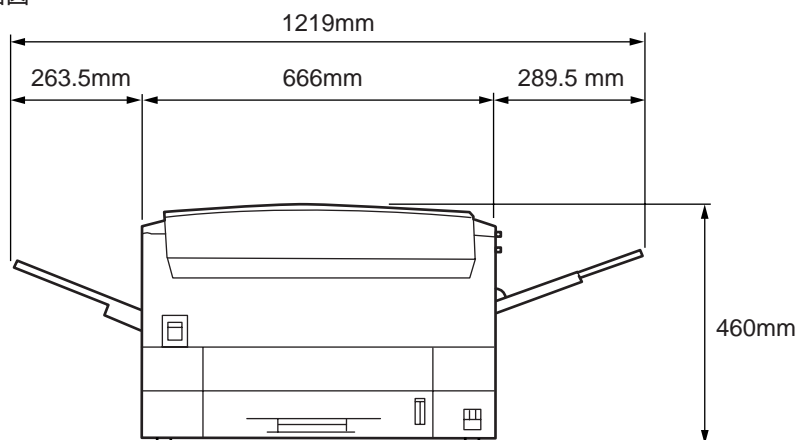
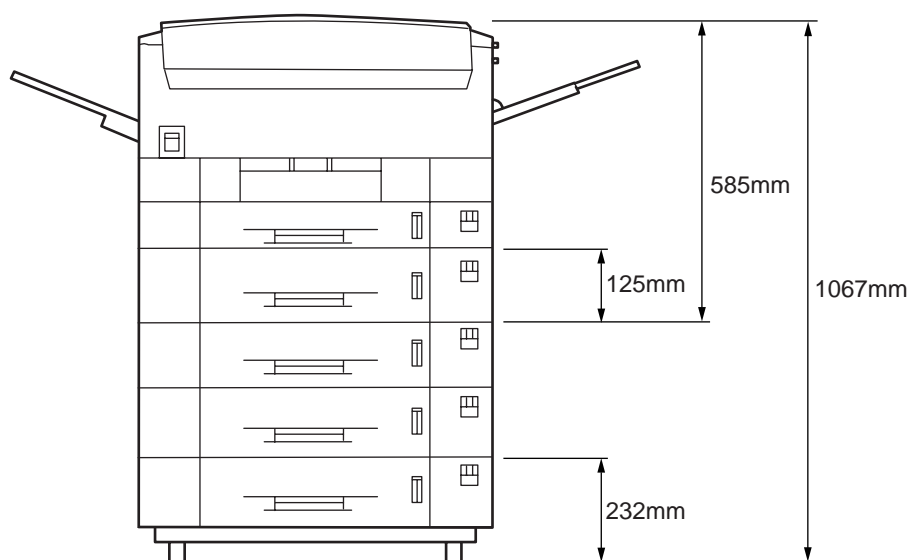
プリンタの仕様

主な仕様

	ML9055cV	ML3050cV	ML3020cV
印刷方式	LED(発光ダイオード)を露光光源とする電子写真記録方式		
解像度	1200ドット/インチ		600ドット/インチ
印刷色	イエロー、マゼンタ、シアン、黒の4色		
CPU	PowerPC750プロセッサ(480MHz)		PowerPC750プロセッサ(400MHz)
RAM容量[*1]	192MB(最大1024MB)	192MB(最大1024MB)	64MB(最大1024MB)
HDD容量[*2]	約5GB	約5GB(オプション)	
印刷言語	PostScript3 [*3] PCL5c		
対応OS	WindowsXP/Me/98/95/2000/NT4.0日本語版、 MacOS8.1〜9.2.2/MacOSX Classic環境日本語版 詳しくは動作環境をご覧ください。		
内蔵フォント	PostScript3 ：日本語5書体 欧文136書体 PCL5c ：欧文80書体	PostScript ：日本語2書体 欧文136書体 PCL5c ：日本語2書体、欧文80書体	
インタフェース	IEEEstd1284-1994準拠パラレル、USB1.1準拠 100BASE-TX/10BASE-T		IEEEstd1284-1994準拠パラレル USB1.1準拠 100BASE-TX/10BASE-T(オプション)
印刷速度 [*4]	カラー ：22ページ/分[*5]（普通紙、A4ヨコ送りコピーモード時）、6.6ページ/分（OHPシート）、 10ページ/分（官製はがき・ラベル紙）、21ページ/分（両面印刷時：普通紙、A4ヨコ送り時） モノクロ：26ページ/分（普通紙、A4ヨコ送りコピーモード時）、16ページ/分、（OHPシート）、 10ページ/分（官製はがき・ラベル紙）、26ページ/分（両面印刷時：普通紙、A4ヨコ送り時）		
用紙サイズ [*6]	A3ノビ、A3ワイド、A3、A4、A5、A6、B4、B5、レター、タブロイド、タブロイドエクストラ、リーガル13インチ、リーガル13.5インチ、リーガル14インチ、エグゼクティブ、カスタム、はがき、往復はがき、封筒（10種）		
用紙種類 [*6]	普通紙（連量55〜170kg）、官製はがき、封筒、ラベル紙、OHPシート		
給紙方法 [*6]	用紙カセットによる自動給紙、マルチパーパストレイによる自動給紙と手差給紙 セカンド/サードトレイユニット（オプション）、大容量トレイユニット(オプション)による自動給紙		
給紙容量	用紙カセット ：普通紙550枚／連量70kg 総厚55mm以下（用紙ニアエンド検知機能あり） マルチパーパストレイ ：普通紙100枚／連量70kg 総厚10mm以下 はがき40枚、封筒10枚／坪量85g/m²		
排出方法 [*6]	フェイスアップ（表排出）／フェイスダウン（裏排出）		
排出容量	フェイスアップ：約100枚／連量70kg フェイスダウン：約500枚／連量70kg（スタッカフル検知機能あり）		
印刷保証範囲	用紙の端から6.35mm以上（封筒などの特殊な用紙は除く）		
印刷精度	書き出し位置精度 ±2mm 用紙の斜行 ±1mm/100mm 画像伸縮 ±1mm/100mm（連量70kgの場合）		
ｳｫｰﾐﾝｸﾞｱｯﾌﾟ時間	電源投入後3分以内（25℃）		
電源	AC100V±10%、50/60Hz±1Hz		
消費電力	動作時 ：最大1,400W、平均600W(25℃) 待機時 ：最大1,300W、平均200W(25℃) 節電モード時 ：最大60W		
突入電流	80A以下(25℃)		
使用環境条件	動作時：10〜32℃／20〜80%RH（最高湿球温度25℃、最高乾球湿球温度差2℃） 停止時：0〜43℃／10〜90%RH（最高湿球温度26.8℃、最高乾球湿球温度差2℃）		
印刷品質保証条件	温度10℃時 湿度30〜73%RH、温度32℃時 湿度30〜54%RH、 湿度30%RH時 温度10〜32℃、湿度80%RH時 温度10〜27℃、 カラー印刷時 温度17〜27℃、湿度50〜70%RH		
標準使用条件	平均電源ON時間 ：220H／月 平均印刷枚数 ：7,000枚／月		
消耗品・ﾒﾝﾃﾅﾝｽﾕﾆｯﾄ	トナーカートリッジ、イメージドラムカートリッジ、ベルトユニット、定着器ユニット		
装置寿命	5年または100万枚(平均印刷枚数：7,000枚／月)		
総重量 [*7]/本体重量 [*8]	約72kg/約62.4kg		

*1：最大メモリにするには、標準メモリを取り外す必要があります。
*2：HDD容量は改良のため変更する場合があります。
*3：Webプリント、ダイレクトPDFプリントには対応していません。
*4：用紙のサイズ、種類、厚さ、給紙方法により、印刷速度は変わります。
*5：標準トレイ以外のトレイでは21ページ/分になります。
*6：用紙のサイズ、種類、厚さにより、給紙方法、排出方法に制限があります。
*7：本体および消耗品を含みます。オプション、用紙重量は含みません。
*8：本体のみ、消耗品を含みません。

外形寸法

平面図

正面図

オプション装着時

パラレルインタフェース仕様

基本仕様

IEEEstd1284 -1994準拠パラレルインタフェース

コネクタ

プリンタ側　36 極レセプタクル(メス)
57RE-40360-830B-D29 型
(第一電子工業製または相当品)

ケーブル側　36 極プラグ(オス)
57FE-30360 型
(第一電子工業製または相当品)

ケーブル

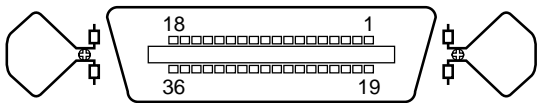
1.8m以下のIEEEstd 1284-1994 適合ケーブルまたは相当品
(シールドされているケーブル線を使用してください。)

伝送モード

コンパチブル
ニブル
ECP

インタフェースレベル

ローレベル　＋ 0.0 ～＋ 0.8V
ハイレベル　＋ 2.4 ～＋ 5.0V

コネクタピン配列

インタフェース信号

ピンNo.	信号名	方　向	機　能
1	nStrobe (HostClk)	TO PRINTER	データを読み込むためのパルスです。 後縁でデータを読み込みます。
2 3 4 5 6 7 8 9	DATA 1 DATA 2 DATA 3 DATA 4 DATA 5 DATA 6 DATA 7 DATA 8	Bi-direction	8ビットのパラレルデータです。ハイレベルが“1”、ローレベルが“0”です。
10	nAck(PtrClk)	FROM PRINTER	データの受信完了を示す信号です。
11	Busy(PtrBusy)	FROM PRINTER	プリンタがデータを受け取れる状態かどうかを示す信号です。 ハイレベルのときはデータを受け取れません。
12	PError(AckDataReq)	FROM PRINTER	ハイレベルのときは、用紙のエラーを示します。
13	Select(Xflag)	FROM PRINTER	パラレルインタフェースが有効な場合、常にハイレベルです。
14	nAutoFd(HostBusy)	TO PRINTER	双方向通信で使用します。
15	－	－	使用していません。
16	GND	－	信号グランド
17	FG	－	シャーシグランド
18	＋5V	FROM PRINTER	外部へ電源を供給できません。
19～30	GND	－	信号グランド
31	nInit(nInit)	TO PRINTER	ローレベルで、プリンタが初期化されます。
32	nFault(nDataAvail)	FROM PRINTER	プリンタがアラーム状態のときローレベルになります。
33	GND	－	信号グランド
34	－	－	使用していません。
35	HILEVEL	FROM PRINTER	プリンタ内部で3.3KΩで+5Vにプルアップされています。
36	nSelectIn (IEEE1284 active)	TO PRINTER	双方向通信で使用します。コンパチブルモード時はローレベルでなければなりません。

- **カッコ内はニブルモードの信号名です。**
- **コンパチブルモードの機能のみ説明しています。**
- **米国電気電子技術者協会が規定するIEEEstd1284-1994のニブルモードをサポートしています。この規格に適合しないコンピュータやケーブルを使用すると、予期しない動作をすることがあります。**

USB インタフェース仕様

基本仕様

USB 仕様 Revision 1.1 準拠

コネクタ

プリンタ側　B レセプタクル(メス)
アップストリームポート
UBB-4R-D14T-1
(日本圧着端子製造株式会社製)相当品

ケーブル側　B プラグ(オス)

ケーブル

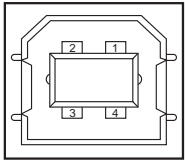
5m 以下の USB 仕様 Revision 1.1 適合ケーブル
(シールドされているケーブル線を使用してください。)

伝送モード

フルスピード(最大 12Mbps+0.25%)

電力制御

セルフパワーデバイス

コネクタピン配列

インタフェース信号

	R1	機　能
1	Vbus	電源（+5V）（赤）
2	D-	データ転送用（白）
3	D+	データ転送用（緑）
4	GND	信号グランド（黒）
Shell	Shield	

フォントサンプル（PS モード）

日本語5書体 （ML9055cV）

Ryumin Light-KL™
株式会社 沖データ

Gothic Medium-BBB™
株式会社 沖データ

Futo Min A101™
株式会社 沖データ

Futo Go B101™
株式会社 沖データ

Jun 101™
株式会社 沖データ

日本語2書体（ML3050cV、ML3020cV）

平成角ゴシック体™W5
株式会社 沖データ

平成明朝体™W3
株式会社 沖データ

欧文136書体

OS によって使用できる書体に制限があります。

AlbertusMT
AlbertusMT–Italic
AlbertusMT-Light

AntiqueOlive-Roman
AntiqueOlive-Italic
AntiqueOlive-Bold
AntiqueOlive-Compact

Apple-Chancery

ArialMT
Arial-ItalicMT
Arial-BoldMT
Arial-BoldItalicMT

AvantGarde-Book
AvantGarde-BookOblique
AvantGarde-Demi
AvantGarde-DemiOblique

Bodoni
Bodoni-Italic
Bodoni-Bold
Bodoni-BoldItalic
Bodoni-Poster
Bodoni-PosterCompressed

Bookman-Light
Bookman-LightItalic
Bookman-Demi
Bookman-DemiItalic

Carta
Chicago

Clarendon
Clarendon-Bold
Clarendon-Light

CooperBlack
CooperBlack-Italic

COPPERPLATE-THIRTYTHREEBC
COPPERPLATE-THIRTYTWOBC

Coronet-Regular

Courier
Courier-Oblique
Courier-Bold
Courier-BoldOblique

Eurostile
Eurostile-Bold
Eurostile-ExtendedTwo
Eurostile-BoldExtendedTwo

Geneva

GillSans-Light
GillSans-LightItalic
GillSans
GillSans-Italic
GillSans-Bold
GillSans-BoldItalic
GillSans-ExtraBold
GillSans-Condensed
GillSans-BoldCondensed

Goudy
Goudy-Italic
Goudy-Bold
Goudy-BoldItalic
Goudy-ExtraBold

Helvetica
Helvetica-Oblique
Helvetica-Bold
Helvetica-BoldOblique

Helvetica-Condensed
Helvetica-Condensed-Oblique
Helvetica-Condensed-Bold
Helvetica-Condensed-BoldObl
Helvetica-Narrow
Helvetica-Narrow-Oblique
Helvetica-Narrow-Bold
Helvetica-Narrow-BoldOblique

HoeflerText-Regular
HoeflerText-Italic
HoeflerText-Black
HoeflerText-BlackItalic
HoeflerText-Ornaments

JoannaMT
JoannaMT-Italic
JoannaMT-Bold
JoannaMT-BoldItalic

LetterGothic
LetterGothic-Slanted
LetterGothic-Bold
LetterGothic-BoldSlanted

LubalinGraph-Book
LubalinGraph-BookOblique
LubalinGraph-Demi
LubalinGraph-DemiOblique

Marigold

Monaco

MonaLisa-Recut

NewCenturySchlbk-Roman
NewCenturySchlbk-Italic
NewCenturySchlbk-Bold
NewCenturySchlbk-BoldItalic

NewYork

Optima
Optima-Italic
Optima-Bold
Optima-BoldItalic

Oxford

Palatino-Roman
Palatino-Italic
Palatino-Bold
Palatino-BoldItalic

StempelGaramond-Roman
StempelGaramond-Italic
StempelGaramond-Bold
StempelGaramond-BoldItalic

Symbol ΑΘΥΙΧΚΒΡΟΩΝ

Tekton

Times-Roman
Times-Italic
Times-Bold
Times-BoldItalic

TimesNewRomanPSMT
TimesNewRomanPS-ItalicMT
TimesNewRomanPS-BoldMT
TimesNewRomanPS-BoldItalicMT

Univers-Light
Univers-LightOblique
Univers
Univers-Oblique
Univers-Bold
Univers-BoldOblique
Univers-Condensed
Univers-CondensedOblique
Univers-CondensedBold
Univers-CondensedBoldOblique
Univers-Extended
Univers-ExtendedObl
Univers-BoldExt
Univers-BoldExtObl

Wingdings-Regular

ZapfChancery-MediumItalic

ZapfDingbats

フォントサンプル（PCL モード）

 Macintosh 環境では使用できません。

日本語2書体（ML3050cV, ML3020cVのみ）

平成明朝体™W3	平成角ゴシック体™W5
株式会社　沖データ	株式会社　沖データ

欧文84書体

- OCR-A、OCR-B、USPS POSTNET Bar Codes、Line Printer は Windows 環境では使用できません。
- ビットマップフォントと USPS POSTNET Bar Codes は、固定サイズです。

Scalable Font（80書体）

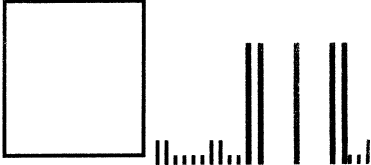
Font No.	
I 000	Courier
I 001	Courier Bold
I 002	Courier Italic
I 003	Courier Bold Italic
I 004	CG Times
I 005	CG Times Bold
I 006	CG Times Italic
I 007	CG Times Bold Italic
I 008	CG Omega
I 009	CG Omega Bold
I 010	CG Omega Italic
I 011	CG Omega Bold Italic
I 012	Coronet
I 013	Clarendon Condensed
I 014	Univers Medium
I 015	Univers Bold
I 016	Univers Medium Italic
I 017	Univers Bold Italic
I 018	Univers Medium Condensed
I 019	Univers Bold Condensed
I 020	Univers Medium Condensed Italic
I 021	Univers Bold Condensed Italic
I 022	Antique Olive
I 023	Antique Olive Bold
I 024	Antique Olive Italic
I 025	Garamond Antique
I 026	Garamond Halbfett
I 027	Garamond Kursiv

Font No.	
I 027	Garamond Kursiv
I 028	Garamond Kursiv Halbfett
I 029	Marigold
I 030	Albertus Medium
I 031	Albertus Extra Bold
I 032	Letter Gothic
I 033	Letter Gothic Bold
I 034	Letter Gothic Italic
I 035	Arial
I 036	Arial Bold
I 037	Arial Italic
I 038	Arial Bold Italic
I 039	Times New
I 040	Times New Bold
I 041	Times New Italic
I 042	Times New Bold Italic
I 043	ITC Avant Garde Gothic Book
I 044	ITC Avant Garde Gothic Demi
I 045	ITC Avant Garde Gothic Book Oblique
I 046	ITC Avant Garde Gothic Demi Oblique
I 047	ITC Bookman Light
I 048	ITC Bookman Demi
I 049	ITC Bookman Light Italic
I 050	ITC Bookman Demi Italic
I 051	CourierPS
I 052	CourierPS Bold
I 053	CourierPS Oblique
I 054	CourierPS Bold Oblique

Font No.

I 054 CourierPS Bold Oblique
I 055 Helvetica
I 056 Helvetica Bold
I 057 Helvetica Oblique
I 058 Helvetica Bold Oblique
I 059 Helvetica Narrow
I 060 Helvetica Narrow Bold
I 061 Helvetica Narrow Oblique
I 062 Helvetica Narrow Bold Oblique
I 063 New Century Schoolbook Roman
I 064 New Century Schoolbook Bold
I 065 New Century Schoolbook Italic
I 066 New Century Schoolbook Bold Italic
I 067 Palatino Roman

Font No.

I 068 Palatino Bold
I 069 Palatino Italic
I 070 Palatino Bold Italic
I 071 Times Roman
I 072 Times Bold
I 073 Times Italic
I 074 Times Bold Italic
I 075 ITC Zapf Chancery Medium Italic
I 076 Symbol
I 077 SymbolPS
I 078 Wingdings
I 079 ITC Zapf Dingbats

ビットマップ フォント（3書体）

Font No.

I 080 Line Printer
ABCDEfghij12345

I 081 OCR-A
ABCDEfghij12345

I 082 OCR-B
ABCDEfghij12345

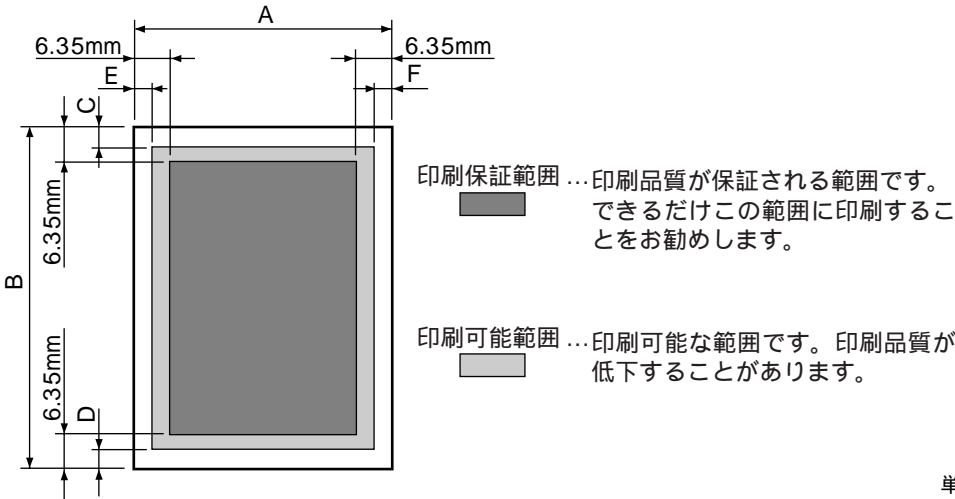
USPS POSTNET Bar Codes

Font No.

I 083 USPS POSTNET Bar Codes

印刷範囲と印刷精度

プリンタドライバの印刷範囲は次のとおりです。
実際の印刷範囲は、アプリケーションにより異なることがあります。

- **印刷精度は、書き出し位置 ± 2mm、用紙の斜行 ± 1mm/100mm、画像伸縮 ± 1mm/100mm（連量 70kg の場合）です。**
- **両面印刷時の表裏の印刷位置精度は± 2.5mm です。**

単位：mm

用紙サイズ	幅	長さ	PSプリンタドライバ				PCLプリンタドライバ(Windows)			
			上余白	下余白	左余白	右余白	上余白	下余白	左余白	右余白
	A	B	C	D	E	F	C	D	E	F
A4	210	297	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
A5	148	210	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
A6	105	148	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
B4	257	364	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
B5	182	257	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
A3	297	420	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
A3ノビ	328	453	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
A3ワイド（SRA3）	320	450	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
タブロイド	279.4	431.8	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
タブロイドエクストラ	305	457	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
レター	215.9	279.4	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
リーガル（13インチ）	215.9	330.2	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
リーガル（13.5インチ）	215.9	342.9	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
リーガル（14インチ）	215.9	355.6	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
エグゼクティブ	184.15	266.7	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
カスタム	76.2〜328	127〜900	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
はがき	100	148	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
往復はがき	148	200	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
封筒1（長形3号）	120	235	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
封筒2（長形4号）	90	205	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
封筒3（洋形4号）	105	235	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
封筒4（A4サイズ）	210	297	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
Com-9	98.4	225.4	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
Com-10	104.775	241.3	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
DL	110	220	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
C5	162	229	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
C4	229	324	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
Monarch	98.4	190.5	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23

文字コード表（PS モード）

- プリンタの文字コード表にない文字は、出力できなかったり、文字化けするなど、思わぬ結果になることがあります。
- アプリケーションソフトを使用して印刷する場合、アプリケーションソフトは独自の文字コード表を使用することがあります。

欧文標準

Low code

High code

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0																
1																
2		!	"	#	$	%	&	'	(	)	*	+	,	-	.	/
3	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	<	=	>	?
4	@	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
5	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	[	\	]	^	_
6	`	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
7	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	{	|	}	~	
8																
9																
A		¡	¢	£	⁄	¥	ƒ	§	¤	'	“	«	‹	›	ﬁ	ﬂ
B		–	†	‡	·		¶	•	‚	„	”	»	…	‰		¿
C		`	´	ˆ	˜	¯	˘	˙	¨		˚	¸		˝	˛	ˇ
D	—															
E		Æ		ª						Ø	Œ	º				
F		æ				ı				ø	œ	ß				

Symbol

Low code

High code

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0																
1																
2		!	∀	#	∃	%	&	∋	(	)	∗	+	,	−	.	/
3	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	<	=	>	?
4	≅	Α	Β	Χ	Δ	Ε	Φ	Γ	Η	Ι	ϑ	Κ	Λ	Μ	Ν	Ο
5	Π	Θ	Ρ	Σ	Τ	Υ	ς	Ω	Ξ	Ψ	Ζ	[	∴	]	⊥	_
6	‾	α	β	χ	δ	ε	φ	γ	η	ι	ϕ	κ	λ	μ	ν	ο
7	π	θ	ρ	σ	τ	υ	ϖ	ω	ξ	ψ	ζ	{	|	}	~	
8																
9																
A	€	ϒ	′	≤	⁄	∞	ƒ	♣	♦	♥	♠	↔	←	↑	→	↓
B	°	±	″	≥	×	∝	∂	•	÷	≠	≡	≈	…	⏐	⎯	↵
C	ℵ	ℑ	ℜ	℘	⊗	⊕	∅	∩	∪	⊃	⊇	⊄	⊂	⊆	∈	∉
D	∠	∇	®	©	™	∏	√	⋅	¬	∧	∨	⇔	⇐	⇑	⇒	⇓
E	◊	〈	®	©	™	∑	⎛	⎜	⎝	⎡	⎢	⎣	⎧	⎨	⎩	⎪
F		〉	∫	⌠	⎮	⌡	⎞	⎟	⎠	⎤	⎥	⎦	⎫	⎬	⎭	

Wingdings-Regular

Low code (columns) / High code (rows)

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0																
1																
2		🖉	✂	✁	👓	🕭	🕮	🕯	🕿	✆	🖂	🖃	📪	📫	📬	📭
3	📁	📂	📄	🗏	🗐	🗄	⌛	🖮	🖰	🖲	🖳	🖴	🖫	🖬	✇	✍
4	🖎	✌	👌	👍	👎	☜	☞	☝	☟	🖐	☺	😐	☹	💣	☠	🏳
5	🏱	✈	☼	💧	❄	🕆	✞	🕈	✠	✡	☪	☯	ॐ	☸	♈	♉
6	♊	♋	♌	♍	♎	♏	♐	♑	♒	♓	🙰	🙵	●	🔾	■	□
7	🞐	❑	❒	⬧	⧫	◆	❖	⬥	⌧	⮹	⌘	🏵	🏶	🙶	🙷	▯
8	⓪	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⓿	❶	❷	❸	❹
9	❺	❻	❼	❽	❾	❿	🙢	🙠	🙡	🙣	🙞	🙜	🙝	🙟	·	•
A	▪	○	⭕	🞅	🞇	◎	🔿	▪	◻	🟂	✦	★	✶	✴	✹	✵
B	⯐	⌖	⟡	⌑	⯑	✪	✰	🕐	🕑	🕒	🕓	🕔	🕕	🕖	🕗	🕘
C	🕙	🕚	🕛	⮰	⮱	⮲	⮳	⮴	⮵	⮶	⮷	🙪	🙫	🙕	🙔	🙗
D	🙖	🙐	🙑	🙒	🙓	⌫	⌦	⮘	⮚	⮙	⮛	⮈	⮊	⮉	⮋	🡨
E	🡪	🡩	🡫	🡬	🡭	🡯	🡮	🡸	🡺	🡹	🡻	🡼	🡽	🡿	🡾	⇦
F	⇨	⇧	⇩	⬄	⇳	⬁	⬀	⬃	⬂	🢬	🢭	🗶	✔	🗷	🗹	⊞

ZapfDingbats

Low code (columns) / High code (rows)

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0																
1																
2		✁	✂	✃	✄	☎	✆	✇	✈	✉	☛	☞	✌	✍	✎	✏
3	✐	✑	✒	✓	✔	✕	✖	✗	✘	✙	✚	✛	✜	✝	✞	✟
4	✠	✡	✢	✣	✤	✥	✦	✧	★	✩	✪	✫	✬	✭	✮	✯
5	✰	✱	✲	✳	✴	✵	✶	✷	✸	✹	✺	✻	✼	✽	✾	✿
6	❀	❁	❂	❃	❄	❅	❆	❇	❈	❉	❊	❋	●	❍	■	❏
7	❐	❑	❒	▲	▼	◆	❖	◗	❘	❙	❚	❛	❜	❝	❞	
8																
9																
A		❡	❢	❣	❤	❥	❦	❧	♣	♦	♥	♠	①	②	③	④
B	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	❶	❷	❸	❹	❺	❻	❼	❽	❾	❿
C	➀	➁	➂	➃	➄	➅	➆	➇	➈	➉	➊	➋	➌	➍	➎	➏
D	➐	➑	➒	➓	➔	→	↔	↕	➘	➙	➚	➛	➜	➝	➞	➟
E	➠	➡	➢	➣	➤	➥	➦	➧	➨	➩	➪	➫	➬	➭	➮	➯
F		➱	➲	➳	➴	➵	➶	➷	➸	➹	➺	➻	➼	➽	➾	

Hoefler Text Ornaments

Low　code

High　code

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0																
1																
2														—		
3																
4																
5																
6																
7																
8																
9																
A																
B																
C																
D																
E																
F																

文字コード表（PCL モード）

アプリケーションソフトを使用して印刷する場合、アプリケーションは独自の文字コード表を使用することがあります。

シンボルセット

WIN3.1J	Roman Ext	OCR-A	ISO-25 Fre	DeskTop
PC-8	Sebro Croat1	OCR-B	ISO-57 Chi	German
PC-8 Dan/Nor	Sebro Croat2	HP ZIP	ISO-60 Nor	Greek-437
PC-8 TK	Spanish	USPSFIM	ISO-61 Nor	Greek-437 Cy
PC-775	Ukrainian	USPSSTP	ISO-69 Fre	Greek-928
PC-850	VN Int'l	USPSZIP	ISO-84 Por	Hebrew NC
PC-852	VN Math	ISO Swedish1	ISO-85 Spa	Hebrew OC
PC-855	VN US	ISO Swedish2	Kamenicky	IBM-437
PC-857 TK	Win 3.0	ISO Swedish3	Legal	IBM-850
PC-858	Win 3.1 Blt	ISO-2 IRV	Math-8	IBM-860
PC-866	Win 3.1 Cyr	ISO-4 UK	MC Text	IBM-863
PC-869	Win 3.1 Grk	ISO-6 ASC	MS Publish	IBM-865
PC-1004	Win 3.1 Heb	ISO-10 S/F	PC Ext D/N	ISO Dutch
Pi Font	Win 3.1 L1	ISO-11 Swe	PC Ext US	ISO L1
Plska Mazvia	Win 3.1 L2	ISO-14 JASC	PC Set1	ISO L2
PS Math	Win 3.1 L5	ISO-15 Ita	PC Set2 D/N	ISO L5
PS Text	Wingdings	ISO-16 Por	PC Set2 US	ISO L6
Roman-8*	Dingbats MS	ISO-17 Spa	Bulgarian	ISO L9
Roman-9	Symbol	ISO-21 Ger	CWI Hung	

* 9055cV

標準欧文（Roman-8）

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0				0	@	P	`	p				¯	â	Å	Á	Þ
1			!	1	A	Q	a	q			À	Ý	ê	î	Ã	þ
2			"	2	B	R	b	r			Â	ý	ô	Ø	ã	·
3			#	3	C	S	c	s			È	°	û	Æ	Ð	µ
4			$	4	D	T	d	t			Ê	Ç	á	å	ð	¶
5			%	5	E	U	e	u			Ë	ç	é	í	Í	¾
6			&	6	F	V	f	v			Î	Ñ	ó	ø	Ì	−
7			'	7	G	W	g	w			Ï	ñ	ú	æ	Ó	¼
8			(	8	H	X	h	x			´	¡	à	Ä	Ò	½
9			)	9	I	Y	i	y			`	¿	è	ì	Õ	ª
A			*	:	J	Z	j	z			ˆ	¤	ò	Ö	õ	º
B			+	;	K	[	k	{			¨	£	ù	Ü	Š	«
C			,	<	L	\	l	|			˜	¥	ä	É	š	■
D			-	=	M	]	m	}			Ù	§	ë	ï	Ú	»
E			.	>	N	^	n	~			Û	ƒ	ö	ß	Ÿ	±
F			/	?	O	_	o	▒			£	¢	ü	Ô	ÿ	

Symbol

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0				0	≅	Π	‾	π				°	ℵ	∠	◊	
1			!	1	Α	Θ	α	θ			ϒ	±	ℑ	∇	〈	〉
2			∀	2	Β	Ρ	β	ρ			′	″	ℜ	®	®	∫
3			#	3	Χ	Σ	χ	σ			≤	≥	℘	©	©	⌠
4			∃	4	Δ	Τ	δ	τ			⁄	×	⊗	™	™	⎮
5			%	5	Ε	Υ	ε	υ			∞	∝	⊕	∏	∑	⌡
6			&	6	Φ	ς	ϕ	ϖ			ƒ	∂	∅	√	⎛	⎞
7			∍	7	Γ	Ω	γ	ω			♣	•	∩	⋅	⎜	⎟
8			(	8	Η	Ξ	η	ξ			♦	÷	∪	¬	⎝	⎠
9			)	9	Ι	Ψ	ι	ψ			♥	≠	⊃	∧	⎡	⎤
A			∗	:	ϑ	Ζ	φ	ζ			♠	≡	⊇	∨	⎢	⎥
B			+	;	Κ	[	κ	{			↔	≈	⊄	⇔	⎣	⎦
C			,	<	Λ	∴	λ	|			←	…	⊂	⇐	⎧	⎫
D			−	=	Μ	]	μ	}			↑	⏐	⊆	⇑	⎨	⎬
E			.	>	Ν	⊥	ν	~			→	⎯	∈	⇒	⎩	⎭
F			/	?	Ο	_	ο				↓	↵	∉	⇓	⎪	

Wingdings

消耗品・メンテナンスユニット・オプション一覧

これらの消耗品、メンテナンスユニット、オプションは、お近くの販売店またはOAセンタ（140ページ）でお求めください。

品　名	型　名	内　容
MLカラーOHPシート	MLOHP01	専用OHPシート
カラーA3ノビ用紙	CP-500HG-A3W	1000枚包
カラーA3ノビ両面用紙	MLA3WC-DU	1000枚包
トナーカートリッジ　ブラック	TNR-C0-09K	トナーカートリッジ LEDレンズクリーナ クリーニングペーパ
トナーカートリッジ　イエロー	TNR-C0-10Y	
トナーカートリッジ　マゼンタ	TNR-C0-11M	
トナーカートリッジ　シアン	TNR-C0-12C	
大容量トナーカートリッジ　ブラック	TNR-C1-09K	トナーカートリッジ LEDレンズクリーナ クリーニングペーパ
大容量トナーカートリッジ　イエロー	TNR-C1-10Y	
大容量トナーカートリッジ　マゼンタ	TNR-C1-11M	
大容量トナーカートリッジ　シアン	TNR-C1-12C	
イメージドラムカートリッジ　ブラック	IDC-C3-09K	イメージドラムカートリッジ
イメージドラムカートリッジ　イエロー	IDC-C3-10Y	
イメージドラムカートリッジ　マゼンタ	IDC-C3-11M	
イメージドラムカートリッジ　シアン	IDC-C3-12C	
ベルトユニット	MLCBL03	ベルトユニット
定着器ユニット（メンテ品）	MLFUS04	定着器ユニット
イーサネットボード	MLETB09A	イーサネットボード
ML64MB増設メモリ	MLMEM64	増設メモリ
ML128MB増設メモリ	MLMEM128	増設メモリ
ML256MB増設メモリ	MLMEM256	増設メモリ
内蔵ハードディスク	MLHDD07	内蔵ハードディスク
セカンド/サードトレイユニット	MLTRY05	セカンド/サードトレイユニット
キャスタ付セカンド/サードトレイユニット	MLTRY08	キャスタ付セカンド/サードトレイユニット
大容量トレイユニット	MLTRY06	大容量トレイユニット
両面印刷ユニット	MLDXU01	両面印刷ユニット
プリンタ専用台	MLTBL01	プリンタ専用台
フィニッシャーユニット	MLFNS01	フィニッシャーユニット
フィニッシャーキットcVシリーズ	MLFNK01	フィニッシャーユニット装着に必要
簡易カラーコピーユニット	MLCCU01	簡易カラーコピーユニット

- **消耗品、メンテナンスユニット、オプションは、必ず沖データ純正品を使用してください。沖データ純正品以外を使用すると、プリンタが故障するおそれがあります。**
- **トナーカートリッジ、イメージドラムカートリッジは、開封後1年以上経過すると印刷品位が低下しますので、新しい消耗品を準備してください。**
- **ご使用になるまで、開封しないでください。**
- **直射日光をさけ、温度：0～35° C、湿度：20～85%RH範囲にある場所で保管してください。**
- **周囲の温度や湿度が高すぎたり、急激に変化したりする場所では保管しないでください。**
- **幼児の手が届かない所に保管してください。**

ユーザサポートサービスについて

保証について

- 本製品には「保証書」が入っています。
- 「保証書」は、お買い上げの販売店が所定事項を記入してお渡しします。記入内容をご確認の上、大切に保管してください。
- 保証期間中に万一故障が生じたときは、「保証書」に記載されている当社保証規定に基づき無償で修理します。無償保証期間は「保証書」に記載されています。
- 「保証書」に所定事項が記入されていない場合や紛失した場合は、保証期間中であっても、保証が無効となる場合があります。
- 保証期間経過後は、修理によって本プリンタの性能が維持できる場合、お客様のご要望により有償にて修理します。詳しくは、最寄りのOA コールセンタ（140 ページ）または、お買い上げの販売店にご相談ください。
- 本製品の故障、またはその使用によって生じた直接・間接の損害については、当社はその責任を負わないものとします。

最新版のプリンタソフトウェアを入手したい

ダウンロードサービス

沖データホームページから入手できます。

http://www.okidata.co.jp

プリンタの操作方法やトラブルの原因がわからない

お買い上げいただいたプリンタの操作方法や技術的な質問について、お電話でのご相談を受け付けています。次の「お問い合わせチェックシート」に記入してからお電話ください。

マイクロライン　テクニカルサポート

受付電話番号	**03-3456-6760 (ページプリンタ)**
受付時間	**月曜日～金曜日 (祝祭日を除く)**
	午前 10 : 00 ～ 正午　　午後 1 : 00 ～ 5 : 00
	上記以外にも弊社都合によりお休みを頂くこともあります。

― お問い合わせに回答できない場合について ―

1. UNIX 環境でのお問い合わせ
2. ネットワーク環境でのお問い合わせ
3. アプリケーションの使い方
4. ホストコンピュータの使い方
5. 問題解決に必要な情報が不足している場合
6. お客様固有のシステム環境のアドバイスやコンサルティング
7. プリンタの非公開仕様に関するお問い合わせ

お問い合わせチェックシート

具体的な症状

プリンタ環境

機種名：＿＿＿＿＿＿　製造番号：＿＿＿＿＿＿　購入月：＿＿年＿＿月

追加オプション：　なし　・　あり（　　　　　　）

コンピュータ環境

☐Windows　バージョン：＿＿＿＿＿＿

☐Mac OS　バージョン：＿＿＿＿＿＿

接続方法

☐パラレル　☐USB　☐ネットワーク

☐TCP/IP　☐IPX/SPX　☐EtherTalk　☐NetBEUI

プリンタドライバ

プリンタドライバ名：＿＿＿＿＿＿　バージョン：＿＿＿＿＿＿

アプリケーションソフト

アプリケーションソフト名：＿＿＿＿＿＿　バージョン：＿＿＿＿＿＿

使用フォント名：＿＿＿＿＿＿

エラー表示（正確に）

コンピュータの画面に表示される内容　：＿＿＿＿＿＿

プリンタの操作パネルに表示される内容：＿＿＿＿＿＿

その他

他のアプリケーションからの印刷：☐正常　☐印刷できない

他のコンピュータからの印刷　　：☐正常　☐印刷できない

付録

プリンタを修理したい

お買い上げいただいたプリンタの修理は(株)沖電気カスタマアドテックが行っています。
修理をご依頼される場合は、下記 OA コールセンタまでお電話でご連絡ください。

東日本 OA コールセンタ（東京）0120-030-800
西日本 OA コールセンタ（大阪）0120-003-544

受付時間：月曜日～金曜日 (祝祭日を除く)
午前 9 : 00 ～ 午後 5 : 30
上記以外にも都合によりお休みを頂くこともあります。

消耗品を購入したい

プリンタをお買い上げいただいた販売店、またはお近くの OA センタへお電話でご連絡ください。

札　幌 OA センタ	〒060-0001	札幌市中央区北一条西 9-3-27(第 3 古久根ビル)	011-281-3960
仙　台 OA センタ	〒983-0036	仙台市宮城野区苦竹 1-1-7(プラザビュー 2F)	022-238-9877
新　潟 OA センタ	〒950-0082	新潟市東万代町 1-30(新潟東万代ビル)	025-243-8011
秋葉原 OA センタ	〒111-0052	台東区柳橋 2-19-6(秀和柳橋ビル 9F)	03-3865-6599
池　袋 OA センタ	〒170-0013	豊島区東池袋 1-34-5(安田生命池袋ビル 5F)	03-3971-6022
高　崎 OA センタ	〒370-0047	高崎市高砂町 48(塚沢ビル別館)	027-328-1024
名古屋 OA センタ	〒453-0861	名古屋市中村区岩塚本通 2-1-2(MS ビル 2F)	052-413-6510
金　沢 OA センタ	〒921-8163	金沢市横川 7-35-1(大洋不動産ビル)	076-247-8711
大　阪 OA センタ	〒550-0004	大阪市西区靭本町 1-4-12(本町富士ビル 4F)	0120-177-890
広　島 OA センタ	〒733-0002	広島市西区楠木町 3-12-21	082-238-3070
高　松 OA センタ	〒761-8058	高松市勅使町 632-4	087-868-3040
福　岡 OA センタ	〒815-0035	福岡市南区向野 2-9-21	092-512-4197

※各OAセンタの住所, 電話番号は変更される場合がありますので、ご了承ください。

付録

使用済み消耗品の回収について

沖データでは環境保全と再資源化を目的として、使用済みのMICROLINEプリンタの消耗品とメンテナンスユニットの無料回収を行っています。
下記用紙をコピーし、必要事項を記入してFAX、もしくは、弊社のホームページ(http://www.okidata.co.jp)よりご連絡いただければ、回収におうかがいいたします。

（お願い）

- 包装箱やビニール袋は捨てずに保管し、ご使用済みの消耗品およびメンテナンスユニットの回収時に利用してください。
- カートリッジ1本でも回収にうかがいますが、地球環境への負荷をできるだけ低減させるためまとめ回収（6 個以上）にご協力ください。

皆様のご協力をお願いします。

受付 No.　:
* 弊社にて記入いたしますので、お客様の記入は不要です。

FAX 024-594-2798

沖データ回収センタ　宛

西暦　　　年　　月　　日

お客様名（会社名）：
ご担当者名：
ご住所：
お電話番号：
回収ご希望日時：　　年　　月　　日　　午前／午後　　時

回収依頼品

品目	数量
イメージドラムカートリッジ	：　個
トナーカートリッジ	：　個
EPトナーカートリッジ	：　個
定着器オイルローラ	：　個
廃棄トナーボックス	：　個
ベルトユニット	：　個
定着器ユニット	：　個
インクリボンカートリッジ	：　個
その他マイクロライン消耗品	：　個

ご不明な点は下記へご連絡ください。
沖データ回収センタ
TEL 024-594-2185
受付時間：月〜金曜日（祝祭日、弊社休日を除く）
9：00〜12：00、13：00〜17：00

「ユーザーズマニュアル CD-ROM」について

「ユーザーズマニュアル CD-ROM」の内容

「ユーザーズマニュアル CD-ROM」には次のマニュアルとアプリケーションソフトが収録されています。

- 「ユーザーズマニュアル（セットアップ編）」（本書と同内容のオンラインマニュアル）
- 「ユーザーズマニュアル（リファレンス編）」（オンラインマニュアル）
- JIS90 漢字コード表
- Ryumin-Light-83pv-RKSJ-H コード表
- Ryumin-Light-RKSJ-H コード表
- Ryumin-Light-Ext-RKSJ-H コード表
- Adobe AcrobatReader4.0（アプリケーションソフト）

「ユーザーズマニュアル CD-ROM」を使うには

「ユーザーズマニュアル CD-ROM」を使用するには、Adobe 社の AcrobatReader4.0 が必要です。

❶ 「ユーザーズマニュアル CD-ROM」をセットします。

❷ 「ユーザーズマニュアル（リファレンス編）」を見るときは、［ML9055cV_Reference.pdf］をダブルクリックします。
「ユーザーズマニュアル（セットアップ編）」（本書）をオンラインで見るときは、［ML9055cV_Setup.pdf］をダブルクリックします。

メモ　**コンピュータのハードディスク容量に空きがあるときは、使用するマニュアルのファイルをハードディスクにコピーしておくと便利です。コピーしたファイルをダブルクリックするとファイルが開きます。**

「ユーザーズマニュアル（リファレンス編）」の内容について

本プリンタには、本書「ユーザーズマニュアル（セットアップ編）」の他に、「ユーザーズマニュアル CD-ROM」に収録されている「ユーザーズマニュアル（リファレンス編）」があります。「ユーザーズマニュアル（リファレンス編）」の内容は次の通りです。

オキカラーページプリンタ
MICROLINE 9055cV
MICROLINE 3050cV
MICROLINE 3020cV
ユーザーズマニュアル（セットアップ編）

発行日　2002年 4月　第2版
発行者　株式会社 沖データ

40937708EE